

デジタル田園都市国家構想交付金
地方創生推進タイプ
(先駆型・横展開型・Society5.0型)
採択事業一覧 【継続事業 (R5開始)】



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

内閣府 地方創生推進事務局
内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

- デジタル田園都市国家構想の実現を図り、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和4年度補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設しました。
- 同交付金の「地方創生推進タイプ（先駆型・横展開型・Society5.0型）」においては、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援しています。
- このたび、「令和6年度当初予算分」において採択した事業のうち、**R5年度に事業開始した継続事業の事業概要**を取りまとめました。
- 地域の課題解決等に向けて、当該地域においてどのような取組などを進めるべきか、本資料も参考にさせていただき、検討を進めていただければと存じます。
- なお、本資料は、事業採択時点で地方公共団体から提出された事業概要をまとめたものであり、事業採択後の過程において変更が生じている可能性がある点にご留意いただきますようお願いいたします。

事業概要【県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,784千円 (23,938千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手同士の活動連携及び交流等の強化 ・移住の促進 ・地域の魅力発信・体感機会の提供 ・取組に係る課題の深堀と新たな取組の実施 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動の担い手の横の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、交流会、イベント開催費用他 6,971千円 ○移住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会等に係る情報発信 75千円 ○ワーケーションの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内意向調査、実施者へのアプローチ 3,909千円 ○取組に係る課題の深堀と新たな取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング、ワークショップ経費 6,374千円 ・抽出された課題への対応、地域間調整 2,589千円 ○地域の魅力発信・体感機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー実施に係る経費 4,020千円 		<p>2015年～2045年 市町別人口減少率 (2045年社人研推計人口÷2015年国勢調査人口)</p> <p>人口減少の著しい 県南部地域で 課題解決に向けた 取組を実施</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値 (+5.61%) ②地域住民等が主体となった地域への新たな活動件数 (+91件) ③南部地域内の企業・魅力体感事業への参加を通して、南部地域に定住することとなった若者の人数 (+10人) ④コーディネーターが実施する地域住民等に対するヒアリング・ワークショップの回数 (+360件) 		<p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

事業概要【カーボンニュートラルへの動きをチャンスととらえた三重の産業振興事業】 推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,313千円 (37,882千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・本県の南部地域の豊かな自然環境等のポテンシャルを活用した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、エネルギーの地産地消により、地域の雇用創出や地域経済の活性化を図ります。</p> <p>・J-クレジット制度等を通じてカーボンニュートラルに資する森林等の整備や適正管理に対し投資が進むとともに、林業従事者等の新たな収入源の確保を図ります。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○地域の特性を生かした再生可能エネルギーを導入し、高度なエネルギーマネジメント技術を核として行う新たなビジネスモデル構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究費用 (委託料) 10,000千円 ・有識者からの評価、ヒアリング 180千円 ・事業推進経費 235千円 <p>○林業の活性化に向けたJ-クレジットの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林吸収クレジット認証取得・展開 (委託料) 14,545千円 ・林業DX普及展開 7,092千円 (うち補助金2,000千円) ・J-クレジット等の効果的な活用に向けた実証 (委託料) 2,830千円 <p>○林業以外の農水産業等におけるクレジット活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究委託費用 (委託料) 3,000千円 </div> <div style="flex: 1;">  <p>出典: https://www.meti.go.jp/press/2021/01/20220113001/20220113001-1.pdf</p>  <p>出典: https://japancredit.go.jp/about/outline/</p> </div> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <ol style="list-style-type: none"> ①地産地消型エネルギーシステムに係るビジネスモデル構築数 (+2件) ②地産地消型エネルギーシステムに係る新規事業参画事業者数 (+2者) ③J-クレジット制度における森林管理プロジェクトに登録する新規事業者・団体数 (+2者) </div> <div style="flex: 1;"> <p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p> </div> </div>		

事業概要【みえの農林水産業経営安定化事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	150,362千円 (51,111千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料・肥料などの資材の安定供給、供給力の強化 ・藻類養殖の安定生産と水産物の販路拡大 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○飼料の自給体制構築事業、肥料の自給体制構築事業 ・県内農家における生産実証 (委託料) 1,000千円 ・機械導入経費 (補助金) 4,000千円 ・県研究所における生産実証等の事業推進経費 9,113千円 ○米粉の生産拡大推進事業 ・米粉の加工適正評価 (委託料) 500千円 ・生産実証場所の設置・運営に係る経費 1,987千円 ○黒ノリの色落ち緊急対策事業 ・大規模養殖試験 (委託料) 5,998千円 ・小規模養殖試験や効果検証 1,177千円 ○県産水産物販売チャンネル拡大事業 ・フェア開催や量販店への売り込み (委託料) 19,306千円 ・生産現場へのアドバイザー派遣 (委託料) 8,030千円 	   	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業における県内新規就業者数 (+9人) ②飼料・肥料の自給体制構築に取り組むモデル農家数 (+35戸) ③施肥に取り組む経営体の黒ノリ生産枚数の増加量 (+37万枚) ④県産水産物フェア開催量販店における県産水産物の販売金額 (+630百万円) 	関連URL	【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm

事業概要【地域一体型スタートアップ支援事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,148千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	スタートアップ、企業、創業支援機関、大学、金融機関等の関係者が一体となってスタートアップを自律的・継続的に創出し、持続的に経済が成長し、誰もが取り残されず住みたい場所に住み続けることができる地域をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>(1) 事業計画ブラッシュアップ【一般財源対応】 ビジネスアイデアを形にするために必要な視点や手法を学ぶ機会を提供し、次のステージに進む起業家を輩出する。</p> <p>(2) 新規事業創出に向けたリバースピッチ 9,000千円 事業者が抱える課題や今後コミットしていく事業領域を発信しスタートアップとの協業を促進することで課題を解決。</p> <p>(3) インキュベーション促進【一般財源対応】 新規事業創出に取り組む県内スタートアップ等に対して、補助制度による企業間連携を促進する。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①三重県における新規事業創出数 (+18件)</p> <p>②県外事業者による県内での課題解決に向けた新規取組数 (+11件)</p> <p>③対象事業に参加する事業者数 (+18事業者)</p>		<p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm </p>

事業概要【2025年大阪・関西万博を契機にした観光誘客と観光消費拡大による地域経済好循環創出事業】

推進当初

申請者	三重県名張市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した観光キャンペーンやイベントを実施し、観光誘客を図る。 ・観光プロモーションの最適化や観光事業者の経営能力の向上を図る。 ・観光商品、土産物等の開発支援及び宿泊を伴う長期滞在を促すことにより、観光消費額の拡大を図る。 ・国内外の旅行会社へのセールスを実施し、万博開催時のインバウンド誘客を図る。 		
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>			
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①名張市を訪れた人の1人1回当たり旅行単価 (+3,418円) ②赤目四十八滝の観光入込客の年間延べ数 (+27,305人) ③東奈良名張ツーリズムマーケティングが造成したツアーへの外国人参加者数 (+500人) ④市内宿泊客の年間延べ数 (+18,963人) 	<p>関連URL</p>	<p>https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1327</p>

事業概要【つながり・はぐくむプロジェクト】

推進当初

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	173,943千円 (52,332千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>今後、地域外の人々と地元住民の関わりの機会を増やすことで、来訪地としての魅力を増しつつ、移住者や関係人口を増やし、外からの刺激を受けながら地域の課題解決につなげていく。また、地域の中でのコミュニティも多様化しており、地縁組織に加えて趣味・特技を通じた関わりや働くことを通じた幅広い世代の交流をデジタル手法も交えながら活発化していくことで、過ごす・暮らす上での満足度の高い、皆と「つながるまち」を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○働くことを通じた活躍・つながりを促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー・離職防止に向けた経営者・従業員セミナーの開催 ・業務分解によるシニア世代等の新たな活躍の場づくり 等 <p style="text-align: right;">委託料 5,068千円</p> <p>○デジタルでつながる仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動を促進し、「見える化」するためのアプリ導入 <p style="text-align: right;">委託料 16,748千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した情報発信 <p style="text-align: right;">補助金 7,350千円</p> <p>○地域外との新たな交流・つながりを広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー開催及びモニター結果を活用したプロモーション <p style="text-align: right;">委託料 3,850千円</p> <p>○趣味や特技を活かしたつながりを盛り上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・スポーツ活動団体への支援 <p style="text-align: right;">補助金 3,828千円</p>		
KPI	<p>①鳥羽ファン（オンラインコミュニティの登録者）数（+600アカウント）</p> <p>②まちトークの開催地区数（+21地区）</p> <p>③無料職業紹介所でのプチ勤務のマッチング人数（+15人）</p>	関連URL	<p>https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.html</p>

事業概要【コンパクトプラスネットワーク TOBAモデル】

推進当初

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,028千円 (54,200千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	暮らしの利便性を効率的に保持していくため、各地区のサービス拠点の再編・統合等を進め、後年度に過度の負担を残すことがないようにしていきとともに、拠点の集約化により著しい不便さを生じることがないように配慮し、デジタル化はもとより、公共交通等を活用して居住地域外へ出かけられる環境を維持していくことで、住民の健康維持やまちの経済の健全化に努め、本市らしい「コンパクトプラスネットワーク」を目指す。			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な規模で公共交通を維持していくための検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市内交通の効率的なあり方検討 委託料 3,000千円 ○施設コンパクト化の補完策及び地域医療の確保に対する検討 <ul style="list-style-type: none"> ・医療車両を活用したオンライン診療等の実証 車両整備費 16,500千円、委託料 23,576千円 ○乗り継ぎの円滑化やワクワク感向上による公共交通の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩MaaSシステム構築経費 負担金 3,200千円 ・人気キャラクターを活用した誘客促進事業 市営定期船キャラクターラッピング 委託料 5,291千円 イラストコンテストの開催経費 報償費 369千円 ・案内表示充実のためのモニター整備費 委託料 1,906千円 		 <p>整備する医療Maas車両 ※イメージ</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①かもめバス利用者数の増加 (+27千人) ②市内の年間宿泊者数 (+91万人泊) ③市営定期船キャッシュレス決済利用率 (+20%) ④本土側でオンライン診療を利用実患者数 (+18人) 		関連URL https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.html	

事業概要【観光DXでかがやく、観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	三重県熊野市ほか5自治体※	採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	22,474千円（7,500千円）
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	ポストコロナにおいて、デジタル技術を取り入れた「ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカタチづくり事業」及び「持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業」を一体的なプロジェクトとして実施することで、持続可能な担い手の育成、消費額の拡大、新たな観光コンテンツの創出による観光資源の魅力向上、持続可能な観光地域マーケティング等を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカタチづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東紀州地域映像・音声ガイド整備（委託料）4,000千円 ・デジタルマーケティング運用支援（委託料）1,000千円 ・旅ナカパンフレット作成事業（印刷製本費）1,100千円 ・デジタル観光コンテンツ作成事業（委託料）400千円 <p>○持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応観光ガイド整備（委託料）1,000千円 	 <p><世界遺産熊野古道 観光ガイドの整備></p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①東紀州地域における観光消費額（+3,511百万円） ②観光コンテンツアクセス回数（+6,400回） ③デジタルマーケティング参画事業者による業務改善数（+30件） ④システム参入宿泊施設数（+24施設） 	関連URL	<p>（効果検証）</p> <p>【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p> <p>【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/soshiki/1-2-1-0-0_8.html</p> <p>【紀北町】 https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/kakuka/kikaku/kikakukakari/3_2/4_1/6_1/849.html</p> <p>【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1069.html</p> <p>https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1410.html</p> <p>【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/</p>

※三重県熊野市、尾鷲市、紀北町、御浜町、紀宝町、三重県の広域連携事業

事業概要【地域資源を活かした6次産業化と観光による輸出・集客促進事業】

推進当初

申請者	三重県熊野市	採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	181,997千円（61,714千円）	
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	<p>農業分野は、温暖な気候での栽培に適した唐辛子やコーヒー、カカオなど市場は小さいが競争力が少ないニッチな市場を意識した新たな農産物や、事業者からの引き合いが強い優良品種の栽培を行う。</p> <p>漁業分野では、アワビなどの種苗を放流し地域資源の増大を図ることで持続可能な地域産業の確立を目指す。</p> <p>特産品の付加価値向上のため専門家の派遣などによる6次産業化で魅力創出とブランド化を推進させ、市外にPR等を行い販路を広げることで、輸出力を強化し外貨を稼ぐとともに、観光業と連携し集客力を向上させ地域内での消費を増加させることで、労働生産性の向上につなげることを目指す。</p>			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○農業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産力強化事業（補助金）22,043千円 ・高付加価値農産物推進事業（補助金）1,158千円 ・その他対象事業（消耗品費等）11,583千円 <p>○水産業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流（原材料費等）3,084千円 ・陸上養殖試験（需用費等）2,950千円 ・その他対象事業（消耗品費等）2,146千円 <p>○付加価値向上のための6次産業化と輸出、集客力向上のためのPR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業（報償費等）10,879千円 ・メディアPR（広告料）6,600千円 ・その他対象事業（消耗品費等）7,255千円 		 <p><国内産コーヒーの試験栽培></p>	
KPI	<p>①熊野市ふるさと振興公社の売上高（生産部門）（+109百万円）</p> <p>②漁業者の新たな収入源となる漁業種類及び副収入業種の増数（+1個）</p> <p>③地域特産品や農産物を取り扱う主要直売所の売上額（+1.2億円）</p>		<p>関連URL</p> <p>(効果検証) https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778 </p>	

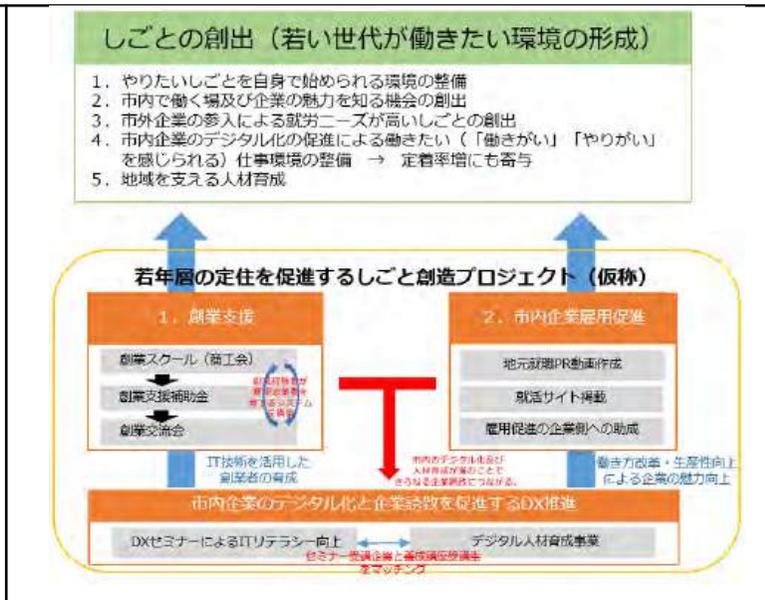
事業概要【若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト】

推進当初

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,695千円 (23,396千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野

目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・若年が働く場を創出する ・市内企業への若年層の就職の推進を図る ・市内企業DXセミナー等のよりデジタル人材の育成を図る
--------	--

<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援事業 新規創業者の支援及び創業者が交流する交流会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新規創業者を支援（補助金）6,000千円 ・創業交流会の開催（委託料）500千円 ○若者の地元就職を促進する雇用促進事業 就職情報サイトを活用した市内企業の情報発信、ニーズ把握を目的に高校生を対象としたアンケート等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職情報サイトへのページ制作（委託料）5,500千円 ・高校生アンケート調査（委託料）396千円 ○市内企業DX推進事業 市内のデジタル化を推進するため、DXセミナーの実施やデジタル人材を育成する講座を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・DXセミナー及びデジタル人材育成講座（委託料）11,000千円
--	--



KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①社会減による人口減少数の改善数（+45人） ②支援を経て創業した創業者数（+53人） ③助成金を活用した新規雇用者（+135人） ④デジタル人材養成講座の受講者数（+35人） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的用途・実施体制） （効果検証）</p> <p>https://www.city.shima.mie.jp/ka-kuka/seisakusuishin/sogoseisakuka/chihousei/shimashichihososeishingikai/index.html</p>
-----	--	-------	---

事業概要【デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通ネットワーク構築事業】

推進当初

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,351千円 (37,530千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー・航路など、既存の公共交通サービスを最大限に活用するとともに、最新のデジタル技術等についても積極的に活用し、市内各地域の状況に応じた持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>AI (人工知能) 予約システムなどの最新デジタル技術を活用したデマンド交通の実証運行を行う。</p> <p>○デマンド交通システム導入業務委託料 15,785千円</p> <p>○実証事業運営業務委託料 21,195千円</p> <p> 《ソフト事業経費》</p> <p> ・デマンド交通運行管理業務</p> <p> ・デマンド交通運行業務</p> <p> 《ハード経費》</p> <p> ・備品購入費 550千円</p>		<p>市民の皆さんが、気兼ねなくお出かけできる地域公共交通網を構築するため、地域の新しい公共交通として、志摩市デマンド交通「のりあい」の実証運行を行います。</p> <p>デマンド交通「のりあい」とは?</p> <p>決まった時間に決まったルートを実行する路線バスや、自由な時間に自由な場所で乗降ができるタクシーとは異なり、予約に応じてAI (人工知能) が運行ルートを考え、定められた停留所の間を乗り合いにより走行する新しい公共交通です。</p> <p>「のりあい」はこんな時に利用できる乗り物です!</p> <p>普段のお買い物へ かかりつけの病院へ 友達とのお出かけに 路線バスに乗り継いで  </p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①新たに実装した公共交通の利用者数 (+16,250人)</p> <p>②既存の公共交通の利用者数 (+327,000人)</p> <p>③公共交通乗降箇所数 (+250箇所)</p> <p>④観光施設の入込客数 (+3,600人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.city.shima.mie.jp/ka-kuka/seisakuuishin/sogoseisakuka/chihousei/shimashichihosoeishingikai/index.html</p>

申請者	三重県玉城町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,000千円 (13,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場 (拠点) を中心市、地域内外の交流を促進し、関係人口・交流人口の増加を図る。 ・地域住民と関係人口との活発な交流により、地域住民の郷土愛を醸成する。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ①関係人口の活動支援 2,500千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の活動体験支援制度事業実施 ・ファンの集い開催 ②気軽な交流、ファンが集う機会創出事業 3,000千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した体験型ツアー実施 ・関係人口・地域住民との交流イベント ③プロモーション活動 4,000千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な観光PR・魅力発信 ・地域外 (中京圏等) イベント開催、出展費 ④コーディネーター人材活動 3,500千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口と地域住民をつなぐコーディネーター活動 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①交流施設利用者数 (+5,000人) ②ファンクラブ会員数 (+300人) ③イベント参加者数 (+250人) 		関連URL	https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/chosei/gyokaku/shisaku/kasokuka.html

事業概要【持続可能な地域を育む人材育成事業】

推進当初

申請者	三重県御浜町ほか4自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,093千円 (18,953千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 三重県南部に位置する5市町は、子どもだけでなく様々な年代が、その地域の財産である地場産業や文化を含めた様々な学びの機会をつくり、加えて、移住者等の働く場である地場産業の強化を実現させる。 若者の定住や、地元に戻ってきたい、この地域に住みたい方を増やすことで地元を愛し地元で根付く人材育成を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>目的の実現のため下記4つの事業の柱を設定し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域での学び・体験の支援 2,784千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 就労体験事業 300千円 └ 在宅ワーカー創出事業 1,633千円 └ 農業体験住宅事業 598千円 └ その他 対象事業 253千円 ○子どもの学び・体験の支援 0円 <ul style="list-style-type: none"> └ 交付対象外事業 12事業 ○地域に根付く担手の受け皿づくり 6,042千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 雇用創出マッチング事業 1,200千円 └ 6次産業化に向けた商品開発相談会事業 2,100千円 └ 第1次産業セールスプロモーション、高品質化資材支援事業 1,900千円 └ その他 対象事業 842千円 ○地域の魅力の情報発信 10,127千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 都市部への移住促進PR事業 1,315千円 └ 特産品にかかるトッププロモーション拡大事業 1,598千円 └ 都市部へのプロモーション事業 6,100千円 └ その他 対象事業 1,114千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率 (+1.65%)</p> <p>②移住に係る行政窓口 (空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口) を活用した東紀州地域への移住者数 (+240人)</p> <p>③第1次産業をはじめとする地域の産業及び伝統文化等の体験学習回数 (+374回)</p>		
	   	<p>関連URL</p> <p>(効果検証)</p> <p>【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/soshiki/1-2-1-0-0_8.html</p> <p>【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p> <p>【紀北町】 https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/kakuka/kikaku/kikakukakari/3_2/4_1/6_1/849.html</p> <p>【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/</p> <p>【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1069.html</p> <p>https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1410.html</p>	

※三重県御浜町、尾鷲市、熊野市、紀北町、紀宝町の広域連携事業

事業概要【地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	755,950千円 (265,201千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<p>・人口減少、少子高齢化に伴う地域の課題が、若者・よそ者など多様な人材や団体等の関わりによる「ソーシャルビジネス (社会的起業/企業)」の創出等を通じて解決されることを通じた、持続的で魅力的な地域づくり</p> <p>・移住、多地域居住、副業・兼業等働き方の変化と相俟って、自分が活躍できる場として、ソーシャルビジネスの担い手となる人材や団体等が継続的に供給される環境の創出</p>			
事業概要・ 主な経費	<p>○担い手の確保 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通じ、持続可能な地域課題の解決スキームの検討 (委託料: 15,000千円)</p> <p>○地域への「関わりしろ」の見える化 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通じ、持続可能な地域課題の解決スキームの検討 (委託料: 15,000千円) *再掲</p> <p>○支援団体 (中間支援団体) の創出・育成 多様な人材・活動をつなぐための中間支援組織の育成 (委託料: 18,100千円 報償費等 794千円)</p> <p>○多様な人材、民間活力の誘引力の向上 滋賀とのつながり創出事業 (委託料: 55,385千円)</p>		<p>目指す姿</p>	
KPI	<p>①地域課題解決プロジェクト組成数 (+ 19件)</p> <p>②プロジェクトにかかわる人数 (+ 170人)</p> <p>③プロジェクトにかかわる中間支援団体数 (+ 27団体)</p> <p>④滋賀県の知名度向上 (▲3位)</p>		<p>関連URL</p> <p>http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>	

※滋賀県、大津市、長浜市、高島市、米原市、愛荘町の広域連携事業

事業概要【滋賀の農業・水産業「人材活躍」プロジェクト事業】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	302,772千円 (103,739千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>・本県農業・水産業における中核的な担い手が確保・育成され、農業・水産業がより魅力ある産業となるとともに、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」に関わる「人のすそ野」が拡大することで、持続可能な本県農業・水産業が次世代に引き継がれる姿を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○オーガニック栽培技術研修の実施および販売戦略による経営モデルの普及・定着 ・栽培研修開催・経営モデル普及等経費 (補助金) 14,057千円</p> <p>○量販店出荷型イチゴ経営モデルの普及・拡大 ・生産者研究会・経営モデル普及等経費 (補助金) 11,000千円</p> <p>○「琵琶湖システム」を構成する伝統漁法の研修の実施、世界農業遺産認定を活用した情報発信活動への支援 ・琵琶湖漁業に就業を希望する者への研修費 (委託料) 11,950千円 ・湖魚販売等に意欲的に取り組む生産者団体への支援 (補助金) 500千円</p> <p>○湖魚や県産野菜の認知度向上・活用機会創出に向けた情報発信および体験型キャンペーンの実施 ・情報発信および体験型キャンペーン実施費 (委託料) 13,936千円</p>		
KPI	<p>①新規就農者数 (+40人/年)</p> <p>②集落営農法人数 (+9経営体)</p> <p>③琵琶湖システムロゴマーク利用件数 (+160件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/biwako-system/</p>



事業概要【 SHIGA Smart Factory 推進プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	421,927千円 (151,738千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の製品・製造工程のグリーン化のモデルケースを創出し、横展開することでグリーン化の取組を促進する ・大学等との連携により専門知識や技能を補完し、小規模事業者等の生産性向上とグリーン化を推進する ・デジタル人材を育成し、効率的なグリーン化・スマートファクトリー化を推進する ・県外・海外企業等とのマッチングの機会を提供し、本県中小製造企業による新たなサプライチェーンへの参入を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートファクトリー、グリーン化に向けた自社取組支援 ・3Dプリンタ等を活用した生産性の高い新たな試作製造手法の開発事業 3,678千円 ・県内製造現場への水素利活用促進事業 (委託費) 7,300千円 ・県内の製造現場に対応するAI検査技術開発事業 677千円 ・県内企業向け製品・製造工程のグリーン化・高効率化モデル提供事業 (補助金) 33,240千円 (申請内容によっては一部ハード経費を含む) ○スマートファクトリー、グリーン化に向けた産学官連携支援 ・スタートアップ企業と県内中小製造企業の連携事業 10,000千円 ・県内大学等のシーズによる県内中小製造企業が抱える課題解決支援事業 25,270千円 ○デジタル人材の育成支援 ・県内中小製造企業のデジタル人材育成支援事業 9,160千円 ○新たな受注先の獲得支援 ・県外企業からの受注獲得支援事業 8,523千円 ・海外企業からの受注獲得支援事業 13,396千円 		 <p>金属3Dプリンタによる造形 (例)</p>  <p>新たな受注先獲得に向けた商談会</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 県外、海外企業と県内中小製造企業との成約件数 (+17件) ② 県内中小製造企業の製造品出荷額増額分 (+20億円) ③ 県内中小製造企業のデジタル人材育成数 (+14人) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

事業概要【子どもから選ばれる地域産業プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	146,603千円 (53,050千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場との連携により、担い手の育成・確保を図る。 ・地域をつなぐ地場コンサルタントの育成およびIT・DX化により、商品開発や販路の開拓を促進し、経営基盤の盤石化を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業から教育事業へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・実演・体験型の授業やイベントの開催 24,572千円 (委託料・補助金等) ・農業高校を拠点としたDX設備の導入 3,550千円 ○公設試等と連携した地域産業のIT・DX化 <ul style="list-style-type: none"> ・公設試と連携した地域産業者自身のIT・DXスキル習得 2,478千円 ○地域に根差したコンサルタントの育成やフォロー体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタントの育成 15,450千円 (委託料・補助金) ・関係団体を通じたフォロー体制の構築 7,000千円 (補助金) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①県内高等学校等卒業者の県内就職率 (+2.5%) ②教育機関等との連携事業に参加した子どもの数 (+4,000人) ③地域産業のIT・DX化に取り組んだ件数 (+6件) ④地場のデザイナー・コンサルタントの育成人数 (+3人) 		関連 URL https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/ko-usou/300323.html

事業概要【宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業】

推進当初

申請者	滋賀県大津市、京都府宇治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	620,843千円 (310,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 両市が持つ歴史的資源や文化資源が国内外で認知され、幅広い年代やインバウンドを含めた多様な層の観光客が両市を訪れ、両市の文化に深く触れる機会が創出されている。 行政や民間等の多様な主体が連携することで、両市が持つ、豊かな自然環境、歴史・文化、地場産業等が、地域資源として有効活用することができ、地域独自の確固たるブランドが確立されている。 地域の魅力が高まり、交流人口のみならず関係人口が増加することで、住民の自らの地域への愛着や誇りの醸成にもつながる地域づくりができている。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○連携の強みを活かした、戦略的かつ効果的な情報発信 ・プロモーション経費 (大津市:負担金) 20,000千円 (宇治市:委託料) 16,402千円 ○平安文化をテーマとした観光体験の高付加価値化を図る企画展 ・企画展実施 (大津市:負担金) 40,000千円 (宇治市:委託料) 55,670千円 ○デジタル技術を活用した、地域ならではの平安文化を体感できる企画展の実施 ・デジタル技術を活用した企画展 (大津市:負担金) 33,500千円 ○地域への愛着や誇りの醸成にもつながる地域づくり事業 ・植物公園源氏物語関連事業 (宇治市:委託料) 4,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①大津市での観光消費額 (+406千円) ②宇治市へ訪れた観光客の飲食店利用率 (+4%) ③京都を訪れた観光客の大津市への来訪率 (+9.9%) ④京都を訪れた観光客の宇治市への来訪率 (+18%) 	関連URL	(効果検証) 令和6年10月公表予定

事業概要【米原市スマート農業推進事業】

推進当初

申請者	滋賀県米原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	5,490千円 (1,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 意識啓発・学びの場の創出および技術導入における財政支援に一体的に取り組み、スマート農業の導入・普及を図る。 ■ スマート農業の導入・普及の推進を通じて、市内農業者の作業の効率化、省力化、収益性の向上を図る。 ■ 未来の担い手としてスマート農業技術を使いこなす人材の確保・育成を図る。 ■ 最終的に、本市農業における担い手の確保・育成による持続可能な地域農業を目指していく。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>【意識啓発・学びの場を創出する事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市内先輩農家から具体的な活用方法や工夫、課題等を学ぶスマート農業視察会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ (視察先への謝礼) 40千円 ■ スマート農業への関心、知識、導入意欲を向上することを目的に有識者を招聘するスマート農業勉強会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ (委託料) 100千円 ■ 農業に関心のある方とのマッチングや移住定住、空家対策事業と連携した農業関係人口創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算0千円 ■ 新たな担い手となる農業者の掘り起こしおよび育成を目的とした「まいばら農業塾」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ (需用費、講師謝礼、使用料及び賃借料、委託料) 1,312千円 	 	<p>令和5年度 米原市スマート農業勉強会</p> <p>開催日時 2.10 (土) 9:30~12:00</p> <p>申込方法</p> <p>申込締切日 2.7 (水)</p> <p>申込先</p> <p>※詳細はチラシをご覧ください。</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 農作業時間の縮減 (+45%) ② スマート農業技術の導入件数 (+9件) ③ 上記②の内、重点目標の件数 (+3件) ④ スマート農業視察会の参加者数 (+56人) 	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.maibara.lg.jp/soshiki/seisaku/sesakuka/gyosei/sougousenryaku/index.html</p>

事業概要【文化庁京都移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業】

推進当初

申請者	京都府ほか11自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	893,627千円 (255,737千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国及び世界中から府内各地に観光客を呼び込む ・府民が文化を身近に感じることのできる環境を創出する ・地域文化の担い手増加を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽・伝統芸能・舞台芸術等の京都文化発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術フェスティバル開催経費 2,500千円 (謝礼、委託費、補助金) ・コンサート開催経費 2,000千円 (委託費) 他 ○プロとアマチュアが音楽を通して共演し、文化を体感する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「合唱」を通じて共演する音楽祭や国際音楽祭プレコンサート、府内学生等を対象とした演奏指導・体験会開催経費 120,000千円 (委託料) ○パフォーマーが様々な場所で気軽に表現ができる機会を創出する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・府内アーティストや京都の暮らしに根づく文化の担い手らによるパフォーマンスや講演等の実施及び日本人の心根を広く伝えるための発信に係る経費 30,000千円 (委託料) ・少年少女合唱団活動事業 2,594千円 (報償費、旅費、需用費、委託料、使用料、負担金) ・高校生文化芸術祭典事業 3,210千円 (需用費、委託料) 他 ○特色ある文化資源を活かした地域文化発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリー実施事業 10,196千円 (報償費、需用費、役務費、委託料、使用料) ・デジタルマップシステム構築事業 500千円 (委託料、印刷製本費) ・シンポジウム開催事業 1,000千円 (委託費) ・映画等映像媒体を活用した文化発信事業 1,000千円 (委託料) 他 <div style="text-align: center;">  <p>京都からの文化創造・発信</p> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①30代までの府民で地域の芸能や祭りへ参加している人の割合 (+6.1%) ②文化・芸術に関わりを持つ (鑑賞・体験含む) 人の割合 (+21%) ③府域の観光消費額単価 (+1,040円) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、宇治市、宮津市、城陽市、八幡市、京田辺市、和束町、精華町、舞鶴市、京丹後市、南丹市の広域連携事業

事業概要【大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業】

推進当初

申請者	京都府ほか6自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	942,369千円(396,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	会期前の府域の機運醸成、会期中に府域へのゲートウェイとなる万博会場や主要駅等を活用した誘客、京都の強みである「文化・環境」「産業」「観光」の分野に係るイベントや国際会議の開催、会期後にも万博会場での取組を引き継ぎ、「京都から世界へ」メッセージを発信するための議論の場の創設など、継続的に人や投資を府内各地へ呼び込むための仕掛けをオール京都で展開し、京都の文化、産業の活性化と人材の育成につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○200日前や半年前を契機とした機運醸成イベントの開催 7,000千円</p> <p>○各市町への誘客の取組 ・観光ツアー等の造成・販売 30,000千円 ・国内外の催事出展 ・MICE開催支援 ・混雑緩和対策 等</p>	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①万博関連での京都府域への訪問者数 (+3,320人)</p> <p>②MICE誘致件数 (+30件)</p> <p>③ビジネスツアー開催件数 (+20件)</p> <p>④万博関連での取組に参画する学生等、若手世代の数 (+6,000人)</p> <p>※②、③はビジネスイノベーション創出数の内数</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.pref.kyoto.jp/kikaku/banpaku/index.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html</p>

※京都府、京都市、綾部市、宮津市、八幡市、和束町、精華町の広域連携事業

事業概要【若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくり事業】

推進当初

申請者	京都府、京都市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	652,989千円 (240,797千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>在学中から京都企業への理解やマッチング機会の創出により、府内企業への就職を促進することで中小企業の維持存続と活性化を図るとともに、海外人材も含めたスタートアップ支援の強化により、世界に伍するグローバル・スタートアップ・エコシステムを構築し、新卒学生や留学生の受け皿となる成長スタートアップ企業を輩出することで、京都に来た人材が府域に定着し、府内企業の次世代への継承とスタートアップ企業による新たな産業創造を通じ、若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくりの好循環を生み出す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○既存企業の新事業開発支援 29,300千円 ・事業引継ぎによる新事業展開や経営力強化を図るためのコーディネーターによる伴走支援、円滑な経営統合に要する経費の助成 等</p> <p>○外国人起業家の誘致及び事業・生活支援 80,821千円 ・海外人材のビジネス基盤構築支援プログラムの実施（ビジネス人材や地域住民との交流会の開催等）、国を超えた生活・ビジネスを伴走支援するクロスボーダー・アドバイザーの設置 等</p> <p>○スタートアップ企業の成長支援 73,350千円 ・民間企業との連携による国際スタートアップイベントや、国際展示会の開催 等</p> <p>○学生向け府内中小企業等への定着支援 57,326千円 ・京都企業と学生の大規模リクルートフェア（ジョブ博）や、学生と京都企業との連携によるビジネス交流会の開催 等</p>		
KPI	<p>①事業を通じた学生の府内就職者数 (+150件) ②外国人起業家によるスタートアップ企業設立数 (+60件) ③新事業開発に取り組む中小企業等数 (+360件) ④時価総額100億円超スタートアップ企業輩出数 (+6人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html</p>

事業概要【脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業】

推進当初

申請者	京都府久御山町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	268,797千円 (78,444千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	久御山町の脱炭素社会への施策を効果的に組み合わせることにより地域課題の解決につなげ、環境のまち「くみやま」としてのイメージアップも図り、人が集まり、交流が生まれ、賑わいを持ち、定住に繋がる地方創生事業を展開し、地域の活性化を目指し、久御山町における脱炭素社会と地域共生社会の実現を掛け合わせ、あらゆる世代にとって「住みよい社会」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> 脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> エリア形成に向けた将来的な方向性確立 (委託料) 16,966千円 町内企業が求人に対して苦慮している課題解決のための方策検討 (委託料) 4,400千円 町内在住在勤インフルエンサーの講習会 (報償費) 641千円 久御山町「黄金の茶室」の展示会出展 (補助金) 2,288千円 コワーキングスペースの試験運営と施設のあり方検討及び方針決定 (委託料) 7,854千円、(工事請負費) 1,800千円、(備品購入費) 529千円 歩きたくなるウォーキングロード整備推進 (工事請負費) 1,000千円 グリーンインフラで憩いつながり子育て環境づくり <ul style="list-style-type: none"> 町の農産物・特産物を活用した特産品の開発と地産地消イベント・販売会の実施 (補助金) 1,700千円 人と人がつながる広場づくり推進、官民連携による活用イベント実施 (委託料) 10,000千円 地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通との調和の検討や住民・企業・団体の主体的な参画による情報発信 (委託料) 2,684千円、(使用料及び賃借料) 3,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①社会動態 (+166人) ②歩くまちウォーキングアプリ登録者の歩数 (1人あたりの月平均歩数) (+45,000歩) ③くみやま子育て支援センター「はぐくみ」による相談件数 (+83件) ④農業の販売会や地産地消イベントの年間参加者数 (+300人) 	関連URL	調整中

事業概要【魅力あるまちづくりのための事業者成長支援事業】

推進当初

申請者	京都府精華町	初回採択回	令和5年度第1回募集																					
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	48,300千円 (16,000千円)																					
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野																					
目的 (効果)	町内企業の経済活動の活性化や産業競争力を強化し、付加価値の高い企業活動を展開して市場認知度向上を図り域外からの資金を獲得し、既存企業の事業拡大や、新たなビジネスチャンスの種を見つけた新規創業者の誕生にも繋げ、町内の経済循環の発展から地域全体の産業の活性化と底上げが達成されることを目標とする。																							
事業概要・ 主な経費	<p>○産業競争力の強化のための事業者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証及び産業財産権取得に対する補助金 1,500千円 ・展示会出展にかかる経費に対する補助金 4,500千円 ・雇用拡大・人材確保にかかる経費に対する補助金 3,000千円 ・事業計画策定にかかる経費に対する補助金 500千円 <p>○DX化推進補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスツールの導入に関するコンサルティング料等に要した経費に対する補助金 3,000千円 ・新たなビジネスツール導入に伴う機器購入費等に要した経費に対する補助金 2,500千円 <p>○立地企業PRのための特設サイトの保守更新 (委託料) 500千円</p> <p>○連絡協議会委員報酬、事務経費 500千円</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>補助対象</th> <th>対象経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 認証及び産業財産権取得事業</td> <td>市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助</td> <td>審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費</td> </tr> <tr> <td>② 展示会出展事業</td> <td>販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助</td> <td>出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費</td> </tr> <tr> <td>③ 雇用拡大・人材確保事業</td> <td>優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助</td> <td>求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費</td> </tr> <tr> <td>④ 事業計画策定事業</td> <td>コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助</td> <td>セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費</td> </tr> <tr> <td>⑤ DX計画策定事業</td> <td>機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助</td> <td>委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費</td> </tr> <tr> <td>⑥ DX推進機器導入事業</td> <td>DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助</td> <td>ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	補助対象	対象経費	① 認証及び産業財産権取得事業	市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助	審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費	② 展示会出展事業	販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助	出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費	③ 雇用拡大・人材確保事業	優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助	求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費	④ 事業計画策定事業	コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助	セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費	⑤ DX計画策定事業	機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助	委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費	⑥ DX推進機器導入事業	DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助	ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費
事業名	補助対象	対象経費																						
① 認証及び産業財産権取得事業	市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助	審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
② 展示会出展事業	販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助	出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費																						
③ 雇用拡大・人材確保事業	優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助	求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費																						
④ 事業計画策定事業	コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助	セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
⑤ DX計画策定事業	機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助	委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
⑥ DX推進機器導入事業	DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助	ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費																						
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 町内企業における新規販路開拓件数 (+150件) ② 新規雇用者数 (+600人) ③ 新規創業事業者数 (+70人) ④ DX化取組事業件数 (+40件) 	関連URL	調整中																					
※経費内訳はR6年度事業費	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値																							

事業概要【地域と都市の結び付きを生み出す、持続可能で豊かな地域創造事業】

推進当初

申請者	京都府京丹波町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,126千円 (32,632千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	京丹波町の年間交流人口は400万人が流入する一方、地域活動やボランティアの人材は、恒常的に不足する状況。交流人口を関係人口へ繋げ、多種多様な地域課題に対する打開策として、地域貢献活動を通じた京丹波町の域内活性化を図るため、デジタルプラットフォーム等を導入する。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業体験の開催 事業費【2,000千円】 2. デジタルプラットフォーム運営事業 事業費【1,122千円】 3. 地域通貨 (デジタル通貨) 管理システム構築事業 事業費【17,710千円】 4. 農の学校の開設事業【1,800千円】 5. 交流拠点施設改修業務【10,000千円】 		   
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①デジタルプラットフォームを通じた関係人口創出数・・・ (+520人) ②農業体験、農業学校に参加し、町内で就農した者の数・・・ (+13人) ③地域通貨への交換総額・・・ (+5,000千円) 	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/kakukakarasagasu/kikakujoyouhouka/gyomuannai/4444SDGs/7730.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gyoseijoho/shingikai_iinkai/kyotambachosogokeikakushingikai/6740.html 【令和5年度 第1回審議会概要および資料】</p>

事業概要【交流・共創によるイノベーション・コミュニティ形成事業】

推進当初

申請者	大阪府堺市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,636千円 (27,112千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家・事業家・学生やその支援者等が集まり、交流・共創を生む場所・プラットフォームを作る ・ナレッジ獲得のイベント、交流促進イベントや交流拠点の周知が進み、堺・中百舌鳥に集まる関係人口が増える ・起業や事業成長につながるプログラムや堺・中百舌鳥のネットワークに参加する交流人口が増える ・イノベーション創出につながるコミュニティが確立し、堺発・中百舌鳥発の事例が絶え間なく生み出される。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○交流拠点の開設・運営とイノベーション創出の優良事例を発信する取組も実施。</p> <p>(1) コミュニティマネージャーの配置 (2名) 13,200千円 (2) 交流拠点の入退室管理システム 1,800千円 (3) 交流拠点の認知度向上、優良事例の発信 4,600千円</p> <p>○交流拠点の利用者と市内外のステークホルダーとの交流・共創を促すプログラムや若者・学生向けのアントレプレナーシップマインド醸成のプログラムを実施。</p> <p>(4) 交流・共創を促すプログラムの企画運営 3,600千円 (5) 潜在層対象のアントレマインド育成プログラム 1,800千円</p> <p>○リアルでの交流・共創に加え、オンラインでのプラットフォームも構築することで、地域のイノベーション創出につなげる。</p> <p>(6) オンラインコミュニティ運営 2,112千円</p>		 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①イノベーション創出につながる事業数 (+75件) ②交流・共創によるマッチング数 (+150件) ③交流・共創につながるコンテンツ提供数 (+96件) ④コミュニティに新規参加する事業者数 (+300者)</p>		関連URL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/nakamozi-innovation/index.html

事業概要【都市型ツーリズムを活用した「将棋のまち 高槻」推進事業】

推進当初

申請者	大阪府高槻市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	219,124千円 (77,430千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	将棋をはじめとした本市が誇る歴史資産などの地域資源を、まちが一体となって磨き上げ、全国から継続的な来訪者の誘引を図る都市型ツーリズムを開発・実施することによって、「将棋のまち 高槻」という都市ブランドの確立と交流人口・関係人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○将棋文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棋士学校派遣事業 730千円 ・広報誌への詰将棋掲載 400千円 ・高槻将棋まつり開催 20,000千円 <p>○都市型ツーリズム開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋ツーリズム等の企画・本格実施 25,000千円 <p>○シティセールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション企画・実施 20,000千円 ・主要鉄道駅での「将棋のまち 高槻」及び都市型ツーリズムのPR、イベント企画・実施 6,500千円 ・「将棋のまち 高槻」広告費 4,800千円 	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①GPSの位置情報分析による市外来訪者数 (+15,000人) ②観光入込客数 (+6,000人) ③「将棋のまち高槻」の認知度 (+15%) ④街がにぎわっていると感じる市民の割合 (+6%) 	関連URL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/site/shingikai/list19-71.html

事業概要【2025年大阪・関西万博を契機とした「観光コンテンツ整備」事業】

推進当初

申請者	大阪府八尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,974千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 「人が訪れたいまち」を目指し、国内外からの来訪者が市内各所を訪れ、交流人口が増加する。 本市の様々な魅力ある地域資源に触れる人たちがまちがにぎわい、地域経済が活性化し、市民・事業者などの活動が活発になり活気にあふれるまちにする。 様々な地域資源に関連する素材を活用した観光コンテンツの開発により、郷土愛が育まれたまちにする。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1. 「観光コンテンツ整備」事業【15,000千円】 (1) コンテンツ情報発信委託費【①13,000千円】 オンライン体験型観光コンテンツ「やったらおもしろい八尾」の周知を広域的、効果的に行う。 (2) 体験型観光プラン誘客委託費【②2,000千円】 体験型観光プランの試験的な実施を行う。 2. 「八尾の歴史体験」事業【3,000千円】 (1) コンテンツ情報発信委託費【①に含む】 (2) 由義寺跡美装化委託費【2,500千円】 (3) 由義寺跡花き装飾委託費【500千円】 由義寺跡における地域の市民団体とコラボした体験イベントを開催するため、史跡内の美装化及び花き装飾業務を行う。	観光 コン テン ツ 八 尾 の 歴 史 体 験	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①大阪府外から本市への来訪者数 (+ 34,746人) ②本事業を経て企画した体験型観光プランの参加者数 (+ 500人) ③本市で撮影された映画等に参加したエキストラ数 (+ 30人)	関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.city.yao.osaka.jp/0000074016.html (効果検証) 令和6年8月公表予定

事業概要【デジタル技術を活用した多様なコミュニティ創出による地域活性化事業】

推進当初

申請者	大阪府河内長野市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,200千円 (21,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野

目的（効果）
 デジタル技術を活用することで、地域コミュニティが活性化され、多くの市民が地域のまちづくり活動に主体的に参画するとともに、担い手である市民党と行政とが、まちづくりの方向性を共有し、相互理解に基づく多様な主体による「協働によるまちづくり」を目指すとともに、市民の本市に対する誇りや愛着、市内外からの認知度や好感度を高め、本市が「選ばれる都市」となることを目指す。

事業概要・主な経費
 ※経費内訳はR6年度事業費

事業1 デジタル技術を活用した新たなコミュニティの創出事業
 若い世代を含む現役世代の地域コミュニティへの参画率をあげるため、メタバースやオンラインプラットフォームを用いたコミュニティの創出、コミュニケーションシステムの運用を実施。あわせて、高齢者向けデジタルデバйд解消を目指す。
 ・オンラインコミュニケーションプラットフォーム環境整備（委託料） 3,500千円
 ・オンライン、オフラインのコミュニティ連携支援（委託料） 8,000千円
 ・地域活動活性化を目的としたデジタルデバйд解消（委託料） 2,000千円

事業2 主体的な地域活動への参加を促すシビックプライドの醸成
 河内長野市のイメージ転換・魅力発信によりシビックプライドを醸成するとともに、明確化された河内長野ブランド理念をもとに行政・市民・関係人口が同じ方向性で主体的にまちづくりに参加する環境を作る。
 ・河内長野市ブランディング（委託料） 7,800千円

オンラインコミュニケーションプラットフォーム



メタバース(イメージ図)



ワードクラウドによる分析

KPI
 ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①オンラインコミュニケーションプラットフォームの登録者数（+1,500人）
- ②30代以下のまちづくり活動への参加状況（年1回以上）の割合（+1.8%）
- ③市民同士の連携や市民と行政の協働に関する市民満足度（+5.2%）
- ④「河内長野市に愛着と誇りを感じている」市民の割合（+6.6%）

関連URL

（交付金の具体的使途・実施体制）
<https://www.city.kawachinagan.o.lg.jp/soshiki/30/93297.html>
 （効果検証）
<https://www.city.kawachinagan.o.lg.jp/soshiki/30/16911.html>

申請者	大阪府大東市	初回採択回	令和5年度第2回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,401千円 (20,250千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・大東を知ってもらい認知度を向上させる ・観光客など、大東を訪れる人を増やす ・大東市内で消費活動をする人を増やし、産業・商業の活性化を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○認知度の向上 (知ってもらう) <ul style="list-style-type: none"> ・三好長慶及び飯盛城PRにかかる他市連携：380千円 ・PRツール等制作：1,190千円 ・ブース・フェス出展：1,241千円 ○観光客の増加 (訪れる人を増やす) <ul style="list-style-type: none"> ・飯盛城跡バーチャル体験コンテンツ制作：1,191千円 ・大東市の魅力を活かした観光ガイドツアー：380千円 ・周遊型謎解きイベント：3,883千円 ○商業・産業の活性化 (消費する) <ul style="list-style-type: none"> ・周遊コンテンツや商品・体験プログラムの開発等：6,985千円 ○検証 <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査・イメージ調査：5,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①ブース出展にかかる来訪者数 (+890人) ②デジタルスタンプラリーの参加者数 (+292人) ③新商品の開発数 (+15個) ④デジタルスタンプラリーによる来客数 (+185人) 		関連URL https://www.city.daito.lg.jp/soshiki/74/48417.html	

事業概要【オール門真による「ものづくり」ブランディング事業】

推進当初

申請者	大阪府門真市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,563千円 (23,287千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本市の基盤産業である多様な「製造業」の活性化、特に域外からの受注・域内受発注の連携、高付加価値型企業への転換、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、域内所得及び雇用者数の増加につなげ、域内経済の好循環による経済成長、関係人口の増加を目指す。また、企業の利益率向上により、賃金所得が増加することで、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業としての「門真ブランド」の発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ○機械要素技術展大阪への出展 ・展示会業務委託 (9,747千円) ・展示会会場借上料 (7,700千円) ②「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ○労働環境の向上の取組みに対する補助金 (3,600千円) ○企業の魅力向上・発信の取組みに対する補助金 (1,700千円) ○カーボンニュートラル推進に資する取組等に対する補助金 (200千円) ③「オール門真」での連携支援体制の構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ○門真市ものづくり産業振興懇話会委員報酬 336千円 ○開催通知等通信運搬費 4千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額 (+96,154千円) ②支援を実施した事業所における従業者増加数 (+126人) ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数 (+64人) ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数 (+522人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/25027.html (機械要素技術展 大阪)</p> <p>https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/24357.html (企業魅力アップ事業補助金)</p> <p>https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/25502.html (ものづくり産業振興懇話会)</p> <p>https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/monodukurikonwakai/30463.html (ものづくり産業振興計画)</p>

申請者	大阪府東大阪市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,734千円 (44,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市の製造業が旧態依然としたものではなく、未来社会をけん引する存在であることを世界に発信する。 ・万博に参画する市内企業の自社PR力強化を図る。 ・東大阪市のモノづくりのまちであることの認知と評価を高め、市内で働く人材を呼び込み定住人口増加を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○万博参画企業の情報収集及び効果的なプロモーションの実施 (委託料) 13,150千円 ○大阪ヘルスケアパビリオン展示・出展ゾーンに出展する企業を支援 ・出展料補助金 6,250千円 ・製品開発支援補助金 25,000千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	① 支援を受けた企業の売上高増加率 (+20%) ② 新製品開発に取り組んだ企業数 (+25社) ③ 支援を受け、業績が向上した企業数 (+28社)		関連URL (交付金の具体的用途・実施体制) https://higashiosaka-expo2025.jp/

事業概要【まちの魅力の創造・発信による、地域内経済活性化事業】

推進当初

申請者	大阪府島本町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	27,164千円 (7,854千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の消費活動を誘発する事業を複数実施し、町内の経済循環を向上させる ・消費喚起につながる交流事業の開発、創業支援、特色ある商品開発の実施 ・アナログ媒体とデジタル媒体を組み合わせた、上質なタウンプロモーションの強化 ・にぎわいや活気づくりの拠点創出 ・外部専門家による支援を受けて、関係者の体制強化 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>【事業詳細①消費喚起につながる体験プログラムの開発、創業支援、商品開発の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 体験プログラム開発における民間団体支援補助金 : 715千円 (2) 創業支援事業 : 2,000千円 (3) 特色ある商品開発事業 : 0千円 (※R6は予算措置なし) <p>【事業詳細②アナログ媒体とデジタル媒体を組み合わせた、上質なタウンプロモーションの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) タウンプロモーション事業 : 4,062千円 <p>【事業詳細③にぎわいや活気づくりの拠点創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) キャンプ場跡地活用事業 : 0千円 (※R6は予算措置なし) (2) 島本町歴史文化資料館活用事業 : 0千円 (※R6は町単費にて実施) <p>【事業詳細④外部専門家による支援を受けて、関係者の体制強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 専門家事業支援 : 1,077千円 	<p>事業詳細②タウンプロモーション展開イメージ</p>  <p>ブックレット「島本と。」</p> <p>島本町HP</p> <p>アナログ媒体をWEBでもPRし、上質なタウンプロモーションを図る</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①資本金等の額1千万円以下及び従業者数50人以下の均等割と法人税割を納める法人の数 (+15法人) ②ふるさと納税の出店数 (+8店) ③新聞掲載件数 (+260件) ④ランディングページ年間ページビュー数 (+4,700PV) 	関連URL	<p>(交付金の具体的用途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.town.shimamoto.lg.jp/site/kaigi-kaisainittei-shingikai/20627.html</p>

申請者	関西広域連合	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,000千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	関西広域連合域内の観光案内所をネットワークで結ぶことにより、的確できめ細やかな広域観光情報を旅行者に旅ナカで提供することを通じて、広域観光圏としての「関西」を形成し、「関西」の認知度向上、域内の周遊など広域観光の促進を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○観光案内所の機能強化による広域観光案内の仕組みの構築 ア 観光案内所の機能強化 ・観光案内所のネットワークシステムの開発 (負担金)13,000千円 ・各観光案内所の相互連携強化の研修会 (負担金)1,000千円 イ 「The KANSAI Guide」における旅ナカ情報の発信 ・外部のサイトとの連携に係るシステム開発 (負担金)4,000千円 ・APIエンジンシステム開発 (負担金)6,000千円 ○観光人材の対応力の強化 (観光人材向け研修会) 0千円	<p>大阪・関西万博開催 R7 (2025年) ネットワークシステムの運用 R6 (2024年) ネットワークシステムの開発 R5 (2023年) 広域観光案内の仕組みの構築 (ネットワークシステムイメージ) (臨時観光案内所)</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①関西における外国人延べ宿泊者の増加 (+644,607人) ②関西における訪日外国人の推計訪問者数の府県間の差の減少 (▲3,663,930人) ③「The KANSAI Guide」PV数の増加 (+530,000PV)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/keikaku/kouikikeikakutousuishin/index.html

事業概要【2025大阪・関西万博への関西パビリオン出展事業】

推進当初

申請者	関西広域連合	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	439,000千円 (200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・万博を訪れた人々が実際に現地に訪れたいような仕掛けを行い、万博会場から関西各地への誘客を図る。 ・万博会場から関西各地を結ぶMaaSを開発・運用し、スムーズな関西各地への誘客を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○運営委託費 <ul style="list-style-type: none"> ・PVの運営に必要な人材の確保・訓練、備品調達等 (委託料) 60,500千円 ○展示制作費 <ul style="list-style-type: none"> ・展示コンテンツの作成、展示物の調達、展示装飾等 (委託料) 137,000千円 ○関西PV及びMaaSに関するセミナー実施 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家によるセミナー等を実施し、関西PVを地方創生に活かす方法を学ぶ (会場料等) 1,000千円 ○機運醸成のためのイベント <ul style="list-style-type: none"> ・講師によるトークセッション等を実施し、機運醸成を図る (会場料等) 1,000千円 ○関係団体等との連絡会議等 <ul style="list-style-type: none"> ・関西PVへの参加府県間で連携を取るべき案件の調整等 (会場料等) 500千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 関西地域での1ヶ月の宿泊者数 (+2,158,000人) ② 関西パビリオンの集客数 (+2,000,500人) ③ 関西パビリオン訪問客のうち満足度が高かったものの割合 (+90%) ④ 関西パビリオン紹介HPでの応援コメント数 (+10,900件) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/keikaku/kouikikeikakutousuishin/index.html



事業概要【SDGsを原動力とした産業基盤強化プロジェクト】

推進当初

申請者	兵庫県、神戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	458,214千円 (168,318千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs宣言・認証事業による県内中小企業のSDGsの取組推進 ・中小企業や産地のSDGsに資する商品開発や販路開拓の支援 ・SDGs推進のためのDX人材の育成 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの対応が遅れた企業はグリーン調達からの排除など経営上のリスクが高まることを踏まえ、宣言・認証制度により県内中小企業の取組みを推進するとともに、宣言内容を広く発信 (補助・委託等) 21,464千円 ・シェアを落としつつある地場産業において、SDGsの取組 (SDGsに資する商品開発等) を通じて地場産品の魅力向上を図り、地場産業のブランド価値向上をめざす取組を支援 (補助金等) 40,000千円 ・SDGs推進のためのDX人材の育成 スパコン活用人材の育成 (負担金) 20,000千円 マテリアルズ・インフォマティクス人材の育成 (委託料等) 8,096千円 	 <p>【ケミカルシューズ】 (漁網再生生地を利用した靴)</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> SDGsに資する商品開発 イメージ </div>  <p>【播州織】 (残糸を再利用した生地)</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①SDGsの取組が順調に進んでいる県内企業の割合 (+23.40%) ②ひょうごSDGs推進宣言を行った産地数 (+18産地) ③DX導入支援により実装に結びついた件数 (+2件) ④県内に本社を置く企業の海外進出数 (+2社) 	関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制、効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html

事業概要【万博開催を契機とした多様な人材による関係人口拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	兵庫県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	322,991千円 (113,363千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>コロナ禍で減少した人の交流を回復し、さらに広げていくため、2025大阪・関西万博を絶好の機会とし、ツーリズムのコンテンツ等として地域資源を磨き上げ、地域の魅力を広く発信。また、入国制限が解除され、国内外から万博に人が訪れる情勢を捉え、若者や外国人の就業や起業を促進する体制を整備し、移住・定住につなげていく。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の発掘・コンテンツ化 各地の地域遺産等の情報収集・データベース化 (委託料等) 450千円 ・地域遺産等のコンテンツ化、情報発信 (委託・補助等) 49,114千円 ・地域資源を活用した体験型ツーリズム創出促進のため、 ツーリズムの企画・実施を支援 (委託・補助等) 24,280千円 ・外国人起業家支援のためのグローバル拠点を整備し、 相談や交流事業の実施を支援 (補助等) 52,634千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 来訪者満足度 (+11.9%) ② 住んでいる地域で自慢したい地域の宝 (風景や産物、文化など) がある割合 (+15.9%) ③ 県内大学生の県内就職率 (+3.6%) ④ 県内外国人労働者数 (+2,942人) 	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証)</p> <p>https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html</p>

事業概要【多自然地域における持続可能な地域づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	兵庫県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	505,886千円 (197,971千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	人口減少・高齢化の進む多自然地域での持続可能な地域づくりのため、○農業への新規参入や収益向上を促進し、地域の基盤産業の維持を図る、○里山の保全活動を支援し、里山環境の維持を図る、○地域づくりに取り組む市町への支援によりコミュニティの維持発展を図る、○従来の公共交通に代わる新たな交通手段として、高齢者等の生活の足となる自動運転の実装をめざす		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・多自然地域の産業や生活の基盤である農業人口の減少を防ぐため、企業や都市住民等の新規参入を支援 農業技術や経営ノウハウ習得に向けた支援を実施 (補助金) 7,140千円 ・持続的な農業経営の実現のため、付加価値の高い農産物生産等による収益性の向上を支援 有機農業モデル経営体育成への支援等 (補助金等) 17,610千円 ・里山保全のための活動等を行う団体等への支援 (補助金等) 7,981千円 ・地域での生活の維持に必要な新たな交通手段の実証 自動運転の地域実装を目指した実証実験の実施 (委託料等) 70,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①企業の農業参入数 (+60件) ②森林ボランティア団体数 (+6団体) ③持続可能な生活圏形成等支援事業を通じて取組を実施した地域数 (+37団体) ④住んでいる地域にこれからも住みたい割合 (+0.7%) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html</p>

事業概要【海洋都市神戸としての基盤を活かした新産業「海洋産業」の振興】

推進当初

申請者	兵庫県神戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,667千円 (15,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>海洋都市としての基盤を活かした海洋産業の振興を図ることで地方創生を実現するため、「神戸市海洋産業ネットワーク協議会（仮）」を立ち上げ、海洋産業振興の取り組みを加速させるとともに、2030年度を目標に、神戸市の強みである「港町としての歴史・立地的特性」「学術研究機関・海洋関連企業の集積」を最大限に活かし、海洋産業に関する『知の集積』を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○海洋産業の振興に向けた産官学連携 14,000千円 神戸市海洋産業振興ネットワーク（KOBEMARINET）を核として、勉強会や産官学が出会う実海域ミートアップの開催、マッチングの促進、個別プロジェクト伴走や実証フィールド調整の支援を実施する。</p> <p>○普及啓発・海洋人材の育成 1,000千円 学生が自らの研究やアイデアを将来ビジネス化できるよう、煩雑な手続き等なく気軽に海に関する技術を実海域で披露する場を設け、企業等ユーザー側のニーズを聞いたり、就職先として出会える機会を創出する。</p>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①神戸市海洋産業振興ネットワーク（KOBEMARINET）への企業の参画（+30社）</p> <p>②「海プロジェクト」及び産官学共同研究による新技術の実用化に向けた実証支援事業への申込（+11件）</p> <p>③体験型海洋イベントへの参加（+30人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html</p>

申請者	兵庫県神戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	44,834千円 (20,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・須磨海岸エリアの滞在期間長期化につながる魅力のある新たな観光ルートの開発が必要。 ・神戸市は淡路3市と連携協定を締結しており、近年話題性も高まっていることから、淡路島との連携が効果的。 ・両地域でのサイクリング人気と、今後の「セトイチ」人気を観光資源として活用を図る。 ・新たな観光ルート構築によるインバウンドの獲得を目指し、市内経済の活性化を図る。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○サイクリストを中心とした新たな観光ルートの構築 条件の変化に伴う需要の動向を確認するとともに、課題解決につながる事業展開や、より良い観光ルートについて検討し、自立化に向けた事業内容の改良及び確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運航費用 10,000千円 ・事業運営費 9,500千円 <p>○新たな観光ルートのプロモーション事業 新たな観光ルート（須磨～淡路島）の魅力进行PRすることで、須磨と淡路島を結ぶ観光ルートの知名度を高めるとともに、新たな観光客の獲得につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報費 500千円 		 <p>提供：国土地理院</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①須磨・舞子エリアの観光客数 (+96万人) ②観光ルートの利用者数 (+1,539人) ③観光ルートの自転車での利用者数 (+514人) ④レンタサイクル施設の利用者数 (+328人) 		関連URL https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html	

事業概要【地域資源「明石のたからもの」を活用した魅力と賑わいの向上】

推進当初

申請者	兵庫県明石市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	159,663千円 (65,952千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市の魅力や地域資源「明石のたからもの」の浸透により、関係人口等の増加と定住人口の維持・拡大を実現する。 ・国内最古のプラネタリウムを有する天文科学館がデジタル技術を取り入れ、アナログとデジタルの融合した展示や催しを実施することで、入館者数をコロナ禍前の水準とする。 ・明石を代表する水産物であるマダコについて、資源の保全や資源維持型漁業により資源量を回復させる。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>①地域資源「明石のたからもの」の情報発信 9,362千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石たこ大使さかなクンを活用した海のみち・魚のみち明石PR 3,150千円 ・天体ショーライブ配信イベント等を通じた時のまち明石のPR 1,000千円 ・地域資源などにちなんだデジタルスタンプラリーの実施、子育て支援施策や優れた住環境等の宅地建物取引業協会加入事業者等に向けた情報提供・PRなど 1,412千円 ・大阪・関西万博に関連した魅力発信イベントの実施・PR 3,800千円 <p>②天文科学館の魅力向上 29,012千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した体験・体感型の展示整備 25,000千円 ・デジタル式移動プラネタリウムの導入 3,000千円 ・デジタル地球儀の導入、憩いの場の整備 1,012千円 <p>③豊かで安全な海づくり 27,578千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダコの資源量確保に向けた産卵用タコつぼや施肥の投入とモニタリング調査12,000千円 ・アマモ場の造成、魚礁の設置 7,500千円 ・水上バイク進入防止フロート設置など 8,078千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①観光入込客数 (+300,000人)</p> <p>②天文科学館入館者数 (+35,000人)</p> <p>③マダコの漁獲量 (+870 t)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.akashi.lg.jp/seisaku/seisaku_shitsu/akashitihousei.html</p>	

申請者	兵庫県西脇市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,986千円 (19,764千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>・観光産業・地域産業等について、環境や社会課題との調和を図ることで新たな価値を創造し、域内の経済循環、域外からの資金流入の促進とともに、新たな人材を呼び込む好循環を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGsにつながる事業展開の促進 ○循環型・未来型農業による生産性・持続性向上 ○産業観光を通じた地域産業の魅力向上 ○地域産業を支える人材の育成・確保指す 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ひょうごフィールドパビリオン連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンファクトリー運営支援 (補助金) 2,000千円 ・観光交流情報発信強化事業 (補助金) 2,236千円 ・播州織生地マルシェの開催 (補助金) 1,000千円 ○SDGs経営普及・促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進パートナー制度の運用 (報償費等) 118千円 ・SDGs産業イベントの開催 (補助金) 1,650千円 ○循環型・未来型農業推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄食材を活用した6次産業化 (委託料) 2,400千円 ○地域産業を支える人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流の実施 (委託料) 700千円 ・播州織デザインチャレンジ事業 (委託料等) 1,480千円 ・若者等へのSDGs普及啓発 (補助金等) 830千円 		 <p>播州織産地博覧会・オープンファクトリー</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域産品売上増加率 (+10%) ②観光入込客数 (+100千人) ③ひょうごフィールドパビリオン等参加事業者数 (+10団体) ④SDGs推進パートナー数 (+50団体) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/shichoukoushitsu/seisaku/chihousousei/28193.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/shichoukoushitsu/seisaku/chihousousei/28193.html</p>

事業概要【三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業】

推進当初

申請者	兵庫県三田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,281千円 (1,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	市北部に広がる農村地域は、里山等の地域資源が豊かであり、近年の地方回帰やアウトドアへの関心の高まりから、その利用者が堅調な実態がある。そこで、市北部にある里山等の自然を活かした種々様々なアウトドア活動を通じた賑わいにより新たな交流人口を創出して農村地域の活性化に資することで、本市への新たな人の流れを作ることを目的に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>前年度の事業可能性調査の結果をもとに、本格実施に向けて必要な法規制や周辺整備等への対応を検討し、プロジェクトの具体化を図っていく。</p> <p>【本年の事業概要】</p> <p>(1)体験型プログラム等開催費 子どもを中心に、体験を通じて自然やSDGs等の学びを得られるイベント等の開催に要する費用 (需用費等) 500千円</p> <p>(2)機運醸成・広報啓発の取り組み 外部人材によるSNSを活用した広報展開、千丈寺湖を活用したシーセールス動画作成費用 (委託料) 800千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①観光入込客数 (+310,000人)</p> <p>②移住相談窓口件数 (+1,000件)</p> <p>③市民の居住意向として農村地域において市内に住み続けたいと答えるものの割合 (+2.10%)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/17/gyomu/4/senjoyujiko/index.html (効果検証) 令和6年9月公表予定</p>

事業概要【地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」】

推進当初

申請者	兵庫県三田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,655千円 (4,746千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を対象に定住・Uターンの推進、関係人口の創出・拡大を図る ・学生等と地域のマッチング、地域課題に関わる仕掛け、特に地域の「ひと」とつながりを持つことのできる取り組みモデルの構築 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生等を対象とした地域活躍人材育成プログラム（ワークショッププログラム）「スモカモス・プロジェクト」実施 ○伴走支援コーディネーター育成プログラムの実施 ・プログラム企画・開発・運営費用（委託料）4,746千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①未来を担う若者指数（15～19歳人口の10年後残存率）（+4%） ②地域での学生等若者のチャレンジによるプロジェクト数（+64件） ③プログラム参加者、卒業生、協力事業者をはじめとした、スモカモス・コミュニティ登録者数（+180人） ④若者のチャレンジの伴走支援が可能なコーディネーター認定者数（+24人） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/3/gyomu/1/2/15285.html （効果検証） https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gyosei_hyoka/23033.html

事業概要【空がつなぐヒト・コト・モノ交流推進プロジェクト】

推進当初

申請者	兵庫県加西市ほか4自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	274,858千円 (80,351千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会を中心に5市町連携により“ヒト・コト・モノの交流”を深め、平和学習、平和ツーリズムの推進を図る。ICT技術を活用した観光コンテンツの創出や歴史資料のデジタル化、ビッグデータ活用による来訪者増を図るとともに、各市の戦争遺産を活用した共同プロモーションを実施し、戦後80年や関西万博での平和ツーリズムのアピールにより、更なる認知度の向上と集客を図り、まちの賑わいを生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>【ヒトの交流】平和普及推進、関係人口創出・拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同情報発信、パネル相互展示、ガイド養成 3,450千円 ・相互平和教育推進、教育プログラム整備 2,500千円 <p>【コトの交流】まちの賑わい・魅力創出、「戦後80年」・「大阪・関西万博」連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツ開発、ICT・データ活用 43,456千円 ・企画展開催、調査研究、資料収集 10,945千円 <p>【モノの交流】地域間経済循環促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町連携による新商品開発、ブランド化 20,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①観光ガイドによる平和関連施設案内者数 (+10,136人) ②児童生徒の相互平和学習・交流による参加校数 (+12校) ③ふるさと納税のうち農畜水産物返礼品に対する寄付金額 (+30,000千円) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制)</p> <p>https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/3/41172.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/3/2650.html</p>

※兵庫県加西市、兵庫県姫路市、熊本県錦町、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市の広域連携事業

事業概要【多世代・異業種間の交流と学びによる人材育成で活力TAKAまる事業】

推進当初

申請者	兵庫県多可町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	172,176千円 (93,083千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら継続して学び活動する人材や起業・創業に挑戦する人材の活動や学びを深化させるため、専門家はじめ外部人材（関係人口）との交流や学びの機会を提供することで、これらの学びから実際に起業・創業・事業再生する人材を更に支援していく。 ・大阪・関西万博に向け、多可町への周遊を狙い、フィールドパビリオンとして登録するSDGs型クアオルト健康ウォーキングや杉原紙紙漉き、山田錦の田植など受け入れ体制を整え、万博後も地方創生を支える核となる事業となるよう人材を育成する。 ・地域住民との学びやフィールドパビリオンでの交流から多可町とかかわりたい人、応援した人を増やし、多可町への人の流れを生み出す。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○生涯学習推進事業 ¥4,805千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座開催（報償費）550千円 ・各種講座開催（使用料）665千円 ・各種講座開催（消耗品費）487千円・生涯学習講座等プログラム開発・調整業務（報酬・手当）2,300千円 他 <p>○SDGsクアグリーンTAKA推進事業 ¥1,190千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、勉強会等（報償費）450千円 ・研修会、勉強会等（印刷製本費）240千円 ・活動団体補助（補助金）300千円 他 <p>○森林サービス産業推進事業 ¥6,532千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康保養地事業（委託料）6,000千円 ・健康保養地事業チラシ折り込み料等（役務費）272千円 他 <p>○大阪万博フィールドパビリオン推進事業 ¥3,900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博推進事業補助金 3,500千円、・消耗品費 200千円 他 <p>○起業創業等創出・特産品普及開発促進事業 ¥20,619千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業等セミナー開催（報償費）1,060千円 ・杉原紙制作作業員（報酬/手当）13,000千円 ・杉原紙制作等における作業（委託料）3,348千円 ・杉原紙制作における経費（原材料費）1,700千円 他 <p>○デジタル活用人材育成事業 ¥1,500千円・人材養成（委託料）1,500千円</p> <p>○大学連携事業 ¥300千円 ・大学連携活動（補助金）300千円</p> <p>○ふるさと教育事業 ¥4,237千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいちゃんおばあちゃん児童絵画展各種賞（報償費）1,035千円 ・募集要項郵送代等（役務費）1,020千円 ・おいちゃんおばあちゃん児童絵画展における絵画作品web展示等（委託料）1,120千円 他 <p>○生涯学習まちづくりプラザ環境整備事業 ¥50,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・什器等環境整備（工事費）50,000千円 		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①人口（社会増減数）（+32人） ②人材バンク登録者数（+10人） ③起業創業者数（+15人） ④各種講座等参加人数（+30人） 		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   <p style="text-align: center;">▲森林サービス産業推進事業▲</p>  <p style="text-align: center;">▲ふるさと教育事業▲</p> </div>
<small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	関連URL	（交付金の具体的使途） https://調整中 （効果検証） https://調整中	

事業概要【大和郡山城下町エリア商業リブランディング推進業務】

推進当初

申請者	奈良県大和郡山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	45,545千円 (15,850千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的なまちなみや商店街で商いを楽しむヒトの魅力を伝えることをリブランディングのテーマとし、城下町エリアの価値向上を目指す ・商店街の利用者数を増やし、持続的な賑わいを生み出す ・都市機能が集まり、商業の中心である城下町エリアに都市型産業を集積させ、コンパクトシティの形成を図る ・若者世代の転出抑制・転入増加を図り、定住者を増やす 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○城下町エリアのリブランディングテーマにそった定期マーケットの開催や冊子等の作成、創業希望者のマーケット出店や創業に向けた助言や継続した経営ができるノウハウを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアプロデュース業務 2,221千円 ・マーケットの開催 7,648千円 ・地元店の魅力を伝える冊子等の作成 3,342円 ・創業希望者に対する伴走支援型プログラムの実施 1,298千円 <p>○学生が高齢世帯の住居で高齢者との同居をマッチングする次世代下宿推進業務（大和郡山ソリデール）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生と高齢者の同居マッチングシステムの運営 770千円 ・説明会運営費 396千円 ・その他経費 175千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①事業を通して来客数が増加した店舗の数 (+35件) ②マーケットへの出店件数 (+55件) ③伴走型支援プログラムへの参加者数 (+11人) ④前年と比較した転入者数の増加数 (+100人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 現在調整中 (効果検証) https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/shiseijoho/shinokeikaku/sougousennryaku/7174.html</p>

事業概要【葛城IC周辺エリアを軸とした観光産業創出事業】

推進当初

申請者	奈良県葛城市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	72,534千円 (20,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県西の玄関口として相撲を軸とした葛城ブランドの確立及び観光情報の発信拠点化 ・南阪奈道路のかつらぎICエリアを中心とした賑わいの創出及び宿泊施設の誘致による滞在型観光促進 ・唯一性の高い相撲発祥の地をキーとして、相撲に関連したイベントを通じた地域内外へのPRによる地域への浸透 ・『食』の視点から相撲に関連したイベントの実施、商品の開発など観光消費額を押し上げるための施策展開 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○ちゃんこ鍋コンテスト等相撲に関連したイベントの実施 ・イベント関連経費 (委託料) : 3,300千円 ○道の駅への更なる誘客促進を目的に、隣接するしあわせの森公園展望広場の景観を活用したイベント・教室の実施 ・講師謝礼費 : 200千円、消耗品費 : 300千円 ○ちゃんこ鍋コンテスト優秀作品レシピを基に、ちゃんこ鍋商品開発のための試作・商品化 ・商品開発関連経費 (委託料) : 500千円 ○葛城IC周辺エリアを中心とした広域観光の促進、県内での最初と最後の滞在拠点となる滞在型観光の創出に向けたまちづくりの基本構想策定 ・基本構想策定関連経費 (委託料) : 6,000千円 ○インバウンド向け観光動画の制作及び海外に向けたプロモーションの促進 動画制作・プロモーション経費 (委託料) : 10,000千円 	 	<p>【第1回げばちゃんこ鍋コンテストの様子】</p>  <p>【景観を活用したイベント・教室(ヨガ教室)】</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①道の駅かつらぎ売上額 (+12,345千円) ②観光インフォメーション利用者数 (+48人) ③相撲発祥の地の認知割合 (+25%) ④市内飲食店従業員新規雇用者数 (+5人) 	関連URL	https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/shokokankoka/index.html

事業概要【既存資産を活用した地域課題解決型企業誘致促進事業】

推進当初

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,700千円 (10,230千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・空洞化が進む中心市街地の活性化を図り、関係人口の増加を目指す。 ・就業しやすいテレワーク環境を提供し、地方で働く人材の確保を行うことにより、働きやすく住みやすい環境づくりによる市内での安定定住や移住の促進を図る。 ・様々な地域課題に対して、高原都市宇陀を持続的に発展させていくために、企業との連携を推進し、「地元産業の活性化」、「事業の誘致」、「雇用の創出」を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○企業誘致支援業務委託費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の仲介によるマッチングイベントへの出展や誘致活動支援を主体とする企業誘致を促進するための業務委託費 4,730千円 <p>○企業誘致事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験等支援金 500千円 市有物件等で事業展開の可能性を検証する実証実験費用 ・企業進出支援金 4,000千円 市有物件等への進出に際し、移転に係る費用等の一部を支援 <p>○サテライトオフィス進出支援金 1,000千円</p>		 <p>奈良サテライトオフィスうだ</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①廃校等の未利用公有資産及び民間の空き倉庫等への企業誘致件数 (+5件) ②サテライトオフィスのオフィススペースへの企業進出件数 (+5件) ③移住者数 (+502人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年12月公表予定</p>

事業概要【市有施設を活用した最先端デジタル教育によるまちの賑わいづくり】

推進当初

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を活用し最先端デジタル教育の場を提供をすることで、デジタル人材の育成や公共施設の利用を高める ・最先端デジタル教育を推進する企業の市内への進出に向けた支援をすることにより、中心市街地の活性化及び雇用の創出を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○最先端デジタル教育体験委託費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体のDXを推進する民間企業や民間デジタル教育施設で、本市への進出を検討している民間企業等と連携し、榛原総合センターを活用した最先端デジタル教育の体験委託費 10,000千円 実施主体：宇陀市（本市への進出を予定しているDXを推進する民間企業等に委託） <p>○進出企業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験等支援金 1,000千円(500千円×2件) 進出検討企業が、事業展開の可能性を検証する実証実験の旅費、光熱水費等の一部を支援 実施主体：実証実験を行うDXを推進する民間企業等（宇陀市は民間企業等に対して支援） 		 <p>デジタル教育の様子</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①榛原総合センター施設利用者数 (+9,500人) ②デジタル教育参加人数 (+4,000人) ③サテライトオフィスを活用し起業した事業所数 (+15件) 		関連URL (交付金の具体的用途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年12月公表予定

事業概要【みやけ発ローカルスタートアップ推進事業】

推進当初

申請者	奈良県三宅町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,500千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>三宅町が掲げる20年後のビジョン「自分らしくハッピーにスモール(住もうる)タウン」の実現に向けて、自由な発想で地域課題に立ち向かう挑戦者と共に三宅町発の新規ビジネスの創出に取り組み、関係人口の創出及びビジネスによる官民共創での地域課題解決を目指す。</p> <p>2024年度は約半年間の起業家育成講座、デジタル情報発信講座、シンポジウムを実施する。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>実施内容</p> <p>(1) 起業家育成講座の開催：起業の基礎的な知識の習得や、三宅町の地域課題等を実感するカリキュラムを通し、ビジネス実践に意欲的に取り組む者を発掘する。</p> <p>(2) シンポジウムの開催：三宅町の地域資源を生かしたビジネス創出のヒントを得る</p> <p>(3) デジタル情報発信によるビジネス創出：三宅町の魅力をデジタル情報発信の専門家等を通じて探求する。</p> <p>経費 委託費 11,000千円</p>	 <p>Miyake Local Startup</p> <p>日本で2番目に小さい町、奈良県三宅町が仕掛ける大挑戦</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①スタートアップ関連企画の参加者 (+100人)</p> <p>②本事業によって生まれた事業数 (+7件)</p> <p>③自治体・民間企業との連携 (+7件)</p> <p>④本事業によって解決した地域課題 (+3件)</p>	関連URL	https://spot.creww.me/com/miyake-local-startups-2023

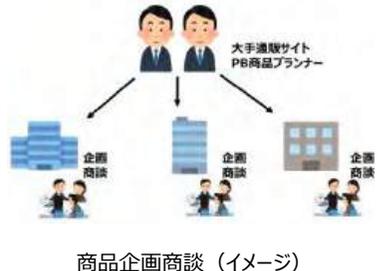
事業概要【村の未来を担う人材育成 関係人口・交流人口の拡大事業】

推進当初

申請者	奈良県下北山村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,134千円 (14,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>【地方創生人材の育成】 人材育成により村の未来を担う地方創生人材の育成により持続可能な村づくりを推進し、行政、民間事業者との関係性を構築し、新たな村のビジョンに向かって行動できる人材を育成することで今後の社会の変化にも迅速に対応できる仕組みづくりを行う。</p> <p>【観光振興】 交流人口に対するデータ分析や観光コンテンツの提供を通じて、ニーズを把握し村の魅力が伝わるプロモーション、ブランディングを行うことで観光分野での収益改善や村のファンの増加を目指す。</p> <p>【移住定住】 都市部の関係人口が積極的にかかわることができる課題解決型のプログラムを開発することで、関係人口のスキルを活かすことができ地域活性化に繋げる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○村内の人材、事業者等が参加する人材育成プログラムを実施 ・プログラム企画、運営費 (委託料) 6,700千円 ○関係人口創出に向けたイベントの実施 ・イベント企画、運営 (委託料) 2,000千円 ○民間事業者と連携したスポーツ振興イベントを実施することで交流人口の拡大を促進 ・イベント企画、運営 (委託料) 1,500千円 ○村内の観光資源を活用したアクティビティや体験コンテンツの開発およびガイド人材の育成 ・体験コンテンツ開発費 (委託料) 4,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者 (+12人) ②本事業における関係人口創出施設利用者数 (+90人) ③本事業の実施施設の利用者数 (+30人) 	関連URL	調整中

事業概要【和歌山産品デジタル販売力強化プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,354千円 (21,033千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模事業者や農林漁業者による、経営規模が小さいからこそ可能となる戦略的かつ機動的なECへの対応をDXを含めて促進し、産地の稼ぐ力の向上を図る 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○ マーケットインの視点から商品開発、バイヤーとのマッチングや中国向けの越境ECなど販売促進を支援 ・パーソナルギフト向け商品開発 (委託料) 6,650千円 ・商品企画商談 (使用料及び賃借料等) 1,100千円 ・海外でのPR促進 (委託料等) 1,437千円 ○ 農林水産品等の情報を集約したポータルサイトを運営し、全国に魅力を発信しバイヤー等とのマッチングを促進 ・ポータルサイト運営 (委託料) 6,996千円 ・課題別ワークショップ (委託料等) 4,850千円 		 <p>大手通販サイト PB商品プランナー</p> <p>企業商談</p> <p>商品企画商談 (イメージ)</p>  <p>ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」</p>  <p>中国向けライブコマース (越境EC販促支援)</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本県地場産業の年間製造品出荷額等 (+59億円) ②本事業を通じたEC販売等向け新商品の開発件数 (+30件) ③EC活用を開始或いは改良した事業者数 (+690者) ④本事業を通じてセミナー・商談等の年間参加者数 (+460者/年) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</p>

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	和歌山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	260,876千円 (47,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・水産資源の資源量等を管理しつつ魚介類及びジビエの消費拡大を促進することで、地域の「しごと」を確保・創出し地域経済を支えながら、自然変動等の影響を受けづらい経営体質への転換を促し所得の向上を図る		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本県主要魚種たちお（特に小型魚）の分布等を調査し、地域の漁業者や市町と連携し適切な資源管理を実施 ・資源評価・調査（たちお）（消耗品費等）4,255千円 ○ いせえびやあわび、魚類等の産卵や成育の場となる藻場の減少要因等をAIなどのデジタル技術を用いて調査分析し、地域ごとの環境や生態に応じた漁場整備を戦略的に推進 ・AIを活用した藻場分布調査（委託料等）16,467千円 ○ 漁業者の収益源の複合化に向け、地域の漁業者グループによる新たな漁業種類の追加や漁獲物を加工する取組を支援 ・不漁に強い漁業経営グループ創出（補助金）12,500千円 ○ 魚介類やジビエの学校給食での提供や、外食産業でのイベント開催など取扱を拡大する取組を実施 ・給食への食材提供・活用促進の実施（消耗品費等）10,076千円 ・外食産業等での魅力発信（委託料等）4,612千円 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p style="font-size: small;">本県主要魚種たちお 藻場の造成 ジビエを活かしたレシピ</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">個々の操業</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #f08080; padding: 2px 5px;">漁業者A</div> <div style="background-color: #f0e68c; padding: 2px 5px;">漁業者B</div> <div style="background-color: #90ee90; padding: 2px 5px;">漁業者C</div> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 5px;">+</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">新たに追加 グループでの取組</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">不漁に強い漁業経営グループ（イメージ）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">ジビエを活かしたレシピ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">くじらの竜田揚げ給食</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">学校での出前授業風景</p> </div> </div>		
KPI	①年間海面漁業生産額（養殖除く）（+9.0億円） ②新たに複合経営に取り組むグループ数（+10グループ） ③地産地消給食メニューの開発数（+15メニュー）		関連URL https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【和歌山の魅力資源を活用したインバウンド推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	244,696千円 (85,529千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域特有の資源を活用したコンテンツの創出・誘客の促進により、市内全体の周遊につなげ国内外からの誘客を図るとともに、県内の中でも「観光地として選ばれるまち」を目指し、多世代交流、滞在時間延長と消費を促す仕組みを構築し、交流人口と市内消費の増加を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>①自然・歴史・文化等の磨き上げによる集客の促進 ・漫画「サマータイムレンダ」の舞台になっているエリア周辺に関連する観光資源の活性化を行い、ロケツーリズムの促進を行う：35,274千円</p> <p>②大阪・関西万博を契機としたインバウンド等の回復 ・大型外国船の入港に合わせて、入港のセレモニーやイベント開催などおもてなしを行う。また、地元和歌山市の名産品の販売・観光案内・飲食ブースの出店とPRを行う。：1,698千円</p> <p>・近隣国で訪日外客数の実績からもっとも効果的にPRを行うことができる台湾や姉妹都市等へ向け、和歌山市産品や観光等のパンフレットの設置、ニーズに合った記事掲載や広告掲載、SNS情報発信などを行う。：13,785千円</p>	<p>サマータイムレンダ×和歌山市</p>  <p>クルーズ船の入港</p>  <p>友ヶ島</p>  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光入込客数 (+90,000人)</p> <p>②外国人宿泊者数 (+5,229人)</p> <p>③友ヶ島入島者数 (+10,360人)</p>	関連URL	調整中

事業概要【地域の魅力を活かしたサステナブルな移住定住促進プロジェクト】

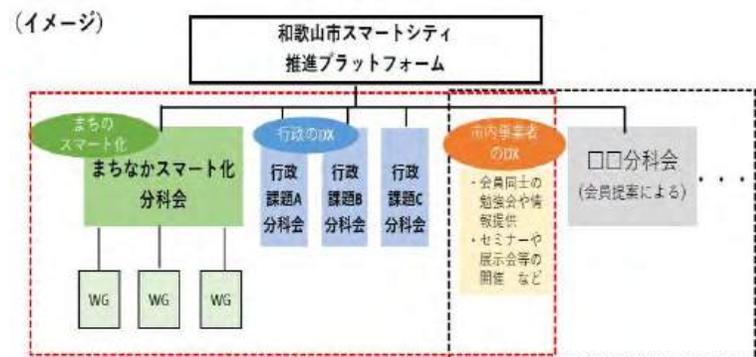
推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	182,162千円 (54,569千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	市内の人口減少に歯止めをかけるため、移住支援体制の強化や、安心して就労でき、暮らすことのできる環境の整備、また、本市の「海」や「和歌山城」といった重要な地域資源を今後も活かしていくことで、人の流れを生み出し、誰もが住みやすく、住み続けたい、働きたいと思える持続可能な地域づくりの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>大学進学を機に都市部に転出した人等をメインターゲットとし、市内・市外・オンライン等で女性を含む幅広い年齢層の方と企業間のマッチング強化を図る等、U I Jターンや定住を見据えた市内就職を促進する。また、本市の重要な資源の魅力をもっと磨き上げ、次世代の担い手である地域の学生等に対し、これらの資源に対する学習を深め、地域への愛着づくりに取り組む。観光地としてのコンテンツ開発やシビックプライドの醸成により、地元定着につなげる。</p> <p>①就職応援事業：9,638千円 ②和歌山城おもてなし共創事業：15,101千円 ③子ども海かいぎ事業：2,236千円 ④アプリを活用した紀伊路ウォーキングイベントの開催やPR動画による熊野古道の魅力向上事業：1,815千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数 (+30人) ②移住関連事業活用者数 (+15人) ③就職イベントの市外(県外)からの参加者数 (+200人)	関連URL	調整中

事業概要【スマートシティの推進による持続的な産業まちづくり】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,640千円 (55,109千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 本市におけるスマートシティ実現に向けた取組を推進し、本市が住みたい・働きたいまちとして選ばれ、持続的に成長できるまちを目指す。 地域課題や行政課題の解決に繋がる市内DX等を推進するとともに、第一段階としてまずは稼げるまちづくりを形成する。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市スマートシティ推進プラットフォームを活用し、デジタル技術を活用して解決することが適当と考えられる課題やニーズの明確化を行う。 経済団体や地域金融機関と連携し、展示会等の開催を通じ、市内事業者のDXを促進し、生産性向上を図るデジタルツールの導入等を支援する。 実証実験に係る経費：7,095千円 市内事業者デジタル化推進事業：5,142千円 生産性向上支援事業：20,460千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①製造品出荷額 (+450百万円) ②設備投資等に取り組んだ結果、売上が向上した企業数 (+30件) ③本事業を通じデジタル化に取り組んだ企業数 (+24件) ④新たに商談成立した企業数 (+6件) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	関連URL	調整中



事業概要【観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	79,480千円 (33,146千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野

目的（効果）

- ・森林を活用したコンテンツ造成及び人材育成により地域資源の保全と活用の両立を図る。
- ・主要産業である梅酒をテーマとしたコンテンツ造成により、観光振興及び産業振興を図る。
- ・世界遺産登録20周年という節目において記念事業を展開することで、メディア露出の増加を図り、認知度向上及び誘客につなげる。
- ・プロモーション動画の制作及び配信により、認知度向上及び誘客につなげる。

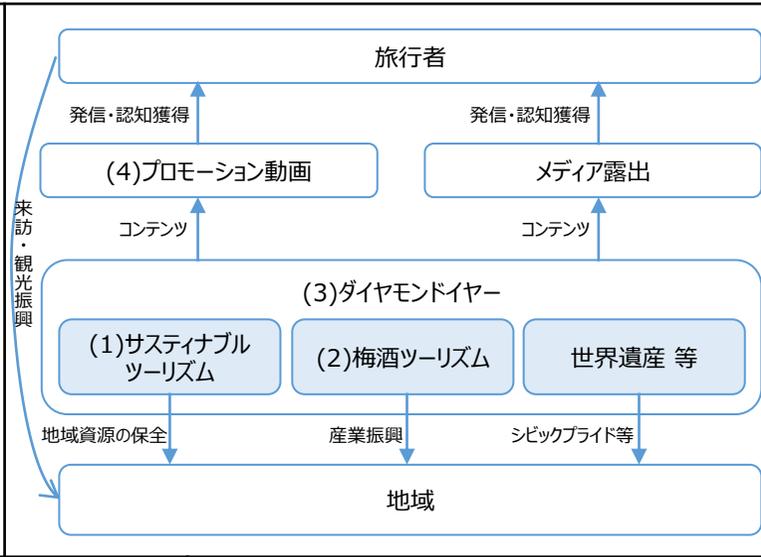
事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

- (1)サステナブルツーリズム推進事業 5,000千円（委託料）
 - ①森林体験コンテンツの開発及び販売（継続）
 - ②人材育成（継続）
- (2)梅酒ツーリズム推進事業 15,000千円（実行委員会負担金）
 - ①梅酒を味わう空間づくり（拡大）
 - ②梅酒を活用した周遊促進（継続）
 - ③梅酒を核とした情報発信（継続）
 - ④イベントの実施（拡大）
- (3)ダイヤモンドイヤーを活かした誘客促進事業 12,000千円（委託料等）

1年目の企画設計に基づき、記念事業等を展開する。
- (4)プロモーション動画制作配信事業 1,500千円（委託料）

テーマごとのプロモーション動画の制作・配信を行う。



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①観光入込客数（+2,100,000人）
- ②森林体験コンテンツの販売数（+50件）
- ③梅酒ツーリズム商品の販売数（+250件）
- ④耕作放棄地・植栽放棄地の活用（+13件）

関連URL

<https://www.tb-kumano.jp/umeshu-tourism/index/>

事業概要【「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業】

推進当初

申請者	鳥取県鳥取市、鳥取県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	371,339千円 (192,621千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	舞台芸術を核とした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出の取組による、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアの創出		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 舞台芸術を核とした交流の拠点づくり <ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備等 (補助金157,696千円) ・周辺環境整備 (委託料9,263千円) ● 舞台芸術を核とした人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・演劇塾運営事業 (委託料500千円) ・麒麟のまちアカデミー運営事業 (委託料800千円) ・その他関連5事業 (委託料8,375千円) ● 舞台芸術を核とした賑わいづくり <ul style="list-style-type: none"> ・演劇×マルシェ開催事業 (委託料2,000千円、補助金1,000千円) ・文化芸術観光創造事業 (委託料1,235千円、補助金2,313千円) ・その他関連5事業 (補助金9,439千円) 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①旧鹿野町への転入者数 (+16人) ②文化芸術鑑賞者数 (+48,031人) ③鳥の劇場来場者数 (+1,723人) 	関連URL	https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1705372139920/index.html (調整中)

申請者	鳥取県米子市ほか 4 自治体※	初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,834千円 (10,600千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	専門人材の育成とともに、輸出入へのハードルを下げる様々な取組の強化を図る。 台湾との経済交流のすそ野を拡大し、中小企業の経済活動の活性化を図る。 圏域内企業の生産性向上や商品・サービスの高付加価値化などによる“稼ぐ力”の強化を図る。 持続的な経済基盤を構築し、他の地域にない圏域の魅力を生み出し、発信する。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○支援組織の運営 ・会議の開催 (会場費、印刷費) 300千円 ○経済分野を中心とした専門人材の育成 ・セミナーの開催 (会場費、謝金) 300千円 ○台湾向け商品の提案・開発 ・支援業務 (委託費) 1,000千円 ○ビジネスマッチングの開催支援 ・B to B の商談会の開催 (委託費) 4,500千円 ○春節前建国花市及び台北温泉祭りでの圏域情報発信 ・物販、観光PR、文化イベントの開催 (委託費、旅費) 4,500千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①境港 (さかいこう) における台湾との貿易額 (貨物の通関額) (+75 百万円) ②商談会等におけるマッチング件数の割合 (+50%) ③商談会等における成約及び成約見込み数の割合 (+30%) ④台湾向け商品の作成・提案件数 (+20件)		関連URL 調整中	

※鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、出雲市、安来市の広域連携事業

事業概要【人を育て、まちを育てる、くらしよし倉吉プロジェクト】

推進当初

申請者	鳥取県倉吉市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	542,267千円 (116,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の社会減に歯止めをかけるため、報通信産業 (IT/DX関連) や、観光産業の振興を図る。 ・産業振興で得た交流人口をコンテンツやSNSを通じたコミュニケーションから関係人口の増加を図る。 ・事業を担う人材を市内で育成し、経済発展を基礎とした「活気あふれる元気なまち倉吉」を実現する。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○ 中核人材育成事業：市内企業リーダーおよび次世代の中核人材の発掘・育成を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値創造型人材育成プログラム(委託料) 43,000千円 <p>○ デジタル教育事業：中核人材へのデジタルマーケティング教育や専門的なデジタルスキル教育から雇用創出を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口マーケティング研修 (委託料) 4,000千円 ・専門ノウハウ取得と実践の場提供 (委託料) 5,000千円 <p>○ 倉吉の魅力発見事業：倉吉の魅力を再整理し、関係者の活用推進と情報発信の統一を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉らしさ発見勉強会 (委託料) 13,200千円 ・倉吉らしさ町中展開事業 (委託料) 10,000千円 	<pre> graph TD A1[中核人材育成事業 リーダー人材育成 次世代発掘] --> B1[事業推進 外部人材参画] A2[デジタル教育事業 デジタルスキル教育 実践場の提供] --> B2[デジタル関連雇用創出 (EC運営等)] A3[倉吉の魅力発見事業 倉吉の魅力整理 倉吉の魅力商品化] --> B3[地域商材開発] B1 --> C[関係人口増加 若者の就労機会増加] B2 --> C B3 --> C </pre>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①・・・若年層の人口増減率 (+1.00%) ②・・・育成した中核人材の数 (+300人) ③・・・デジタル教育事業を受講した人のうちデジタル関連の仕事を受けた人数 (+25人) 	関連URL	令和6年6月公表予定

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【WMG2027関西を契機とするグラウンド・ゴルフ海外普及によるインバウンド促進及び地域経済活性化推進事業】

推進当初

申請者	鳥取県湯梨浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,686千円 (12,407千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフが世界的に健康増進のための生涯スポーツとして普及することにより、インバウンドの拡大等による地域経済の活性化をもたらす、町民の誇りを醸成させ、人や資源がより輝く魅力的な「グラウンド・ゴルフの聖地」を創出する。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○海外協会等体制強化及びWMG等PR3,540千円 (特別旅費、消耗品費、通信運搬費、翻訳料) ○中古用具等提供2,253千円 (消耗品費、通信運搬費) 再生した用具を海外協会等に多く提供し、効率的に海外普及を促進する。 ○用具海外販売促進550千円 (通信運搬費) 町が送料を負担し、湯梨浜まちづくり(株)による海外用具販売を促進する。 ○用具製造事業者と連携した発祥地モデル用具開発 (製作) 6,064千円 (委託料) 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①外国人宿泊客数 (+8,671人) ②海外用具販売額 (+4,200千円) ③中古用具提供数 (+2,340本) ④国際グラウンド・ゴルフ連盟加盟国数 (+7か国) 	関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.yurihama.jp/soshiki/7/8207.html (効果検証) https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html

事業概要【若者を呼び込む多世代が充実安心して暮らせるまちづくり事業】

推進当初

申請者	鳥取県湯梨浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	185,070千円 (60,042千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	多世代交流の流れを全町に広げるとともに、首都圏からも人材を呼び込み若者の雇用の場の充実や、未利用資源や地域ニーズの掘り起こしによる経済循環と課題解決につなげる仕組みづくりを行い、若者の定住と首都圏等からの移住を促進して、安心して出産、子育てができ、その子どもがさらに定住する持続的地域社会の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家一括借上による活用促進事業10,000千円 (補助金) ○プロフェッショナル人材マッチング事業32,927千円 (委託料、旅費) 町内企業へ首都圏等プロフェッショナル人材の移住就業や副業をマッチングし、企業の付加価値創造力と雇用力の強化を図る。 ○ワーケーション推進による関係人口構築事業 896千円 (委託料、補助金) ○移住検討者へのお試し居住体験ガイド事業 1,324千円 (委託料、広告料) 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①活躍人口数 (+178人) ②県外からの移住者数 (+120人) ③新規就業・起業者数 (+75人) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html

事業概要【江府町「官民連携によるまち・ひと・しごと創出事業」】

推進当初

申請者	鳥取県江府町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	164,127千円 (46,720千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	少子高齢化による地域コミュニティの衰退・若者の流出と空家の増加・人材不足などの社会課題を、住民・行政・民間企業が連携して解決を図り、行政・民間企業との連携により、次世代につなぐ住み続けられる町づくり、自助・共助を強化した住民主体によるまちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1. 自律的集落経営事業と地域運営組織の設立事業 シティマネージャー 7,000千円 地域マネージャー 4,000千円 モデル集落情報発信 1,500千円 2. PPP/PFI手法による移住促進事業 移住定住官民連携マネージャー 4,000千円 PPP手法町営住宅整備計画策定事業 10,000千円 地域拠点リノベーションスクール 8,000千円 3. 稼ぐ力の強化とシティプロモーション推進事業 身の丈創業塾 2,000千円 新商品ブランド開発 2,000千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域運営組織設立数 (+2件) ②移住人数 (+7人) ③ふるさと納税の増加率 (+15%) ④起業件数 (+3件)		

事業概要【～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり】

推進当初

申請者	島根県出雲市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	281,671千円 (86,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊滞在・消費促進のため、観光施設情報を整備しGoogleで検索できるようにしたり、二次交通対策を行う。 ・繁閑差をなくすため、365日楽しめる体験コンテンツ等を造成する。 ・ロイヤルカスタマーの獲得や関係人口を増やすため、SNSにより出雲ファンにダイレクトにアプローチする。 ・持続可能な観光地経営を進めるため、マーケティングの強化や機運醸成に努める。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○周遊滞在・消費環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GBP整備、周遊観光タクシー造成、シェアサイクル導入など (委託料) 7,500千円 ・シェアサイクル用自転車購入3,500千円 <p>○戦略的コンテンツの充実、高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「365日楽しめる出雲」の創出など(委託料・負担金)26,100千円 <p>○個人とつながる情報発信等による出雲ファン獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用した情報発信など (委託料) 15,600千円 <p>○2025大阪・関西万博を見据えた国内外旅行者の誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なプロモーション、広告配信など (委託料) 17,400千円 <p>○観光地経営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMO組成、観光計画策定など (委託料) 15,900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 宿泊者数 (+117,434人) ② 外国人宿泊者数 (+18,419人) ③ 観光入込客延べ数 (+2,002,489人) ④ 観光消費額 (+11,135百万円) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1703062108454/index.html</p>

事業概要【産業維持・活性化デジタルプラットフォームの構築と活用等による地域産業の継業・創業促進事業】

推進当初

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	316,667千円 (100,000千円)	
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用して地域内外の人材・知識をつなぐ仕組みをつくと共に、外部の人材が島に訪れやすくする環境を整備する事で、事業経営・専門スキルの継承の促進を図る 地域内電子通貨を導入し、同時に地域の消費ニーズを可視化することで、域内消費の市場縮小の抑止を図る 			
事業概要・ 主な経費	<p>地域内消費を喚起するためのデジタルサービスとして地域電子通貨の導入・利用データの海士町版RESAS上での可視化、町内事業者のデジタル利活用環境構築を行い、またサービスの地域への普及促進活動を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域電子通貨サービス構築：24,200千円 <ul style="list-style-type: none"> 要件定義（ソリューション選定、機能、データ定義 等）、開発・テスト 町内事業者のデジタル利活用環境構築：21,450千円 <ul style="list-style-type: none"> 要件定義（ソリューション選定、機能、データ定義 等）、開発・テスト：11,550千円 海士町版RESASとの連携による地域電子通貨利用データの可視化：16,500千円 <ul style="list-style-type: none"> 要件定義（画面、データ定義 等）、開発・テスト システム運用保守：24,640千円 <ul style="list-style-type: none"> システム運用保守・継続改善作業、地域電子通貨ソリューション利用料、決済手数料、クラウド運用 普及促進活動：9,910千円 <ul style="list-style-type: none"> 個別サービスに関する住民・事業者などに向けた説明会実施、相談対応、サポート等 			
KPI	<ol style="list-style-type: none"> 町内事業所における継業・創業件数 (+12件) 町内事業所への働き手の増加数 (+27人) 町内事業所の事業開始前との年間売上対比における経年のポイント増加数の平均 (+6.0ポイント) 		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)調整中

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	205,944千円 (57,594千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光DXを活用した市場分析や顧客データのオープンデータ化を図る。 ・高付加価値なコンテンツ開発や磨き上げ、観光満足度の高いおもてなしによる潜在的な顧客の獲得を図る。 ・海外を含めた最適なターゲットに向けた効果的なプロモーションによる国内外からの誘客促進を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>観光DXによる好循環の加速化</p> <p>○観光DX基盤整備とデジタルマーケティングによる情報発信 ・ターゲット別の情報発信 (負担金) 8,816千円 ・インバウンド向けプロモーション (委託料) 7,400千円 ○付加価値の高いコンテンツ整備等による誘客促進 ・コンテンツ開発・販売経費 (負担金等) 14,846千円 ・旅行会社への商品売込み (負担金等) 4,572千円 ・教育旅行向け定番商品の開発・販売 (負担金) 5,840千円 ・インバウンド向けのコンテンツの充実 (委託料) 9,060千円 ・観光DXモデル化事業の実施経費 (負担金) 7,060千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+671億円) ②県内宿泊者数 (+284.47万人) ③造成コンテンツ数 (+69件) ④観光DXに取り組む市町村数 (+20市町村) 		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.okayama.jp/page/888521.html (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html	

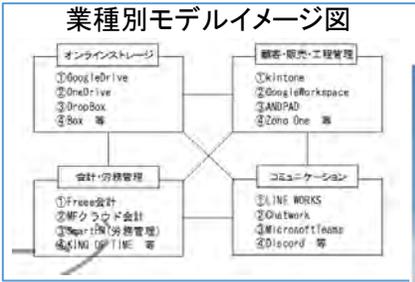
事業概要【きらり輝く！おokayama多様な人材活躍支援プロジェクト】

推進当初

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	223,210千円 (48,522千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内中小企業におけるタイプ3 インターンシップ対応への支援 ・留学生に対する県内企業の認知度向上と外国人材の適切な受入れと活躍の支援 ・子育て世代の女性の就職促進と離職中の女性の復職・再就職の支援 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○タイプ3 インターンシップによる県内企業マッチング支援 (委託料等) 31,089千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プッシュ型インターンシップ情報の提供 ・タイプ3 インターンシップ創出に向けたセミナーの開催 ・インターンシップ等マッチング支援イベントの開催 <p>○オンライン型企业見学ツアーの開催 (委託料) 6,360千円</p> <p>○外国人材県内活躍総合支援 (委託料等) 6,998千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向けセミナーの開催 ・留学生向けの企業研究イベント等の開催 <p>○女性の復職・再就職支援のセミナーの開催 (委託料等) 4,075千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 関東圏の大学からの県内出身者Uターン就職率 (+2.4%) ② 近畿圏の大学からの県内出身者Uターン就職率 (+2.4%) ③ 県が関与したタイプ3 インターンシップ導入企業数 (+120社) ④ 県内大学留学生の県内就職率 (+2.4%) 		<p>関連 URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>

事業概要【デジタル化による企業の「新たな価値づくり」支援事業】

推進当初

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	316,320千円 (102,046千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・デジタル化に向けた県内企業のさらなる意識の醸成や、取組の着実な推進により、県内企業の競争力強化、生産性の向上を図ることで、本県経済の維持・発展を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>①プッシュ型デジタル化支援体制構築事業 最適なデジタルサービスを組み合わせた業種別モデルを活用してデジタル化の取組に向けたアドバイスを実施するなど、デジタル化に向けた行動がわからない企業をプッシュ型で支援する。 ・デジタル技術導入支援 (補助金) 75,612千円 ・DX推進人材育成 (委託料) 13,670千円</p> <p>②デジタル活用スキルアップ支援事業 加工食品等の事業者に向けて、デジタル活用のスキルアップを図るとともに、リアル・オンライン双方による展示会、商談会への出展、商品プロモーションを支援 ・県産日本酒プロモーション (委託料) 9,876千円 ・県産日本酒プロモーション (使用料等) 2,888千円</p>	<p>業種別モデルイメージ図</p>  <p>①オンラインストレージ ①OneDrive ②OneDrive ③DropBox ④Box 等</p> <p>②顧客・販売・工程管理 ①Kintone ②GoogleWorkspace ③LANDPAD ④Zoho One 等</p> <p>③会計・労務管理 ①Freee会計 ②弊クラウド会計 ③Search(労務管理) ④KING OF LINE 等</p> <p>④コミュニケーション ①LINE WORKS ②Outwork ③Microsoft Teams ④Discord 等</p>	 <p>伝えたい 「米の想い」が あります ～岡山が醸す酒 おかやまテロワール～</p> <p>OKAYAMA TERROIR</p>
KPI	<p>①プッシュ型支援企業のうちデジタル技術を導入した事業者の数 (+2,600者)</p> <p>②岡山県の従業員1人当たり売上高 (+3,742千円)</p> <p>③デジタル活用スキルアップセミナー参加事業者数 (+60者)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/689486.html (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>

事業概要【デジタル技術を活用した健康習慣の定着化事業】

推進当初

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	264,938千円 (50,967千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>高齢化、生産年齢人口の減少が進む状況にあっても、「子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会」の実現に向け、行政だけでなく民間事業者など、様々な関係者と連携する。これにより、住み慣れた地域における日常生活の中で「健康」につながるサービスを無意識のうちに利用でき無理なく続けられる環境である「自然と健康になれるまち」の実現を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ポイント事業の推進主体（事務局）の維持、拡大及びプロモーション 委託料13,527千円、消耗品費51千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集のプロモーション ・ポイント付与、協賛品提供等で参画する事業者の募集 <p>○デジタル技術の活用 委託料 7,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリのアップデート、マイナポータルAPI連携の実装等 <p>○自走化のための生活習慣改善メニューの検討、開発 委託料 29,689千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者や庁内の政策と連携して、新たなサービスを創出 (例：本市の歩きたくなるまちづくり事業で整備した通り沿いの飲食店を巡るウォークラリーの実施) ・参画事業者への事業実施状況のフィードバック 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①医療費抑制効果額 (+413,000千円) ②健康習慣の定着率 (+13%) ③サービスを提供する店舗等の数 (+270箇所) ④アプリ相談会の総参加者数 (+720人) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000051897.html</p> <p>https://www.city.okayama.jp/shisei/0000055954.html</p>

事業概要【IT企業等誘致推進事業】

推進当初

申請者	岡山県玉野市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,193千円 (19,358千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の市外流出を抑制するため、市内就職の選択肢となるIT企業等の誘致を図る ・IT企業で即戦力として働ける人材の育成を図る ・移住希望者やIT企業等に対して、住環境を含めた市の魅力を効果的にPRし、移住施策の強化を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ワーケーションの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏のIT企業等へのプロモーション (委託料) 8,470千円 ・民間事業者によるワーケーションツアー実施に対する補助 (補助金) 3,000千円 ・ワークブースの設置 (敷地借上料) 24千円、(サービス利用料) 1,360千円 <p>○デジタル人材育成セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催 (委託料) 2,413千円 <p>○移住ポータルサイトを活用したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住プロモーション (委託料) 4,091千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①ワーケーションツアー参加企業数 (+24件) ②デジタル人材育成セミナー受講者数 (+50人) ③IJUコンシェルジュを通じて移住した組数 (+30組) ④ポータルサイトのページビュー数 (+63,600PV) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.city.tamano.lg.jp/shiki/1/40245.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>調整中</p>	

事業概要【若者の地元定着推進事業】

推進当初

申請者	岡山県玉野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,149千円 (13,033千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少問題について、若者の市内定着のための施策を推進し、子育て世帯の定住促進を図る ・地元企業の情報発信力を強化し、認知度の向上を図る ・デジタル技術を活用した省人化・効率化の推進により安定した経営基盤を確立することで、地元企業の魅力の向上を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○新たなキャリア教育システムの構築・運用 ・新聞、ポスター、動画作成等に係る経費 (消耗品費) 1,050千円 ・リーフレット作成費用 (印刷製本費) 150千円 ○電子版たまもの企業ガイドの更新 ・電子版作成に係る経費 (委託料) 143千円 ○地元企業の経営基盤を強化させるステップアップ支援 ・ステップアップ補助 (補助金) 5,690千円 ・副業人材活用推進事業委託料 (委託料) 6,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①市内高等学校卒業者のうち市内就職率 (+14.0%) ②本事業により構築した新たなキャリア教育の仕組みによる活動を実施した学校の割合 (+100.0%) ③本事業を通してステップアップに取り組んだ企業数 (+60社) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.tamano.lg.jp/shiki/1/40245.html (効果検証) 調整中

事業概要【伝統工芸美術品「備前☆」の継承・活用による地域振興事業】

推進当初

申請者	岡山県備前市、瀬戸内市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	567,334千円 (188,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外で、伝統工芸美術品の魅力発信や販路拡大を担う地域商社を設立する。 ・国内外で、伝統工芸美術品の巡回展やイベント出展及びテストマーケティングを行い、認知度向上と販売促進を図る。 ・新たな商品開発や、デジタル技術を活用して、海外への普及啓発や販売促進を図る。 ・生産者の支援を行い、後継者の確保や育成を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○地域商社設立運営支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商社設立に係る当年度の設立事務、情報発信・販路開拓・販売業務等、運営管理に係る経費 30,000千円 <p>○巡回展及び普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外PR・販路拡大事業に係る経費 (委託料) 90,000千円 ・レストランサンプリングに係る経費 (委託料) 10,000千円 <p>○国内PR事業・販路拡大に係る経費 (委託料) 5,500千円</p> <p>○デジタル技術等による普及・販売促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応のweb開設・維持管理に係る経費 (委託料) 5,000千円 ・デジタル技術等導入促進に係る経費 (委託料) 2,000千円 <p>○産学連携商品開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな商品開発に係る経費 (委託料) 5,500千円 <p>○伝統工芸美術品生産者支援事業 (ハード・ソフト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者養成事業に係る経費 (補助金) 12,000千円 ※ソフト事業 ・製作技術向上に係る経費 (補助金) 18,000千円 ※ソフト事業 ・備前焼窯改築にかかる経費 (補助金) 10,000千円 ※ハード事業 		<p>株式会社 プロモーション 販路拡大 (販売) 商品開発 ⇒収益化による自立</p> <p>産 学 生産者 市民 CLAIR等</p> <p>産 金</p> <p>出資・支援</p>
※経費内訳はR6年度事業費	<p>現地レストランサンプリング 一例</p>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①海外に向け伝統工芸美術品に魅力発信・販路拡大に意欲ある事業者数 (+50件) ②新会社による伝統工芸美術品の販売額 (+40,000千円) ③国内外イベントの参加者数 (+2,500人) ④新たに開発した商品数 (+3件) 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【持続可能な森づくりを目指す造林事業】

推進当初

申請者	岡山県新庄村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	59,400千円 (19,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	若い世代や移住・定住を希望する者が、村内で安定して働ける場を見つけることが困難な状況を改善するため、本村では「安定した雇用を創出して、安心して働けるようにする」ことを総合戦略の目標の1つに掲げ、基幹産業の1つである林業の価値向上を図ることで、村内で働ける場の創出を行い、人口減少への歯止めをかけることを目指している。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業経営に係るコンサルティング 村内の林業事業者における造林部門の経営について、コンサルティング企業による支援を委託 13,200千円 ■ 関係者間の調整 本事業に関わる村内関係者やコンサルティング企業との橋渡しを村内の事情に精通する社団法人に委託 6,600千円 ■ 作業人材の確保 地域おこし協力隊制度を活用し、本事業で立ち上げる造林部門において、作業員として従事する人材の確保 0千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①新規林業従事者数 (+4人) ②造林部門における売上額 (+36,000千円) ③作業面積 (+6ha) 		関連URL http://www.vill.shinjo.okayama.jp/index.php?id=140

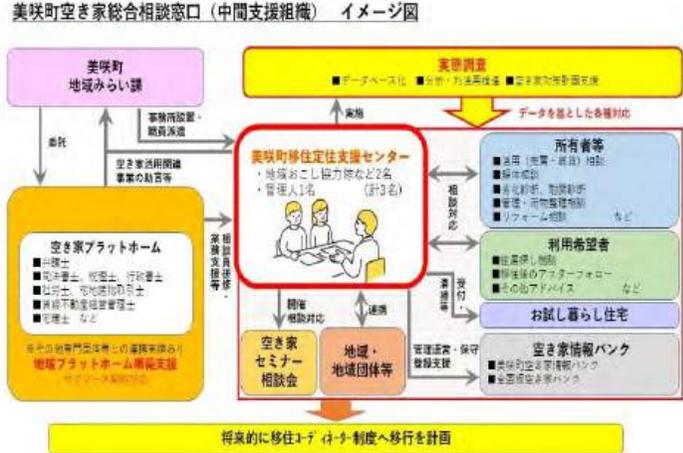
事業概要【健康の町「かがみの」アウトドアから広がる地域の賑わいプロジェクト】

推進当初

申請者	岡山県鏡野町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	177,230千円 (42,850千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<p>トレッキングやサイクリング、カヌー体験、サップ体験などのアウトドアアクティビティがアフターコロナにより、人気が高まり新たな需要が生まれてきているため、従来の観光施設等にも人の流れを波及させ、経済活性化を図る。「健康」をキーワードにした取り組みにより新たなエコツーリズムを生み、アクティビティや自然、文化体験等を複合的に楽しめるアドベンチャーツーリズムを通じて、オンリーワンの体験ができる独自の高い滞在型観光を推進する。</p>			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○観光地域づくり法人 (DMO) による観光推進体制を基軸とした観光推進に向けた体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体運営費の補助金 (負担金) 10,000千円 ・専門人材の配置 (負担金) 18,000千円 <p>○コンセプトに基づいた戦略的な情報発信・プロモーションの核となる観光総合システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光Webサイトの運営 (負担金) 8,580千円 <p>○アドベンチャーツーリズムの実現に向けた受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査、モニタプラン・ツアーの実施、特産品開発 (委託料) 6,270千円 			
KPI	<p>①アウトドアアクティビティ等自然体験受入人数 (+8,000人)</p> <p>②アウトドアアクティビティ等自然体験受入による経済効果 (+80,000千円)</p> <p>③かがみの里山健康クラブ会員 (+7,800人)</p> <p>④観光公式ホームページアクセス数 (+45,000件)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.town.kagamino.lg.jp/soshiki/2/1985.html</p>	
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>				

事業概要【美咲町移住・定住受入体制整備事業】

推進当初

申請者	岡山県美咲町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	31,967千円 (8,650千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・町内全域の空き家に関する情報のデータベース化によるデジタル化への推進を図る。 ・空き家問題全般の総合相談窓口となる中間支援組織の設立により、空き家に関する課題解決を図る。 ・住民向け、移住者向けの統合型デジタルツール開発により、情報発信力の強化と生活の利便性向上を図る。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談対応、所有者に対するアプローチ、専門業者、専門家と連携する中間支援組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織運営業務委託費 6,000千円 ○美咲町アプリ（子育て支援アプリ）による、定住者支援及び移住者向け情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリ運用業務委託費 2,650千円 		 <p>美咲町空き家総合相談窓口（中間支援組織）イメージ図</p> <p>この図は、美咲町の空き家問題に対する総合的な対応体制を示しています。中心には「美咲町移住定住支援センター」があり、そこでは「地域おこし協力隊」のメンバーと「管理員」が相談にあたります。このセンターは「美咲町 地域みらい課」と連携し、空き家に関する情報を収集・発信しています。また、「空き家プラットフォーム」を通じて、不動産業者や専門家と連携し、相談対応やセミナー開催を行っています。さらに、「お話し暮らし住宅」や「空き家情報バンク」を通じて、空き家の活用や売却を支援しています。最終的には「将来的に移住コネクト制度へ移行を計画」されています。</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 空き家等情報バンク成約件数 (+41件) ② 危険家屋措置件数 (+10件) ③ 単独・合同移住相談会開催数 (+34回) ④ 子育て支援アプリ登録（インストール）者数 (+1,800人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.misaki.okayama.jp/</p>

事業概要【広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	392,640千円 (124,214千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	仕事・暮らし、地域社会、行政の各分野でデジタル技術を積極的に活用し、ビジネスモデル、オペレーション、組織文化などの在り方に変革を起こすことによって、新たな価値を生み出し、県民の暮らしを豊かにするため、県内の民間事業者がDXを自分事としてとらえ、それぞれの目的の実現に向けて試行錯誤している状態を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○実践が容易な取組の横展開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援機関におけるデジタルリテラシーや支援スキルの習得に向けた研修の実施 (委託料) 20,000千円 ・支援機関とITベンダー等が連携した、民間事業者等のDX実践を支援する環境の構築 (委託料) 20,000千円 ・令和5年度に創出したモデル事例や取組事例集、簡易診断ツール等を効果的に活用したセミナーの実施など (委託料・使賃) 28,500千円 <p>○ビジネス変革を推進する中核的人材等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践支援プログラムの試行的実施 (委託料) 30,000千円 <p>○各産業分野における技術課題の解決に向けた共通技術基盤の構築及び共通技術基盤を支える人材育成25,714千円</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">支援機関とITベンダーが連携した支援環境</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">支援機関 (金融機関、商工会議所、商工会等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">デジタルリテラシー・支援スキルの強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">ビジネス変革を支援できる人材の育成</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">IT ベンダー</div> <div style="margin: 0 5px;">← 連携 →</div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ビジネス変革への挑戦を後押し</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p style="text-align: center; color: blue;">民間事業者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; background-color: yellow;">ビジネス変革を推進できる中核的人材の育成</div> </div> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①デジタル技術の活用を含めたビジネス変革に取り組んでいる民間事業者等の割合 (+20%)</p> <p>②デジタル技術の活用による事業者等の課題解決件数 (+106件)</p> <p>③DXの実践に向けた伴奏支援によるモデル事例の創出件数 (+340件)</p>		
関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://dx-hiroshima.jp/ (効果検証)</p> <p>https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html</p>		

事業概要【行政からはじめるデジタル実装！県内自治体の広域連携によるスタートアップ
「共同」調達推進事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,000千円 (60,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>○ 新たなビジネスにおける行政主導型支援環境を構築し、革新的なデジタル技術を持つ企業・人材と地方の中小企業の協業を行政主導で進め、生産性の高い魅力的な中小企業として雇用を創出している。</p> <p>○ 生活の中でデジタル技術に触れる機会を増やすことで、徐々に自らがイノベーションの主役だと考える意識醸成を図り、地域全体においてデジタル技術を取り込んでいく文化資本を形成することにより、DXを実現する。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○SU等が開発した、デジタル技術の活用により地域課題の解決を図る商品・サービスについて、市町等による共同調達を通じて、県内への実装と横展開を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に係る事務局委託費 (30,000千円) ・試験導入に係る実証委託費 (30,000千円) 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①デジタル技術の活用を含めたビジネス変革に取り組んでいる民間事業者等の割合 (+20%) ②県内市町や関係団体 (学校・病院等) のデジタル実装件数 (+20件) ③イノベーション実現企業率 (+6%) ④イノベーション活動実行企業率 (+6%) 	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業】

推進当初

申請者	広島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	59,490千円 (19,867千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	ウィズ/アフターコロナ時代において、将来にわたって安心して暮らしを営むことができる環境を維持していくため、暮らし全般にわたる全体最適を目指す「スマート里山・里海」の実現に向け、日常生活に直結する様々な分野において、デジタル技術を活用した新たな生活サービスを導入しようとする市町を支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○広域展開の推進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度までに実装が完了したモデルの他市町への横展開、共同課題の深掘りや解決に資するソリューションの構築等の委託14,412千円 ○サービス導入を目指す市町に対する技術的支援 ・ソリューション探索・開発の支援、モデル構築の支援等の委託3,517千円 ○全体調整等 ・実施計画の作成、定例会議等の委託1,938千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①複数の市町に展開したモデル的な取組件数 (+ 3件)</p> <p>②デジタル技術を活用した課題解決サービスの実装化件数 (+ 6件)</p> <p>③事業導入にむけて県による技術的な助言等の支援を新たに受ける市町数 (+ 14市町)</p>	関連URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/machi-hito-shigoto.html

事業概要【国内外から人を引き付ける広島ならではの魅力づくり】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,916千円 (24,190千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平和大通りを「平和のシンボルロード」にしていくとともに、広島歴史・文化やにぎわいあふれる広島の「今」を感じることができるよう、都心回遊の重要な拠点にしていくことを目指す ・平和大通りの魅力の向上を図る ・平和大通りの利活用の促進を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○平和大通りの利活用のための整備 ・Park-PFIを活用し、民間事業者が整備する区域について、民間事業者の公募から選定、協定の締結までに必要となる検討や資料作成等 (委託料) 11,990千円 ○平和大通りの持続的な利活用に向けた枠組みの検討・検証 ・社会実験を通じ、枠組みを検討・検証するためのワークショップの開催等に係る準備・運営等 (委託料) 12,200千円 		 <p>ワークショップ開催の様子</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①平和大通りを行き交う歩行者の数 (+33人) ②平和大通りで行われるイベントの実施回数 (+8回) ③広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺における歩行環境の満足度 (+2.4%) 		<p>関連URL</p> <p>(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html</p>

事業概要【地域コミュニティ活性化ビジョン推進事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	111,432千円 (45,313千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	令和4年2月に策定した「地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づく取組を推進することにより、住民同士が支え合い、安全・安心に暮らすことができる持続可能な地域コミュニティの実現を図る。		

【担い手の確保】

- 若年層を対象とした地域活動への参加意識を醸成するワークショップ及び地域コミュニティへの参加を考えるフォーラムの開催・開催経費(委託料) 2,200千円
- ICTの活用講座及び活用実務研修の開催・講師謝礼金(報償費) 633千円

【地域運営組織の設立に向けた機運醸成や支援策の検討】

- 地域コミュニティ活性化ビジョンの啓発用冊子等の作成
 - ・冊子及びチラシの印刷(消耗品費) 990千円
- 支援策等に関する意見交換を行う懇談会の開催
 - ・委員謝礼金(報償費) 384千円・ZoomProライセンス更新(使用料) 40千円

【地域運営組織の設立及び運営支援】

- 連携して取組を進める広島市社会福祉協議会(以下「市社協」という。)の体制強化
 - ・プロパー職員人件費(補助金) 19,050千円・備品整備(備品購入費) 1,560千円
- 専門家等の派遣
 - ・まちづくりに知見のあるコーディネーターの派遣(委託料) 8,000千円
 - ・税理士、社会保険労務士、地域運営組織の会長等の派遣(報償費) 3,600千円
- 市社協が実施する簡易経理機能等を備えたシステムの構築・運用支援
 - ・市社協によるシステム構築及び運用・保守の支援(補助金) 4,040千円
 - ・システムに係るライセンス料(使用料) 1,296千円

【地域コミュニティ活性化に向けた機運醸成】

- 地域コミュニティ活性化に関するワークショップの開催
 - ・ワークショップ開催経費(委託料) 2,800千円
 - ・地域団体向け説明会開催経費(食糧費) 720千円

事業概要・ 主な経費

※経費内訳はR6年度事業費



《 地域コミュニティ活性化に関するワークショップの様子 》



KPI	<p>①住んでいる地域のコミュニティ活動に参加した市民の割合 (+8.50%)</p> <p>②地域運営組織の設立数 (+72地区)</p>
-----	--

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

関連URL

(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業)
[デジタル田園都市国家構想交付金活用事業 - 広島市公式ホームページ | 国際平和文化都市 \(hiroshima.lg.jp\)](#)
 (効果検証)
[広島市実施計画\(2020-2024\)、第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略のPDCAサイクルの実施 - 広島市公式ホームページ | 国際平和文化都市 \(hiroshima.lg.jp\)](#)

事業概要【戸山地域・湯来地域活性化プランの推進に係る地元住民及び事業者による 自立的・持続的な取組への支援事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	13,625千円 (3,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本市の中山間地域である安佐南区戸山地域と佐伯区湯来地域において、自然や温泉、歴史、文化、伝統などの地域資源を活用し、住民主体の地域づくりの取組の促進や、これらと連携した公共施設の再整備などに取り組みすることで、両地域を一体的に捉えたエリアイメージを都市住民に鮮明に打ち出し、交流人口の拡大等によりこれまで以上にヒト・モノ・カネが循環する地域を実現し活性化していく。		
<p style="text-align: center;">事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>地元住民や事業者が、「戸山地域・湯来地域活性化プラン」に自立的・持続的に取り組めるよう、行政が先導して広報や研修、協議を進めながら、実証実験を行って実施体制構築や制度設計などの支援策を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の主体的な取組に対する支援策の試行 <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民や事業者が自ら活性化を推進していくための協議や研修の体制づくりのコーディネート (委託料) 2,400千円 ○ランドオペレーション・広報等の制度設計 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組結果や関係者の意向を踏まえ、事業スキームを確立 (委託料) 1,500千円 	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; margin: -5px -5px 5px -5px;">「戸山地域・湯来地域活性化プラン (令和4年3月策定)」の概要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>中山間地域に属するが広島市中心部からアクセスしやすく、また、地域が有した様々な魅力ある資源等をもとに地域の活性化に向けて活動している地域である戸山・湯来の両地域を一体として捉えたエリアイメージを打ち出し、地域や民間事業者、行政が一体となって取組を進めていくことにより、両地域の魅力向上及び都市住民との交流拡大等を図る。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">sugusoco 戸山・湯来</p> <p>エリアイメージ: すぐそこあり、気軽に楽しめるエリア 多様な魅力により、自分だけの過ごし方がすぐに実現できるエリア 共に地域の活性化に取り組みエリア</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center;">【①取組方針】3 + 1の「い空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 空 空間基本方針1 “温泉×スポーツ”の魅力づくり ～スポーツ至福の湯田舎で暮らしを謳ぐ～ 自 空間基本方針2 “自然・文化×体験”の魅力づくり ～春・夏・秋・冬 非日常を味わう～ 食 空間基本方針3 “食×こだわりの魅力づくり” ～食のおいしさを笑顔で楽しむ～ i 空間基本方針4 “魅力×情報発信” ～三つの「い」の魅力を発信し積極的に情報発信する～ </div> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center;">【②取組姿勢】備案反応</p> <p>地域が有する価値に誇りをもつ 地域の誇りを生かし、地域の魅力を伝えるには、地元住民が地域に愛着をもち、関心が必要不可欠である。</p> <p>各取組は、地元住民が興味・関心を持って参加する。地元住民が楽しんでいなければ、取組は続かず、地域の魅力は伝わりません。楽しみをもつことが大切。</p> <p>各取組に楽しんで取り組む 各取組は、地元住民が興味・関心を持って参加する。地元住民が楽しんでいなければ、取組は続かず、地域の魅力は伝わりません。楽しみをもつことが大切。</p> <p>ピンチをチャンスに転換させる 例えば、空き家や公共施設を有効活用することで、新たな魅力を創出する。取組が閉塞すれば課題も増えるが、よい取組をする機会と捉え、知恵を出し合って解決する。</p> <p>一歩の挽回になる 地元住民は、プレイヤーとして取組を進めるとだけでなく、各取組への参加・利用を通じて積極的に関与したり、取組に参加する人を歓迎したりする。</p> <p style="text-align: center;">価値・備案・反応を引き起こし地域を活性化</p> </div> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業によって増加した交流人口 (イベント等の参加者数) (+1,200人) ②本事業により実施したイベント等で地元住民・事業者が負担する自己資金額 (+1,200千円) ③本事業により実施したイベント等に携わったスタッフの人数 (+180人) 	<p style="text-align: center;">関連URL</p>	<p>(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html</p>

事業概要【アーバンスポーツの振興】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,512千円 (6,780千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本市は、アーバンスポーツが特に若い世代に人気が高い特性を生かし、国内外から多くの若者が集い、交流し、発信する、新たなにぎわいの創出につなげ、平和文化の一つとして根付かせ、将来的に広島がアーバンスポーツのメッカとなることを目指し、将来的に競技団体が自らの資金調達によりアーバンスポーツイベントを主催できるよう育成しつつ、段階的に支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>毎年広島で開催される定期的なイベントとしてのアーバンスポーツイベントの実施や普及啓発チラシ・ポスターを通じて、ルールやマナーの定着を図りつつ、アーバンスポーツ人口の拡大を促進するとともに、まちの活性化を図る。</p> <p>(1) スケートボードやパルクールといった各競技の上級者によるデモンストレーションやコンテストを盛り込んだアーバンスポーツイベントを実施する。(委託料) 6,000千円</p> <p>(2) アーバンスポーツのルールやマナーの啓発に資するチラシやポスターを作成し、イベントで配布、掲示するほか、競技者・愛好者との接点であるショップ等にて配架、掲示する。 (消耗品費) 110千円</p> <p>(3) 初心者を対象としたアーバンスポーツのルールやマナーを学ぶ体験会を実施する。(委託料) 670千円</p>	<p>2023年の取組</p> 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①アーバンスポーツイベントの集客者数 (+25,000人)</p> <p>②競技団体と本市及び周辺自治体との連携回数 (+34回)</p> <p>③コンソーシアムを組成する競技団体の主催事業回数 (+2回)</p>	関連URL	<p>(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証)</p> <p>https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html</p>

事業概要【『選ばれるまち竹原』ローカルブランディング事業】

推進当初

申請者	広島県竹原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,667千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>・地域DMOが中心となり全市的な統一したブランドイメージを構築し、竹原独自の魅力を創造することで「選ばれるまち竹原」となり、地域の「稼ぐ力」を引き出しながら持続可能なまちづくりを実現する。</p> <p>・ローカルブランディングの実現に向けて、協議体創出、発信素材収集、新規HP構築、ツール作成等により、連携する民間組織それぞれが相互自発的に地域の魅力を発信し共有し合える土壌を形成する。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○市内各団体等との連携によりブランドイメージを構築・共有しながら、ブランディング事業の核となる基本戦略を作成するとともに、各種情報発信によりブランドイメージの定着・強化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング戦略作成業務 (委託料) 1,000千円 ・ブランディングツール制作・イベント実施業務 (委託料) 12,000千円 ・情報一元化支援業務 (委託料) 500千円 ・ホームページ構築業務 (委託料) 500千円 ・歴史的建造物・町家活用業務 (委託料) 1,000千円 ・関係事業者との連携業務 (委託料) 1,000千円 ・DMO環境整備補助 (補助金) 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①ブランディング情報発信プラットフォーム年間pv数 (+50,000pv) ②ふるさと納税件数 (+1,000件) ③竹原市まちなか賑わい創業支援事業助成金交付要綱別表1に定める地域における空き家・空き店舗活用数 (+7件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.takehara.lg.jp/gyouseijoho/seisaku_keikaku/gyouzaisei/tihouseusei/index.html</p>

事業概要【市民のスポーツ実施率向上事業】

推進当初

申請者	広島県三原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,439千円 (6,110千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	スポーツ大会やスポーツイベントなどを開催し、子どもから大人までの幅広い世代に対してスポーツに関わるきっかけを提供することで、スポーツ実施率の向上に寄与し、本市がめざす「市民が健康で心豊かな生活を送り、スポーツを通じて地域や社会とのつながりを持ちながら暮らしていくことができるまち」に近づいていく。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○佐木島自転車レース開催 ・大会運営経費・ボランティア経費等 (補助金) 5,000千円 ○佐木島自転車レース広報 ・ステージイベント開催・街頭バナーの設置等 (委託料) 460千円 ・プロモーション動画の配信 (委託料) 500千円 ○スポーツのテーマパーク開催 ・イベント運営経費 (消耗品費) 150千円 	 <p>佐木島自転車レース</p>	 <p>スポーツのテーマパーク</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①生涯スポーツイベント (自転車活用事業@佐木島, スポーツのテーマパーク) への参加を通じて「これからも継続してスポーツに取り組みたい」と感じた参加者の割合 (+60.0%) ②1年間ほぼスポーツをしない市民の割合 (▲14.1%) 	関連URL	https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/6/sougouse-nryaku.html

申請者	広島県尾道市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,200千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者や関係人口に対するきめ細やかな対応を行う総合窓口として「移住コンシェルジュ」を設置する ・移住希望者等の地域における受け入れ団体や人材の配置・育成とネットワーク化を図る ・移住希望者等が地域や住民、団体、企業等と円滑に接触・交流が図れるような機会作りに取り組む 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○本市への移住希望者や関係人口等の総合窓口となる「移住コンシェルジュ」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の運営 (相談対応・情報発信・交流イベントの開催) (委託料) 5,500千円 ○空き家バンクの実施や、創業・出店等に係る支援による移住相談ネットワークの強化 ※市単独財源で実施 ・空き家バンク運営経費 (委託料) ・創業や出店等に係る経費支援 (補助金) ・受け皿人材の育成に係るセミナーの開催費 (報償費・旅費) 	 <p>窓口紹介リーフレット</p>	 <p>移住体験ツアー</p>  <p>移住者交流イベント</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①移住相談者のUIターン数 (+36人) ②移住相談窓口の利用者数 (+150人) ③移住・定住の促進、関係人口の拡大に取り組む協力団体数 (+30団体) 	関連URL	調整中

事業概要【世界バラ会議福山大会を契機としたばらのまちづくりプロジェクト】

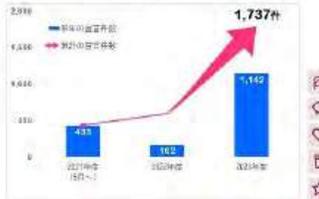
推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	194,632千円 (92,535千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体の参画によるばらの価値の磨き上げ及び新たな価値の創出を図る ・「Rose Expo FUKUYAMA 2025」などにおける情報発信により、「ばらのまち」「観光都市」としての認知度向上を図る ・案内標示の多言語化や受入ノウハウの構築・共有等により、国際MICE・インバウンドの受入体制整備を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○国内外に向けた「ばらのまち福山」のブランディング広報（プレ事業の開催による機運醸成ほか）（負担金）37,002千円</p> <p>○応援宣言による多様な主体の参加促進（負担金）351千円</p> <p>○Rose Expo FUKUYAMA 2025の実施準備（負担金）15,475千円</p> <p>○市民参加によるばらの環境整備（需用費）1,809千円</p> <p>○首都圏等へのセールスによる誘致活動の促進（報償費）893千円</p> <p>○観光パンフレットの多言語化、首都圏のIME参加（負担金）3,400千円</p> <p>○MICE受入に係る市民参加セミナーの開催ほか（負担金）437千円</p> <p>○多言語対応のデジタルマップの機能拡充（負担金）3,423千円</p> <p>○飲食店・文化施設・観光施設の多言語化表記によるインバウンド受入環境整備（補助金）5,544千円</p> <p>○世界バラ会議及びRose Expoの機会を捉えたおもてなしの充実及び市街地の面的景観装飾による観光誘客の促進（負担金）20,884千円</p> <p>○世界バラ会議の効果検証及びMICE誘致ケーススタディ（負担金）3,317千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①総観光客数 (+3,070千人)</p> <p>②世界バラ会議福山大会応援宣言の数 (+350件)</p> <p>③首都圏における「ばらのまち福山」の認知度 (+8.8%)</p>		
		関連URL	世界バラ会議福山大会2025HP https://wrc2025fukuyama.jp/



Rose Expo 1年前イベント開催を通じた機運醸成
応援宣言

●宣言件数 **1,700** 件突破



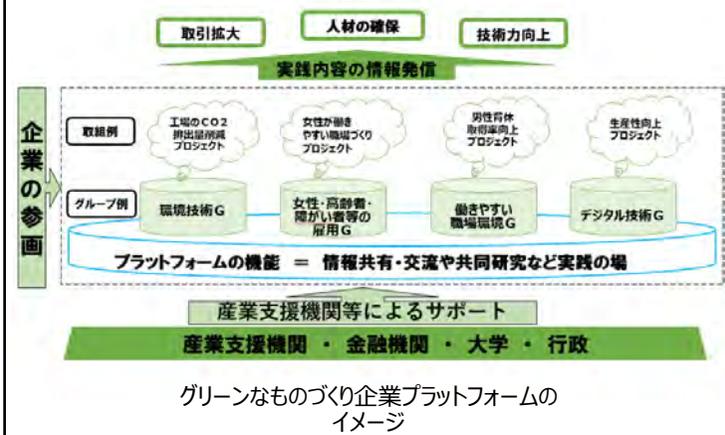
- 1 ばら教育でまちづくり
- 2 大会ロケを支援するなど、大会のPR促進に協力する関係
- 3 ばらのまちや、ばら園を会場とした観光誘客などの、おもてなしの取組
- 4 会場から、資料、おみやげなどを使用した会員誌やメニュー一歩提供する取組
- 5 その他、大会の機運醸成につながる取組

世界バラ会議応援宣言による多様な主体の参加促進

事業概要【若者・女性に選ばれる都市づくり】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	173,072千円 (65,770千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい地元企業の認知度向上を図る ・女性が活躍しやすい環境づくりをはじめ、誰もがチャレンジできる環境整備を図る ・福山駅周辺を中心としたにぎわいの創出や最新のテクノロジーに触れる機会の提供により、都市の魅力向上を図る 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○採用活動のデジタル化の加速・若年者雇用対策 ・採用活動のデジタル化に係る補助 (補助金等) 10,000千円 ほか ○女性が活躍しやすい環境づくり ・農業体験等の女性就農の支援 (報償費等) 195千円 ・審議会等参加における託児支援 (報償費) 676千円 ○誰もがチャレンジできる環境の整備 ・市内企業への高度専門人材活用普及・促進 (委託料等) 6,251千円 ○福山駅周辺を中心とした都市の魅力向上 ・賑わい創出につながる商店街の自立的な取組や民間事業者と商店街が協働した取組に対する補助 (補助金) 11,600千円 ほか ○魅力ある楽しい子育て環境の整備 ・最新テクノロジーに触れるイベントの開催 (委託料) 8,500千円 ○高度専門人材による効果的な事業構築 ・デジタル化などの重点施策の効果的な実施 (報償費等) 6,939千円 ○魅力ある企業の発信 ・グリーンなものづくり企業プラットフォームの運営 (委託料) 4,500千円 ・グリーンな取組に対する支援 (補助金・報償費等) 8,621千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①20歳～24歳の男女転出入数 (+391人) ②市内大学卒業生の地元就職率 (+5.9%) ③市内高校生の地元就職率 (+13.2%) ④ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者数 (+20事業者) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンなものづくり企業プラットフォーム https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/sangyou/315313.html



事業概要【ふくやまSDGs推進プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県福山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	78,836千円 (31,708千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決や商品開発に向けた多様な主体のマッチングプラットフォームを通じて、循環型経済の推進を図る ・環境にやさしいライフスタイルの定着及び持続可能で住みよい暮らしを支える製品・サービスの需要喚起を図る ・豊かな里山里地里海の保全による温室効果ガス吸収源の確保を図る ・デジタル技術の活用や経営力のある担い手の誘致により、農林水産業の生産性や魅力を高め、農林水産業の担い手確保を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○省エネ・再エネの普及促進・循環型経済活動への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラットフォームの運用、モデルケース創出、参加企業への伴走支援 (委託料) 9,900千円 ・先端技術等を活用したSDGsに資する課題解決に向けた実証実験の支援 (補助金) 4,000千円 ・企業の省エネルギー化に向けた省エネ診断の支援 (補助金) 525千円 ・SDGsの好事例の発信による機運醸成のためのイベント等の開催 (委託料) 6,500千円 <p>○温室効果ガスの吸収源の確保に向けた仕組みづくり・人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と都市住民等との協働での里山里地の再生・保全活動の支援 (需用費・補助金・交付金等) 2,423千円 ・農業法人の探索、参入候補地域の選定に係る支援 (委託料) 8,360千円 		
※経費内訳はR6年度事業費	<p>SDGsデジタルプラットフォーム</p> <p>市内の企業・団体・大学など</p> <p>登録・マッチング</p> <p>課題 (地域・企業・行政) × リソース (地域・企業・行政)</p> <p>検索・発信</p> <p>プロジェクト × イベント (セミナーなど) × 取組事例 (地域・企業・行政)</p> <p>つながる</p> <p>行動する・知る・学ぶ</p> <p>プロジェクト</p> <p>市内で集められた「ばら」の野菜 × 資料メーカーのタンブラー製造技術 × デザイナーによる付加価値の向上 × 初産でも使える大判タンブラー</p> <p>福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラットフォームイメージ</p> <p>市民、市外の企業・団体など</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 交付金事業を通じて生まれたプロジェクト数 (+32件) ② (仮称) 福山版サーキュラーエコノミープラットフォームのアクセス件数 (延べ) (+32,000件) ③ 農業参入法人による雇用者数 (+60人) 		<p>関連 URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福山市SDGs未来都市 https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kikaku/297615.html

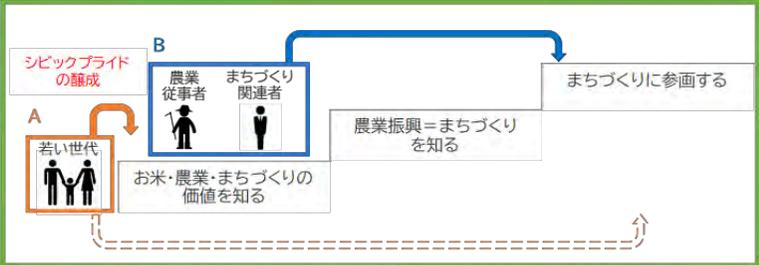
事業概要【「小屋浦地区」活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県坂町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,900千円 (28,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な人口対策による小屋浦地区の人口増加 ・小屋浦地区における関係人口・交流人口の増加 ・小屋浦地区の賑わい創出 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○小屋浦地区活性化基本構想等策定業務委託 28,600千円</p> <p>(1) 事業対象地の現状把握 事業対象地のインフラ状況や都市計画法、建築基準法等の法的条件や周辺環境など想定される課題を抽出し、整理を行う。</p> <p>(2) 事業対象地を活用した配置計画等の作成 事業対象地における機能誘致施設の配置計画等を作成する。</p> <p>(3) 事業者誘致に向けた手法、プロセスなどの整理 誘致活動に効果的な誘致方法の提案、スケジュールなどの整理を行う。</p> <p>(4) 事業者誘致コーディネーターの配置 関心のある企業の相談を受けるとともに、面談等を実施する。</p> <p>(5) 事業者誘致支援 事業者等から事業対象地における機能誘致の提案募集に係る支援を行う。</p> <p>(6) 機能誘致提案募集 事業対象地における機能誘致の提案を事業者等から募集する。</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①小屋浦地区の社会増減数 (+80人) ②SNS登録者数 (フォロワー数) (+830人) ③移住・定住相談件数 (+80件) ④小屋浦地区の15歳未満の人口総数 (+38人) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.saka.lg.jp/

事業概要【農業振興によるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	広島県北広島町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民と将来ビジョンを共有することで協働のまちづくりの促進を図る ・「米どころ北広島町」のブランディングにより農業者の所得向上、農業経営の安定化を図る ・コンソーシアムの活動を活性化させることで新たなビジネスを創造し地域産業の活性化を図る ・多様な情報発信ツールを活用してまちの魅力を発信することで関係・交流人口の拡大を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>①「農業振興によるまちづくり」の将来ビジョン達成状況・効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来ビジョン策定委員会での効果検証 <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興によるまちづくりに関するアドバイザー招聘 600千円 ・効果検証・分析・報告 1,000千円 <p>②コンソーシアムの構築と自立に向けた活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンソーシアムの自立に向けた収益事業の拡大について学習会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムの収益事業拡大に関する専門人材招聘 600千円 ○マーケティング等の専門人材の活用による「米どころ北広島町」のブランディングの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング等の専門人材招聘 900千円 ・「米どころ北広島町」のイメージ動画や、PR冊子の作成 3,000千円 ○インフルエンサーを招聘し、SNSによる情報発信講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信の専門家の招聘費用 1,000千円 ○農業を「する」「楽しむ」「学ぶ」といった要素を活用した都市住民との交流機会の創出による関係・交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・農業を活用した交流促進の専門人材招聘費用 900千円 ・農業を「する」だけでなく、「楽しむ」「学ぶ」といった要素を取り入れたツーリズムの開発 ブレイバント開催経費 1,000千円 ○「米どころ北広島町」ブランディング事業の効果検証・分析・報告等 1,000千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数 (+5件) ②全日本お米グランプリin北広島町への応募点数 (+200点) ③農業の担い手確保 (新規就農者) の人数 (+6人) 	<p>将来ビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アンケートやイベントを通じて、町民により決定 ■町民が目指しやすいKPI ■町民を巻き込み、町民により継続される事業に。 ■長期総合計画、総合戦略などをベースに、町民が読みやすく、わかりやすい資料に。 	
		関連URL	https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/7133.html

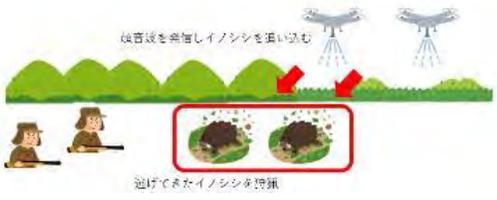
事業概要【目的観光地としての食（白米） 魅力発信事業】

推進当初

申請者	広島県北広島町	初回採択回	令和5年度第2回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,000千円 (8,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・北広島町へ新しい人の流れを作り、関係人口増を図る ・特定ターゲットに対してSNSでリーチしていく ・SNSによる本町の魅力情報発信を図る 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 統一感のある世界観構築のためのSNSによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○北広島白米観光誘客推進協議会での調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー招聘 500千円 ・効果検証・分析・報告 1,000千円 ○SNSの活用講座・情報発信教育 1,500千円 ○汎用的コンテンツを利用した情報共有とSNS拡散の実施 2,000千円 ■ 広報に対して戦略的に有意義なイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ○戦略的イベント事業の調査研究・分析・報告 1,050千円 ○「白米を食べにくる」ことを目的としたイベントのへ変換・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・専門人材招聘 900千円 ・ツーリズムの開発イベント開催 1,050千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数 (+4,337PV) ②北広島町SNSのフォロワー数 (+6,665人) ③SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数 (+273人) ④SNS発信講習会に参加した延べ住民人数 (+90人) 		関連URL	https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/7133.html

事業概要【ドローンが飛び交うまち 官民協働神石高原町プロジェクト】

推進当初

申請者	広島県神石高原町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを活用した有害鳥獣対策による地域の魅力向上 ・ドローンを活用した買物対策による日常生活の利便性の確保と地域内循環の促進 ・次世代の担い手育成 ・ドローンを活用している地元の担い手が関係団体と連携して活躍する場の創出 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○ドローンによる生息域の特定など、効果的な有害鳥獣対策の実施 ・事業構想・計画策定・実証委託料 5,000千円 ○大型ドローンによる物流の導入検証 2,000円 ○次世代育成のための小中学生向けドローン見学会等の実施 ・実施委託料 1,000千円 ○全体経費 2,000千円	 <p>有害鳥獣対策実施イメージ図</p>  <p>次世代育成事業</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①有害鳥獣捕獲数の増加件数 (+600匹) ②実証した飛行時間、距離、搬送重量をベンチマークとして、住民が利用を想定した意向調査の回答件数 (+220件) ③見学会・体験会の参加人数 (+350人) ④レベル4飛行対応のための運用体制構築ナレッジの蓄積 (+17件)	関連URL	調整中

申請者	山口県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	405,052千円 (136,081千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>○継続的にスタートアップが「生まれ」「育つ」ことを目指し、幼児から大学生までが発達段階に応じたスタートアップに必要な資質能力の育成とICTを活用した取組を展開し、一貫して新たな価値を創造できる人材育成に取り組む。</p> <p>○大学や官民連携によるスタートアップが育ちやすい環境を整えることにより、地域・企業・学校が一体となった新たな価値が創造できる活力あふれるまちづくりを推進する。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○幼少期・学齢期における起業家精神の養成に向けた人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり体験イベント・研修会の開催8,000千円 ・東大先端研と連携した学びの場の提供 4,884千円 等 <p>○高校期における起業家精神にあふれる人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決力等を育むアクションプログラムの実施5,800千円 ・高校生データサイエンティスト講座の開催7,391千円 等 <p>○大学等における起業家精神の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家精神育成のためのWGの設置及びAD配置13,690千円 ・デジタルに対応した起業家育成教育の支援5,617千円 等 <p>○起業家精神の育成に向けた実践的支援・体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校における起業家教育の支援15,475千円 ・スタートアップを支援する企画・実践プログラムの実施4,447千円等 <p>○起業家精神の育成に向けた実践的支援・体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップコミュニティ形成の促進5,921千円 ・アクセラレーションプログラムの実施24,412千円 		
	 <p>子ども・若者の発達段階に応じた取組の展開</p> <p>発達の段階に応じた取組</p>  <p>起業家人材の育成</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①スタートアップ起業数 (+7社)</p> <p>②ピッチコンテスト参加者数 (+15人)</p> <p>③大学等が実施するPBL取組件数 (+15件)</p> <p>④学校・地域・企業等が連携した協働的な学習活動を計画的・組織的に実施している学校の割合 (公立学校) (+60%)</p>		
	関連URL	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/	

申請者	山口県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	443,700千円 (161,150千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産分野における脱炭素化対策を図る ・生産面では、地域未利用資源等を活用した生産技術開発、輸入飼料から脱却するための自給飼料の増産、CO2吸収源となる森林や藻場の活用促進を図る ・販売面では、環境に配慮した方法で生産された農産物の販売拡大、輸送方法の確立、木材の利用促進を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素化に向けた生産対策 ・地域未利用資源等を活用した脱炭素化生産技術の開発・実証 53,531千円 ・輸入飼料からの脱却を目指す畜産自給飼料の増産・利用促進 46,692千円 ・森林資源の持続的な循環利用に向けた再造林対策13,406千円 ・地域未利用資源を活用した養殖産業の創出及び水産物の安定生産体制の構築 27,996千円 ○脱炭素化に向けた販売対策 ・グリーン農産物の認知度向上と販路拡大 4,000千円 ・新たな流通システムを活用した販路拡大 4,000千円 ・県産木材の需要開拓と供給体制の再構築 11,525千円 	  畜産自給飼料の増産・利用促進 コンテナ苗を活用した再造林対策	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産分野における脱炭素化の新規取組面積 (+400ha) ②農林水産分野における脱炭素化の新規取組件数 (+100件) ③農林水産分野における脱炭素化に向けた実証件数 (+10件) 	  藻場保全を通じた水産物の安定生産 県産木材の活用促進	関連URL https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/

申請者	山口県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	344,077千円 (125,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	以下により、山口県内での交流を活発化させる。 ・地域一体となったグルメ開発を実施し、山口県に観光客を呼び込めるグルメコンテンツを造成 ・来訪者のニーズに合致した魅力的な店舗の創出やイベント等により、観光地域や商業エリアの交流人口を増加 ・デジタル技術を活用した新モビリティサービスの導入により、地域交通を活性化		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○地域一体となったご当地グルメの開発 ・ご当地グルメの改善 (委託料) 3,280千円 ・プロモーション (委託料) 15,620千円 ・民間専門家の事業運営費 (委託料) 1,100千円 ○商業エリアが実施する来訪者ニーズに合致した新たなにぎわい創出にかかる取組への支援 ・データマーケティング、ブランディング等の取組への補助 (補助金) 80,000千円 ○持続可能な交通システム実現加速化事業 ・専門家の配置、セミナー開催等(委託料) 20,000千円 ・市町が行う実証実験支援 (補助金) 5,400千円	グルメ開発メニュー(一例) チキンステーキ 	長州海鮮まぶし  うにしゃぶ 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①開発したご当地グルメに係る売上額 (+ 300,000千円) ②商業エリアにおける人流増加率 (+30%) ③新モビリティサービス導入件数 (+6件)	関連URL	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/

申請者	山口県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	206,633千円 (68,917千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	新たにメタバースを活用した企業プロモーションを推進するとともに、デジタル分野等における中小企業のリスキングについて取組モデルを構築することで、新たなビジネスモデルへの取組支援と人材確保支援の両面から一体的なサポートを行い、中小企業の成長支援を図る。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>(1) メタバースを活用した企業プロモーションの推進と販路拡大等による「稼ぐ力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メタバース空間での企業参加型の展示・紹介イベントの開催 29,000千円 ● 中小企業の「稼ぐ力」に資するデジタルツールの導入促進 24,016千円 <p>(2) デジタル分野等のリスキングの取組モデルを構築し、中小企業における人材育成を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の生産性向上と産業人材育成の一体的支援を実施している「生産性向上・人材創造拠点」のノウハウを活かしたリスキング支援を実施し、中小企業における取組モデルを構築 15,030千円 <p>(3) 県内中小企業への事業成果の横展開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県内中小企業への横展開を推進 871千円 		<p>The diagram illustrates the flow from digital technology to productivity improvement. At the top is a box labeled '中小企業の生産性向上' (Improvement of SME Productivity). Below it, a blue arrow points to a box: 'デジタル技術等に精通した人材やデジタル技術を活用したイノベーションの創出を推進' (Promote the creation of innovation utilizing digital technology and personnel proficient in digital technology). Another blue arrow points down to a grey box containing two sub-boxes: 'メタバースを活用した企業プロモーションの推進' (Promote promotion of companies utilizing metaverse) and 'デジタル分野等のリスキングの取組モデル構築' (Build a business model for reskilling in digital fields). A final blue arrow points down to a white box: 'デジタルツールの導入促進による「稼ぐ力」の向上' (Improvement of 'earnings power' through promotion of digital tool adoption).</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①事業を通じた専門人材の育成数 (+100人)</p> <p>②メタバース空間でのイベント参加企業数 (+150社)</p> <p>③生産性向上・人材創造拠点のコーディネートによるリスキング支援企業数 (+60社)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/</p>

事業概要【ホテル誘致を起爆剤とした官民協働でのエリア再生】

推進当初

申請者	山口県下関市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	224,000千円 (95,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・市民にとっては「誇りに思えるまち」、観光客にとっては「一度は行ってみたい／住んでみたい憧れのまち」というイメージを確立し、常に市民が誇りに思える場所、観光客が一度は行ってみたいと思える場所」とすることによって、下関自体のイメージの向上を図る。</p> <p>・関門海峡を最大限に活かした「日本を代表するウォーターフロントシティ」を実現するという方向性を掲げた上で、目指すコンセプトを「海峡を遊びこなす、朝から夜までめぐって楽しい、現代日本の港まち」の実現。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>①あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン推進事業 (87,500千円)</p> <p>1. 推進体制の構築 17,000千円 (全体企画提案・各種調整・スケジュール管理、デザイン会議・推進会議の運営等)</p> <p>2. 民間プレイヤーの発掘・育成 25,000千円 (公共空間を活用する民間プレイヤーを発掘するための利活用促進策の検討等)</p> <p>3. ハード・デザイン監修 27,500千円 (エリア全体のランドスケープや照明計画の策定、計画に基づき検討される各事業の監修・レビュー、可動式什器 (モバイルファニチャー) の検討等)</p> <p>4. 既存施設の魅力化 18,000千円 (エリア内既存施設の状況把握・魅力化提案、水上アクティビティの実現可能性の検証等)</p> <p>②リノベーションまちづくり推進事業 (8,000千円)</p> <p>(全体のアドバイス、実践ワークショップ開催支援業務、まちづくりプレイヤーフォローアップ業務、リノベーションまちづくり関連業務等)</p>		
KPI	<p>①海峡エリアを訪れた人の数 (休日) (+21,000人)</p> <p>②交付対象事業を通じ、新たに事業化された事業の数 (+80件)</p> <p>③事業件数に占める民間が事業主体となった事業の割合 (+60%)</p> <p>④ワークショップ、社会実験等への参加者数 (+6,800人)</p>		
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

事業概要【穏やかで優しい、豊かな風土を活かした、「癒やしの小旅行」を可能にするまちづくりプロジェクト（豊浦地域【川棚温泉エリア】再生事業）】

推進当初

申請者	山口県下関市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	124,302千円（78,700千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	「穏やかで優しい、豊かな風土を活かした、『癒やしの小旅行』を可能にするまちづくり」を目指し、川棚温泉エリアを中心に地域の特色や資源、多様な人材の創造力を活用した様々な事業を展開し、まちなかの景観や雰囲気、サービスなどあらゆる面で洗練性・独自性・回遊性を向上させることで周遊型・滞在型観光地への転換を図り、その波及効果を豊浦地域全体にもたらすことにより、地域を活性化させ、まちの賑わいを創出する。		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○統一感のある職等の共同購入に要する経費の補助及び植栽に必要な知識・技術を習得し、植栽の増加を促進する緑化体験ワークショップの開催 ・職等購入（補助金）500千円 ・植栽ワークショップ開催（委託料）330千円 ○川棚温泉エリアの交流人口の拡大に資するイベント開催に要する経費の補助 ・イベント開催（補助金）8,250千円 ○「情報発信のデジタル化・リアルタイム化と地域内シェア」を可能にし、豊浦地域の観光や暮らしに関する様々な情報・魅力を発信するポータルサイトの制作（2年目） ・空き物件情報等発信、各種機能の充実（委託料）4,400千円 ○豊浦地域の魅力をPRするVR映像の制作及び体感コーナーの設置 ・VR映像制作等（委託料）8,960千円 ・体感コーナー設置（委託料）1,760千円 ○川棚温泉街における温泉体感スポット等を備えた「癒やしの庭」の整備 ・工事監理（委託料）1,100千円 ・本体工事（工事請負費）39,000千円 ○交流センター外壁ライトアップ照明整備による夜間景観の改善 ・外壁ライトアップ照明設置（工事請負費）9,500千円 ○交流センター大交流室スポット照明等整備による光の演出・イベントの促進 ・スポット照明等整備（委託料）3,000千円 ・プロジェクター購入（備品購入費）1,900千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①川棚温泉エリア等の観光客数（+19,200人） ②川棚温泉街における宿泊施設の宿泊客数（+3,000人） ③下関市川棚温泉交流センターの入館者数（+1,500人） 		関連URL https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値



事業概要【多様なライフスタイルが実現できる「まちの拠点」創出事業】

推進当初

申請者	山口県下関市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	82,500千円 (42,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>地域の激しい人口減少の流れを緩やかにするため、人口定住の拡大を図り、人が集い、繋がる新たな居場所を創設し、多様なライフスタイルが実現出来るまちの拠点の再生を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用の公的不動産等のリノベーションを行い、公共施設等の魅力の向上を図り、移住・定住を促進する。 ・地域内に交流の場、機会を創出することで、新たなビジネスを産み地域の稼ぐ力の向上を図る。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●リノベーションのまちづくりアドバイザー業務 24,300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・意識啓発業務 (4,000千円) ・エリアビジョン検討業務 (7,400千円) ・旧消防署官舎リノベーション関連 (設計) 業務 (6,000千円) ・太翔館エリアリノベーション業務 (4,800千円) ・シェアビレッジ関連 (設計) 業務 (1,500千円) ・SNS等を活用した移住・定住情報発信業務 (600千円) ●豊北地域への企業誘致を目的とした事業創造型ワーケーション事業 18,400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・都市部企業に地域の情報提供を行い、事業創造に関心のある企業に特化したワーケーションツアーを実施。(16,200千円) ・地図情報システム (リアース) を活用した空き家情報構築と情報発信 (2,200千円) 	 <p>～ 将来イメージ ～</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①市外からの新規移住者数及びお試し居住活用者数 (+50人) ②実証実験イベント・ワークショップの参加者数 (+1,440人) ③新規起業者数 (+7人) ④移住・定住相談件数 (+2,700件) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/1/86600.html</p>

申請者	山口県萩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	20,900千円 (4,554千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	官民学 (萩市・一般社団法人アスリートキャリアセンター・一般社団法人絆スポーツクラブ萩・青山学院大学陸上部) が連携し、スポーツ指導者を育成し、また、陸上競技を核とした交流人口・関係人口を創出することで、持続可能なまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○スポーツによる地域活性化推進事業 クラブコーチ育成カリキュラムを活用した研修会を実施 (委託料) 4,004千円</p> <p>○合宿誘致推進事業 地域資源を活用し、市外からトップアスリートを誘致 (補助金) 550千円</p> <p>○萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会サイドイベント 開催事業 各種大会におけるサイドイベントの開催に向けた調査研究</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①絆ランニングクラブ萩入会者数 (+70人)</p> <p>②指導資格保有者数 (+50人)</p> <p>③トップアスリート合宿誘致人数 (+10人)</p> <p>④陸上競技における全国大会出場者数 (+12人)</p>	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) 調整中

申請者	山口県長門市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,000千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	山口県としての特徴である自然災害の少なさや、自然環境の良さなどの強みも活かし、ITベンチャー企業の誘致に伴う企業間及び地域企業等との連携によるオープンイノベーションの創出、市内産業のデジタル化やDX化の促進により労働生産性の向上、新たな雇用の創出による若者の定着へと繋げ、市内全産業が発展していく好循環（エコシステム）を構築し、持続可能な経済成長を目指す。		
事業概要・ 主な経費	都市部のITベンチャー企業等の誘致を促進させ、新たな雇用の場の創出による若者の市内定着に取り組むとともに、誘致企業と市内企業との交流促進によるイノベーションの創出及び地域産業DXの促進に取り組む。 ○情報発信及び誘致活動業務（委託料）10,000千円 ○地域産業DX促進業務（委託料）10,000千円 ○デジタル人材育成業務（委託料）10,000千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①ITベンチャー企業等誘致件数 (+17件) ②ビジネスマッチング件数 (+10件) ③イノベーション創出数 (+10件) ④デジタル人材育成セミナー等参加者数 (+650人)	関連URL	https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/3/44236.html

事業概要【美祢社会復帰促進センター等との連携を通じた地方創生プロジェクト】

推進当初

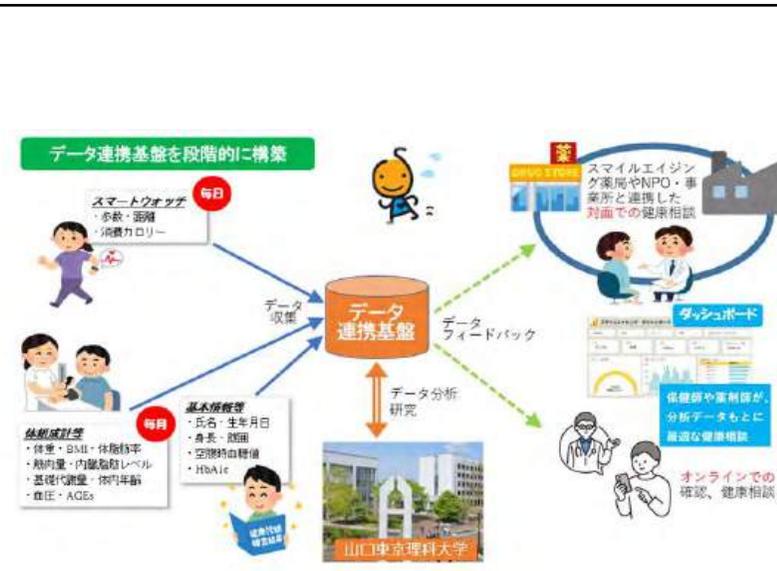
申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,243千円 (26,799千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・美祢社会復帰促進センター及びセンター生を本市の資源として捉えた上で、復帰センター出所者への人材再生支援による担い手不足の解消に加え、各種課題も解決できる取組を、復帰センターとの連携を通して様々な関係者と連携しながら、総合的に実施 ・誰一人取り残さない社会の実現に寄与しつつ本市が目指す共生のまちづくりの実現を目指すとともに、持続的な地方創生・地域活性化を図る 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○美祢市への理解促進 ・センター生への具体的説明に係る市内事業者対応謝礼（報償費）100千円 ○共生のまちづくりに係る理解促進 ・市内事業所等へのセミナー開催費用（委託費）2,000千円 ○出所者等支援体制を中心とした共生のまちづくり推進体制の運営 ・出所者等支援体制を中心とした共生のまちづくり推進体制運営支援（委託費）11,979千円 ・出所者等支援体制の運営に係る委託費用（委託費）5,000千円 ・消耗品費用（需用費）20千円 ○美祢市の資源を活用した商品の企画・開発 ・美祢市の資源を活用した商品の企画・開発業務費用（委託費）7,700千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①セミナーに参加し、協力雇用主として登録した市内事業者数 (+6社) ②市内事業者がセンター生に対して採用に向けた面接を実施した数 (+16件) ③美祢社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内事業者の数 (+3社) 		関連URL https://www2.city.mine.lg.jp/sos_hiki/somubu/gyoseikeiei/shingikai/sogokeikaku/10321.html

事業概要【データ連携（都市OS）を活用したスマイルエイジングの推進】

推進当初

申請者	山口県山陽小野田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,593千円 (43,006千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	山陽小野田市では、健康寿命の延伸を目指して「スマイルエイジング」に取り組んでいる。健康寿命の延伸には市民の生活習慣の改善が欠かせない。デジタル機器から収集する健康データを活用する中で、個に応じた健康づくりに取り組む。また、薬学部や工学部数理情報科学科を擁する山口東京理科大学とデータ連携・分析する体制を構築し、分析したデータを市の施策に活かすことで、効果的な行政サービスの提供、市民生活の質向上を図る。		
事業概要・主な経費	<p>○生活習慣の改善に向けた健康指導の実証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブトラッカー等から健康データを収集 (アクティブトラッカー等購入費：2,933千円) ・分析データを基に健康指導・「スマイルエイジング薬局」・事業所等との連携実証（消耗品費・通信料：572千円、委託料：2,400千円） <p>○市と山口東京理科大学との連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・関係団体・山口東京理科大学との協議体設置・協議（報償費・旅費・保険料・消耗品費：500千円） ・官学連携・データ分析に係る専門業者による支援（委託料：7,920千円） <p>○データ連携基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り込むデータの拡充・機能強化（委託料・使用料及び賃借料：28,681千円） 		
KPI	<p>①アクティブトラッカー等のデジタル機器を活用する中で、健康状態が改善した人数（+120人）</p> <p>②当事業の健康指導の拠点の数（+5事業所）</p> <p>③山口東京理科大学でのデータ分析件数（+1件）</p> <p>④週1回以上運動する市民の割合（+70%）</p>	関連URL	<p>https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/6/kennsyou.html</p>

※経費内訳はR6年度事業費



事業概要【イタリアーノひらおシティプロモーション推進事業】

推進当初

申請者	山口県平生町	初回採択回	令和5年度第1回募集		
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,094千円 (6,080千円)		
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野		
目的 (効果)	まちづくりのキャッチフレーズである「イタリアーノひらお」を町内外に浸透させるために、「メルカート」の開催、ツアーやイベントの企画、SNS等を活用した情報発信を行い、町民のまちへの愛着の向上、町外からの人の流れをつくり、町の魅力を向上させていく。				
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○メルカートの開催及び実施主体の育成 (1,920千円) ○移住、定住につながるためのイベント、ツアー、移住相談会等の開催および町の認知度を高めるためのプロモーション動画作成、配信 (2,960千円) ○Instagramを活用した情報発信 (1,200千円) 				
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①直売イベント開催総参加者人数 (+48,000人) ②ツアー、イベントの参加者数 (+61人) ③mGAPによる住民の地域愛着度 (+6.2ポイント) 		<table border="1"> <tr> <td>関連URL</td> <td>調整中</td> </tr> </table>	関連URL	調整中
関連URL	調整中				

事業概要【大阪・関西万博に向けPDCAサイクル加速！循環人口創出事業】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	546,936千円 (130,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・万博後を見据えたソフトレガシーとして「徳島県と外部との新たな関係性づくり」の仕組みを構築することで、イノベーションがイノベーションを呼ぶ、継続的な人の循環のエコシステムを構築する。 ・県外人口との多様な関係性を構築し、「人の出入り」の全体数を底上げし、徳島県を、様々な分野の「社会経済活動の現場」へと構造転換を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな誘客・関係づくりコンテンツの創出と実証 <ul style="list-style-type: none"> ・徳島の未来創生と万博の機運醸成へと繋げるための地域イベント (委託費) 8,000千円 ・宇宙・科学関連イベントや学校への出前授業の実施 (委託費、通信運搬費) 15,000千円 ○本県ならではのサステナブルな「食体験」コンテンツの「実装・深化」 <ul style="list-style-type: none"> ・徳島ならではの「食材」及び「食文化」の魅力発信イベントの開催 (委託費、賃借料、費用弁償等) 16,000千円 ○生産から消費までSDGs視点で食のイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県産品の「食の博覧会2024」の開催 (委託費、報償費、費用弁償) 4,000千円 ・万博を契機としたSDGs徳島グルメの開発・展開 (委託費、報償費、費用弁償) 6,500千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①循環人口の創出 (循環人口率) (+28%) ②転入+転出人口の総体での増加 (転出入比率は維持) (+4,029人) ③食育に関心を持っている人の割合 (+9%) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kensei-joho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/	

申請者	徳島県徳島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,439千円 (14,813千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティと民間活力を原動力とした様々な取組と「阿波おどり」を組み合わせSDGsを自分ごととして推進する地域を確立する。 先駆的・実験的な取組を、多様な主体と手を組み積極的に推進することで、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらすモデル事業を生み出す。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① SDGs推進にかかる課題である市民・企業の認識不足を解消するため、地域の伝統文化「阿波おどり」を通じた活動が、ダイバーシティの推進や持続可能性を追求していく取組であると認識できるように展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティとくしま連実施経費（委託料） 3,524千円 ・持続可能な地域の伝統文化継承事業（委託料） 3,160千円 ② 企業や市民等と連携し、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携事業を生み出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs未来都市 実現協議会運営及びプロモーション事業（委託料、補助金） ソフト：920千円 ハード：2,000千円 ・次世代学びの場構築事業費（委託料、需用費、使用料） 2,150千円 ・ダイバーシティ啓発推進事業（委託料） 1,033千円 ・SDGs推進の取組可視化事業（委託料） 1,256千円 ・公民連携事業創出に係る人材育成事業（負担金） 770千円 	 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の伝統文化の持続可能性に貢献する市民の数 (+600人) ②SDGs推進に係る公民連携事業等に協賛する企業・団体数 (+45社・団体) ③経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携モデル事業の実施数 (+7件) 	関連URL	https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/shisei/machi_keikaku/town_planning/region_revitalize/mirai_senryaku/index.html

申請者	徳島県鳴門市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,822千円 (12,410千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在しているアクティビティを整理整備し、情報発信力の向上を図る ・本市の強みである自然を活用したアクティビティを磨き上げ、市内全体への観光範囲の拡大、滞在型観光の誘客を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○新アクティビティ運営事業 新アクティビティ導入費用 (新コンテンツマニュアル費用/初年度運営費用) 5,000千円</p> <p>○イベント事業</p> <p>(1) イベント運営費用 2,840千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画立案提案実施 (各事業者連携含む) <p>(2) 広告費用 2,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、WEB、SNS等での告知物作成及び告知 <p>○プロモーションサイト運営事業</p> <p>(1) 運営費用 2,570千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度整備のWebサイト運営、メンテナンス、アップデート実施 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分累計」の目標値	<p>①観光入込客数 (+90万人)</p> <p>②外国人観光客入込数 (+6万人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/kangaeru/keikaku/sou-gousenryaku/</p>	

事業概要【「地域のデジタル化推進拠点」創出事業】

推進当初

申請者	徳島県三好市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	44,660千円 (23,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人流創出と魅力的な地域をつくる拠点施設にデジタル学習環境を実装・充実させ「デジタル／I T人材」等を育成する。 ・新たなサテライト企業の本市進出を誘引する環境と体制を整える。 ・「地元企業を知る機会」や「マッチング機会」等を増やすことで、地元雇用を強化する。 ・「若年層の流出抑制」や「ふるさと回帰」に資する「魅力あふれる地域」を作り上げる。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○事業推進協議会の運営 (委託費) 1,100千円</p> <p>○ (仮称) 地域のデジタル化推進拠点サービス構築</p> <p>・サービス実証に伴うデータ・権利等、ソフトウェア導入監理等、デジタル教育コンテンツ (ソフトウェア) 設計・導入計画の改定等 (委託料) 1,100千円</p> <p>・ハードウェア導入監理等、デジタル教育インフラ (ハードウェア) 設計・導入計画の改定等 (委託料) 3,300千円</p> <p>・デジタル教育インフラ (ハードウェア) 導入 (備品購入費等) 11,000千円</p> <p>○デジタル教育サービスを提供する実施主体の組成支援 (委託料) 4,400千円</p> <p>○デジタル教育サービスの各プロジェクトの実証、モニタリング、効果検証、計画改定 (委託料) 2,200千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①「デジタル／I T人材」等登録者数 (+60人)</p> <p>②「サテライト企業」等の誘致数 (+2社)</p> <p>③「地元企業」と「①人材」とのマッチング実施件数 (+110人)</p>		
	<p>「三好市地域利便性施設 (仮称)」にデジタル技術を実装することで、地域の魅力向上を図りながら、デジタル技術を地域で学ぶ学習支援施設として場を創出し地域のデジタル人材の輩出する。</p> <p>地域利便性施設 (仮称) イメージ</p> <p>【1年目】 ●推進協議会の設立 ●計画の策定</p> <p>【2年目】 ●ソフト・ハード導入・実証 ●サービス体制構築</p> <p>【3年目】 ●サービス実装</p>	<p>関連URL</p> <p>https://www.miyoshi-i-tokushima.jp/docs/88986.htm</p>	

事業概要【若者の人材循環を起点としたまちづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県牟岐町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,298千円 (8,766千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・牟岐町住民、牟岐町ふるさと会員、牟岐町ゆかりの若者が、牟岐町に対する「愛郷心」を共有し、「どこにいても」まちづくりに参画できる仕組みの構築 ・牟岐町ゆかりの若者が、地域と繋がり、関わりを持ち続けられるための地域内外での受け入れ環境の整備 ・若者の人材循環を起点とした地域住民の交流やコミュニティの活性化、地域課題解決に向けた取り組みの創出 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○牟岐ゆかりの若者の「第二のふるさと」創出に繋がる事業 ・「牟岐ゆかりの若者」の受け入れ環境整備 (委託料) 2,000千円 ・地域から提示された課題を解決するためのコーディネート経費 (委託料) 2,100千円 ・セミナー等の開催経費 (委託料・手数料) 500千円 ○牟岐ゆかりの方など人材の交流促進に繋がる「牟岐の場」の創出 ・「牟岐の場」を起点に人材の交流促進につながる企画経費実施に係る経費 (委託料及び手数料) 1,800千円 ・地域課題解決を目指す企画等の実施 (手数料) 500千円 ○デジタル・アナログ媒体を活用した情報発信 ・情報発信経費 (委託料及び手数料) 1,866千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した大学生・若手社会人の数 (+30人) ②牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数 (+15件) ③牟岐の場創出件数 (+13件) ④地域体験型のふるさと納税返礼品の登録件数 (+12件) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) 調整中



事業概要【子育てするなら香川県・県民100万人計画推進事業】

推進当初

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,504千円 (18,058千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<p>企業で仕事と家庭の両立を支援し、女性が柔軟に働ける環境整備を行い、保育サービス充実や育児休業の取得を促進することにより、働く女性の心理的・身体的負担を軽減する。加えて、離職防止とキャリア形成を促す施策を実施することにより、女性の能力発揮と働く意欲向上を図る。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○女性向けビジネススキルアップ研修実施 1,250千円 ○女性の正規雇用の促進 4,796千円 <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談、支援体制の構築等 ○女性や障害者等の雇用確保 7,277千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専任コーディネーターによる就職マッチング等 ○働き方改革の普及啓発促進 496千円 <ul style="list-style-type: none"> ・優良企業の表彰、勉強会等への助成 ○若年者に対する県内企業の働き方改革の普及啓発3,239千円 <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対する出前講座等の実施 ○男女共同参画社会の推進 1,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・女性リーダーの資質向上と男女共同参画のための理解促進のための普及啓発 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①保育所等利用待機児童数 (+247人) ②県の就職支援策における女性の就職件数 (+1,200件) ③「かがわ働き方改革推進宣言」、「かがわ女性キラサボ宣言」登録企業数 (+288社) ④子育て行動計画策定企業認証マーク取得企業数 (+72社) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r5gyouseihyouka6.pdf</p>

事業概要【かがわスタートアップ・企業誘致戦略推進事業】

推進当初

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	193,742千円 (60,116千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	デジタル産業を含む多様な雇用機会を創出し、若者の県内定着や県外からの流入を促進する。加えて、デジタル・情報通信分野の産業基盤も強化され、スタートアップ支援や企業誘致によりデジタル人材の増加とスキルの向上が期待される。これにより、本県の人口増加とデジタルリテラシーの向上を実現する好循環が生まれる。		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内起業家の集積拠点となる施設整備・運営事業 6,653千円 ○スタートアップに対する伴走支援事業 28,524千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による相談対応の実施や、実践的な講座の開設等 ○スタートアップに対する成長加速化支援事業 15,583千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスコンペを実施し、優秀な事業に対して事業化に必要な経費の一部を補助等 ○企業誘致の情報発信体制の整備 2,190千円 ○産業フェア・マッチングイベントへの出展 5,347千円 ○産業活性化アドバイザー等のネットワークの活用 1,819千円 <ul style="list-style-type: none"> ・香川県ゆかりの民間人を「香川県産業活性化アドバイザー」として委嘱し、企業立地情報の収集や発信等を実施 	 <p>The image shows a screenshot of the 'ONE STEP TOGETHER' website, which is a platform for startups and business support. It features a map of Japan and the text 'ONE STEP TOGETHER'. Below the website screenshot is a photograph of a man in a suit, likely a representative of the organization. To the right of the photo is a flyer for 'Startup Support Subsidy' (起業等スタートアップ支援補助金) with details about the program, including application periods and contact information.</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①スタートアップスクエア事業及びスタートアップ成長加速化事業による起業家 (+30人) ②開業した事業所数 (+3,132件) ③県の創業支援制度利用者に占める創業等事業者数 (+210件) ④企業立地件数 (+133件) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r5gyouseihyouka6.pdf</p>

事業概要【デジタル技術を活用した新たな地域資源開発推進事業】

推進当初

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	415,762千円 (158,137千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>本事業の実施により、地域資源の開発と持続可能な農業生産体制の構築が実現され、①食品産業でのデジタル技術の研究開発が進み、SDGsや物価高騰対策に貢献すること、②オンライン商談会などを活用した販路拡大戦略による販売量増加、③デジタル技術の活用で農畜水産物の生産性向上やコスト削減が可能となる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○デジタル技術を活用した地域資源の開発 30,712千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の研究機関における研究対象食材の拡大や人材育成の取組を強化等を行う。 <p>○デジタル技術を活用した生産性向上・持続可能な生産体制の構築 65,291千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した県オリジナル品種の生産性の向上に取り組むとともに、持続可能な生産体制の構築に取り組む。 <p>○デジタル技術を活用した国内販路・国際販路の開拓 62,134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルとリアルイベントの複合による相乗効果により県産品の認知度向上や県産品の消費拡大に取り組む。 		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県オリジナル品種の作付面積 (+46ha)</p> <p>②ブランド農産物の生産量 (+2,423t)</p> <p>③県産品の国内販売額 (県サポート実績) (+288,258千円)</p> <p>④県産品の海外販売額 (県サポート実績) (+63,814千円)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r5gyouseihyouka6.pdf</p>

事業概要【官民共創DXによる“デジタル社会・かがわ”の形成】

推進当初

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	390,544千円 (127,107千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	県・市町、県内外の民間事業者や教育機関、シビックテック等が行政のまちづくりの知見と民間事業者のデジタル技術の知見を掛け合わせて住民のwell-beingを高めるサービスを創出し、官民共創DXによるまちづくりに取り組む。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>①官民共創の拠点「かがわDX Lab」を運営や地域課題に対するソリューションの検討し及び実装に向けた実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かがわDX Lab」運営費等 9,774千円 <p>②市町横断的な県下全域でのデータの収集・分析・活用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金、依頼旅費 796千円 <p>③デジタル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部人材の報酬等 8,820千円 ・人材育成・拠点運営 (指定管理) 73,250千円 ・イノベーション推進講座の開催 25,222千円 ・拠点施設・備品整備 9,245千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①官民連携により実装したサービス (+5件)</p> <p>②「かがわDX Lab」の会員数 (+100者)</p> <p>③市町横断的に収集したデータの利活用件数 (+150件)</p> <p>④Setouchi-i-Baseで実施する講座・イベント等の延べ参加者数 (+30,000人)</p>		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かがわDX Lab https://kagawadxlab.pref.kagawa.lg.jp/ ○Setouchi-i-Base https://setouchibase.jp/

**事業概要【スマートシティたかまつ推進事業（フリーアドレスシティたかまつ【FACT】～放課後FACT-ory）】
（学校時間以外のこどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォーム構築推進事業）**

推進当初

申請者	香川県高松市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	93,500千円 (34,430千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>・地域学習プラットフォーム(PF)を構築し、幼少期から高校期に、地域の企業、NPO等の団体などの地域コンテンツ活動への自らの好奇心に基づく参加・お仕事体験、就業を見据えた地域の探究マッチングを通じ、取材結果やプログラムを掲載し、それらをPF上で地域のこどもが共有するとともに、地域学習で得られたキャリアを、デジタルキャリアパスポートとして保管でき、将来、地域を担う人材となる「地域の学びサイクル」が息づくまちづくりを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域学習プラットフォーム構築事業 13,310千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習プラットフォーム（β版）改良、API連携・機能拡張（委託料）6,710千円 ・地域学習プラットフォーム クラウド利用料（委託料）6,600千円 <p>○ステークホルダ間課題調整、事業検討 9,240千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダが持つ課題とコスト抽出、本サービス利用時の費用対効果の仮説立証（委託料）3,630千円 ・学生と事業者の課題を両立させる動画配信内容、システム構成の検討（委託料）4,620千円 ・デジタルキャリアパスポート構築検討（委託料）990千円 <p>○事業普及施策の実施 11,880千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業及び取材学生の募集、取材シナリオ作成支援、ワークショップ開催（委託料）7,975千円 ・放課後FACT-ory普及イベント企画・運営（委託料）3,905千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①学生の地域学習プラットフォーム利用者数 (+9,380人) ②地域のコンテンツプログラム掲載数 (+70動画) ③利用者の「この地域で育って幸せと感じている」項目の点数の平均 (+4.05点)</p>		
	関連URL	調整中	

申請者	愛媛県、四国中央市、西予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	321,103千円 (108,965千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛媛で就職し、結婚・出産の希望を叶え、安心して子育てを行い、仕事と家庭の両立ができる社会」の実現を図る。 ・企業・事業者への支援や意識醸成のセミナーを実施することにより、若年者（特に女性）から選択される企業・事業者への変革を図る。 ・デジタルを活用した採用活動の支援を行うことで、企業・事業者の採用力強化を図る。 ・出会いの場を提供する事業の実施により、若年者の結婚の望みを叶え、県内定着を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業 費	<p>【愛媛県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少問題に関する意識醸成及び若年者の県内定着・仕事と家庭の両立に向けた企業への支援（62,841千円 委託料、事務経費） <ul style="list-style-type: none"> ・働き方や職場環境の改善による仕事と家庭の両立に向けた、企業を対象にしたセミナーの開催 ・「ひめボス宣言事業所」認証に向けた相談体制の充実 ・仕事と家庭の両立に高いレベルで取り組む企業の顕彰 ・いきいきと活躍する女性の人材育成 ・仕事と家庭の両立事例・女性活躍事例の広報PR ・働き方改革の推進による魅力ある職場環境づくり支援 ○行動変容を行う企業・事業者に対する採用力強化支援（25,629千円 委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・行動変容を行う企業・事業者に対する採用力強化支援 ・オンライン採用活動支援セミナー・内定辞退防止セミナーの開催 ・オンラインインターンシップの実施 ・若年人材の獲得支援 ・デジタルブックの活用 ○若年者のライフプラン形成支援（16,395千円 委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・新入社員等に対するライフプラン形成支援 ・企業と連携した出会いの場づくりの提供 <p>【四国中央市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年者のライフプラン形成支援 ・独身男女の出会いの場を提供する団体等への支援（1,500千円 補助金） <p>【西予市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年者のライフプラン形成支援（600千円 委託料） ○企業と学生のマッチング及び雇用の受け皿の拡大（2,000千円 補助金） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事 業年度までの「KPI増加分 の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①仕事と育児の両立・女性活躍に取り組む企業・事業者数（+150社） ②県内新規学校（大学等）卒業者の県内企業への就職内定者数（女性）（+60人） ③男性の育児休業取得率（+65.7%） ④出会いの場を提供する事業への参加者数（+520人） 	関連 URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成によるデジタルトランスフォーメーション加速化事業】

推進当初

申請者	愛媛県、西予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	296,953千円 (110,527千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・Web3.0人材等の育成、デジタル分野で活躍する女性人材の育成、東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援、社会人を対象としたデジタル分野のリスキング環境整備、若年層に対するSTEAM教育、などを通じて「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成を図る。</p> <p>・育成した人材により県内企業のDXを進め、次代を担う活力ある産業を創り、1人当たりの県民所得の引き上げを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【愛媛県】</p> <p>○未来デジタルキャリアの獲得及び稼ぐ力の向上支援 (22,693千円 委託料、事務経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ力の向上を目的に、Web3.0及びそれらを構成する分野のスキル (メタバース等) を身に付けた人材の育成 ・デジタル分野で活躍する女性人材の育成 <p>○東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援 (66,038千円 委託料、謝金、事務経費 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アーティスト・イン・レジデンス」による人材育成 ・芸術祭の開催に向けた実施体制の構築・実施計画の策定や芸術祭に参加するアーティストの招へい ・映像制作人材の育成 ・感動のエピソードと写真を合わせた先端表現芸術を磨くコンテストの開催 <p>○社会人を対象としたデジタル分野のリスキング環境整備による「ビジネス」の視点を持った人材の育成 (21,676千円 委託料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルを活用した業務変革及び社内リスキングの必要性について理解を促進するセミナーの開催 ・IT技術及び人材育成に係る専門知識を有する人材を企業に派遣することにより、社内人材の育成及びリスキング方針・研修実施プログラムの構築を支援 ・県内事業所のマーケティング職員等を対象とし、デジタルマーケティングを単なる知識の刷り込みではなく、実践的なフレームワークやスキーム等の具体例を交え、業務に活用するためのノウハウ習得を目指す研修の開催 <p>【西予市】</p> <p>○大学・民間の力を活用したデジタル人材の育成 (120千円 謝金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術を活用したDXを推進するための人材育成 		
KPI	<p>①本事業を通じた「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」に精通した人材の育成数 (+1,550人)</p> <p>②育成した人材によるビジネスに関するプロジェクト数及びデザインに関するコンテンツ数 (+80件)</p> <p>③県関与年間成約額 (+97.9億円)</p>	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【しまなみアートミュージアム魅力発信による誘客促進および地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,974千円 (4,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	日本遺産に認定された村上海賊の知名度を生かし、VRやPRキャラクターのコンテンツ力を高めることで、しまなみ海道沿線に点在する文化施設「しまなみアートミュージアム」へ波及効果をもたらす。また、「しまなみアートミュージアム」を線として繋ぎ回遊性を持たせるため、魅力発掘・課題抽出をおこない、受け入れ環境改善、ブラッシュアップをおこなう。これらの事業により、国内外からの誘客を一層促進し、地域の賑わいの創出と交流人口の拡大に繋げ、地域経済の活性化を達成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○村上海賊PRキャラクターを用いた作品として1年目に制作した絵本の英語版を作成する。村上海賊PRキャラクターのコンテンツ価値を最大限高め、国外へ向けての情報発信を強化していく。</p> <p>・英語版絵本制作業務委託 (委託料) 4,710千円</p>		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①しまなみアートミュージアム (ミュージアム7館) の来館者数 (+8,000人)</p> <p>②デジタルスタンプラリー利用者数 (+800人)</p> <p>③村上海賊PRキャラクターを用いた商品開発数 (+20種類)</p> <p>④地域の観光入込客数 (+66千人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chiikisaisei/17.html</p>

申請者	愛媛県西条市ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,305千円 (60,109千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	人 (地域事業者等) と人 (来訪者) を結びつけるデジタルプラットフォーム(以下、DPFと言う) を構築する。このプラットフォームを通じて、いしづちエリアでいきいきと活躍する住民の生き方、暮らしぶりを来訪者に提案し、関係人口や移住促進へと結びつけるライフスタイル型地域観光・滞在スタイルの創出に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域で活躍する人材 (キャスト) の生業等に焦点を当てた高付加価値体験や交流プログラムを顧客に提供することができるDPFを開発する。 ・システム開発費 (委託費) 30,000千円</p> <p>○プラットフォームが効果的、継続的に活用できるよう、DPFの運営協議を進める。また、キャストの発掘や滞在コンテンツの造成に努める。 ・DPF運営費・キャストの発掘費 (委託費) 13,924千円 ・その他事務経費等 (役務費、消耗品、謝金ほか) 1,385千円</p> <p>○魅力的なコンテンツの造成方法やユーザー確保のためのノウハウをキャストに提供する人材育成を行う。 ・人材育成経費 (委託費) 6,000千円</p> <p>○大都市圏、特に関西圏に在住するZ世代及びデジタルネイティブをメインターゲットとしたマーケティング及びプロモーションに取り組む。 ・マーケティング・プロモーション経費 (委託費) 8,800千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①DPFを通じた来訪者数 (+13,313人)</p> <p>②DPFを通じた来訪者による消費額 (+279,358千円)</p> <p>③登録キャスト数 (+350人)</p> <p>④コミュニティ参加者数 (+1,330人)</p>		
		関連URL	https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/seisakukikaku/shiminkaigi-kaisai-14kai-r.html



申請者	愛媛県伊予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	225,132千円 (52,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域DMOをハブとした観光物産振興に係る合意形成のプラットフォーム機能整備 ・地域DMOをハブとした観光物産振興における地域間交流、政策連携の仕組みづくり ・産業の効率化と担い手確保を目的としたDXへの取組 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	地域DMOを核とした持続可能な観光物産振興事業【合計 52,000千円】 ○地域DMO組織の安定運営と観光物産コンテンツの発掘・整理・発信（委託料：3,300千円） ○事業者と生産者のマッチング事業（委託料：3,300千円） ○観光物産PR事業（委託料：3,300千円） ○都市部からの来訪者と市民の交流促進事業（委託料：21,400千円） ○新規事業公募実現事業（委託料：5,500千円） ○次世代DXプロデューサー候補育成と地域内へのデジタル導入支援（委託料：14,100千円） ○先進事例等の収集、分析、共有と本市への落とし込み（委託料：1,100千円）		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域DMO登録会員(団体)数 (+390人(団体)) ②伊予市への観光入込客数 (+190千人) ③代表的な観光施設の年間売上額 (+49,000千円) ④新規開発商品数 (+12点)	関連URL	https://www.city.iyo.lg.jp/keizaikoyou/d ejiden.html

事業概要【高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクト】

推進当初

申請者	高知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	146,893千円 (36,631千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県にヘルステック産業を創出し、地域産業の活性化を図る ・県外企業の誘致を促し雇用を生み出すことで、若者の県内定着や県外からの転入促進を図る ・県内企業のヘルステック分野への参入を促し、企業の成長力の底上げを図る ・デジタル技術を活用して、地域や職域の抱える課題の解決を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトの推進体制の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトの推進体制となる、協議会・相談窓口の運営経費等 (事務費2,492千円) <p>○県外企業と県内機関の交流・マッチングの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外企業と県内機関との交流イベントの企画・運営等 (委託料8,701千円) <p>○県内市町村と企業や高等教育機関が連携して実施する、デジタル技術等を活用したヘルステック関連の新製品や新サービスの事業化のための実証実験を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験に係る経費の一部を補助 (補助金20,000千円) <p>○専門家による高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクト支援案件に対する研究開発段階から事業化までの伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業へのヒアリングの実施、事業内容のブラッシュアップ、事業化までのサポート (委託料5,438千円) 		
※経費内訳はR6年度事業費			
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①企業からの相談窓口への相談件数 (+75件) ②本プロジェクトに参画した県内企業及び市町村数 (+50件) ③高知県内への本プロジェクト支援県外企業の支社等拠点設立件数 (+40件) ④本プロジェクト支援県外企業における県内雇用人数 (+27人) 		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	<p>(プロジェクトトップページ)</p> <p>https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024040500106/ (補助金募集)</p> <p>https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022000419/</p>	

事業概要【地方におけるデジタル人材の雇用創出事業】

推進当初

申請者	高知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	96,200千円 (31,453千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地域に定着できるような雇用の創出のため、IT・コンテンツ関連企業の誘致を促進する ・誘致企業と連携した取り組みを進めるため、県内企業のデジタル化を促進するとともに、企業内でのデジタル人材の育成強化を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○IT・コンテンツ企業等誘致促進のための情報発信や市町村と県外企業とのマッチング機会の創出、企業の人材確保促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致サイトの運用 (委託料) 2,915千円 ・市町村と県外企業とのマッチングイベントの実施等 (委託料) 15,851千円 ・企業誘致のための外部人材活用 (報償費) 804千円 ・求職者と企業が気軽かつ容易に面談や就活イベントへの参加ができるプラットフォームの構築・運営 (委託料) 4,136千円 <p>○小規模事業者のデジタル化を促進するための、商工会の経営指導員等のデジタル技術を活用した経営支援力を向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営支援力向上を図る事業への支援 (補助金) 7,747千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①新規雇用創出数 (+217人) ②企業立地件数 (+16件) ③商工会連合会を通じた小規模事業者のデジタル化支援数 (+135件) 		
	<p>相乗効果</p> <p>IT・コンテンツ企業の立地 → 企業誘致 → 県内企業のデジタル化の促進</p> <p>デジタル人材の育成・確保 ← 人材誘致</p> <p>デジタル人材の雇用創出</p> <p>若年層のU・Iターンの促進、県外流出の減少により、人口減少対策に寄与</p>		
	関連URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150000/152001/ https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150000//150201/	

事業概要【須崎の魅力広域展開推進事業】

推進当初

申請者	高知県須崎市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	221,223千円 (50,023千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地から各地域へといった面的な流れを生む ・「海のまち」を起点に様々な観光振興策を実施し、須崎市全域、高幡地域全体へと波及効果を生み出す ・既存の地域資源及び施設については、新たな価値を生み出すことによりブランド化を推進する ・農産物や魚など食をはじめとした他の資源と融合させるなど、さらなる魅力度向上を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○須崎の魅力発信事業（ドローンをはじめとしたデジタル技術を活用し、須崎の魅力を発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン委託料（1,000千円） <p>○「海のまち」活性化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的活動推進委託料（14,316千円） ・「海のまち」推進事業補助金（20,130千円） <p>○人と人が行き交う活力あるまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的観光振興経費及び須崎市観光協会、奥四万十観光協議会連携事業補助金等（14,577千円） 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①多様な観光資源を活かした交流人口の拡大（+735人） ②中心市街地以外の各地域でのイベント・催し参加者数（+1,500人） ③須崎市街地主要施設来場者数（+5,000人） ④観光入込者数（+133,804人） 		関連URL	https://www.city.susaki.lg.jp

事業概要【南四国アイランド活性化事業】

推進当初

申請者	高知県東洋町、徳島県海陽町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,600千円 (15,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>生活圏を同じくする高知県東洋町と徳島県海陽町との広域連携を図り、「まち・ひと・しごと総合戦略」の計画・事業を推し進め、地域特性と地域課題を同じくする分野の広域的発展に資する施策への拡大を目指す。両町の観光業が発展することにより、農業や漁業など地域の雇用が生まれ、両町の地域住民全てが生涯にわたって活躍できる地域社会づくりや、関係団体の活動促進による地域コミュニティの強化を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>【1. DMVを主軸とした観光推進に係る事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界初DMV情報発信PR活動経費：1,000千円 主に関西圏での認知度を高めていくPR活動。 ・案内看板の作成経費：4,000千円（1カ所） DMV停留所に広域観光案内看板の設置。 <p>【2. 新たな観光資源の発掘調査の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・珊瑚礁地形調査経費：1,500千円 ・調査データ及び標本等の整備と展示に係る経費：2,000千円 ・備品購入 6,500千円（海洋自然博物館マリンジムへ設置） <p>新しい観光資源の発掘に向けて珊瑚の化石と海洋調査を行い、Web図鑑化・映像化に向けての検討を行う。</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①阿佐海岸鉄道DMV乗車数 (+5,300人) ②海の駅東洋町来客数 (+36,000人) ③道の駅穴喰来客数 (+105,000人) ④海洋自然博物館マリンジム入込客数 (+12,500人)	関連URL	調整中

申請者	高知県のいの町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,879千円 (8,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな雇用創出」「新商品・サービスの供給」「新陳代謝の促進」の効果が期待される創業に対する支援に取り組む。 ・創業の受け皿として、休校舎等の遊休施設を利活用し、再びにぎわいを創出する。 ・将来的には地域に根付いた人・仕事・魅力が、新たな人・仕事・魅力を呼び込むネットワークづくりと当該事業を応援する関係人口を創出する。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	戦略をもって、創業希望者に対するプロモーション・事業化支援を実施 〔経費〕 民間企業と連携した個人・法人向けプロモーション活動及び、当町での事業創出に向けた個人・法人の公募、事業化支援事業（委託料） 8,500千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数 (+ 2件) ②いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数 (+ 180人) ③いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口の数 (+ 300人) ④いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数 (+ 8件) 		関連URL 【プロポーザル公告】 https://www.town.ino.kochi.jp/chosei/kihokocho/propo/10868/ 【プロポーザル審査結果】 https://www.town.ino.kochi.jp/chosei/kihokocho/propo/11104/

申請者	福岡県、久留米市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	497,754千円 (186,987千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな投資家との接点を創出し、海外からの投資を呼び込む ・アジアとボストンを対象地域とし、海外企業誘致を加速化する ・国内外の企業が集う場づくりや分野横断的なイベントを開催し、グローバルなオープンイノベーションを促進 ・スタートアップや中小企業のアトツギなどの若手企業家の育成を強化し、イノベーションの多様な担い手を創出する 			
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバル拠点の形成・CIC等との連携強化 ・新戦略策定のための調査委託費等 27,702千円 ・CIC東京個室利用料等 6,822千円 ・ボストンミッション団の派遣 21,094千円 ・ジェトロ福岡事務所の機能強化 6,524千円 ・イノベーションコミュニティ構築のためのイベント開催 12,560千円 ・海外スタートアップ、VCの誘致活動の強化 23,981千円 ・世界を目指す起業家・投資家の育成 27,406千円 ○ユニコーン創出プロジェクト ・プログラム運営費等 20,431千円 ○アトツギ・サッシンベンチャー創出プロジェクト ・セミナー・ワークショップ等開催費 40,467千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①本県のベンチャー企業への投資額 (暦年) (+518億円) ②1億円以上の投資を受けた企業数 (+50社) ③福岡拠点開設を決めた海外企業数 (+32件) ④米国ボストンに有望人材を派遣する件数 (+20件) 		関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【近未来MaaS福岡モデル創出事業】

推進当初

申請者	福岡県ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	438,167千円 (160,898千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の維持・確保とともに交通分野のデジタル化を推進するため、MaaSを始めとする交通DXの取組を推進 ・モビリティデータの集約・分析を行うプラットフォームを構築し、交通政策立案 (EBPM) や交通事業の最適化、他分野における施策展開を図る ・地域の実情に応じた持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通を実現 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○MaaSプラットフォームによるデータ利活用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MaaSプラットフォームを活用した分析・可視化 (委託料) 18,634千円 <p>○データ蓄積のための新モビリティサービスの導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画乗車券の造成費 (補助金) 4,373千円、(負担金) 930千円 ・MaaS検討会議の実施 (需用費、使用料) 1,493千円 ・観光情報の発信 (委託料、需用費) 6,985千円 ・AIオンデマンド交通の導入 (補助金) 72,376千円 ・デジタル技術を活用したコミュニティバスの実証運行 (補助金) 47,688千円 <p>○MaaSの普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県全体のMaaSに係るプロモーションの実施 (委託料) 7,300千円 <p>○福岡県MaaS実行委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費 (報償費、講師旅費、食糧費、使用料) 1,119千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①北九州・筑豊・筑後地域における乗合バス利用者数 (+20,225千人/年) ②県内市町村における新たな輸送サービスの導入件数 (+13件) ③MaaSアプリ利用者数 (+41,975人) ④データ利活用実施市町村数 (+25市町村) 		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/	

※福岡県、久留米市、東峰村、添田町の広域連携事業

事業概要【関連産業との相互連携強化による「選ばれる福岡県の農林水産業」の実現】

推進当初

申請者	福岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	535,151千円 (192,886千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーンが一体となり、付加価値の高い県産農林水産物を流通・販売するモデルを構築 ・効率的な農林水産物流通の確立により、将来に持続する物流ルートを確保 ・食品産業等における原材料調達の内国回帰の動きをとらえた、ニーズに対応した販売促進活動により、業界相互の連携を強化 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼性を担保した付加価値の高い農林水産物流通体制の確立 ・新たなアサリ流通体制の構築(補助金)12,852千円 ○トラック輸送能力低下への対応 ・果樹における流通ロス低減技術や販売期間延長技術の実証 (需用費等) 10,381千円 ○持続可能なサプライチェーンの構築 ・食品卸業者との連携による販売促進 (委託料等) 66,453千円 ・大手量販店と連携したワンヘルス認証品のPR (委託料等) 31,499千円 ・民間企業と連携した県産木材の需要拡大 (補助金等) 19,892千円 	 <p>福岡有明あさり</p>	 <p>福岡県 ワンヘルス認証 ワンヘルス認証</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①大都市圏への県産青果物流通量 (東京都中央卸売市場における県産青果物取扱量) (+3,000トン) ②新たなアサリ流通体制「福岡モデル」による取扱量 (+200トン) ③福岡フェア等における県産食材の取扱高 (+37.50百万円) 	関連 URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【北九州学術研究都市を中心とした成長産業活性化事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	373,104千円 (129,914千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<p>学研都市全体で半導体・自動車産業をはじめとした成長産業の高度化や脱炭素・グリーン成長に取り組み、新たな都市ブランド確立を目指す。 カーボンニュートラルのまちづくりに取り組むことで、地域企業等にいち早く脱炭素社会に向けた各種チャレンジができるプラットフォームを提供し、ビジネス拡大を支援する。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○カーボンニュートラル学研都市の構築 ・EVのリース (賃借料) 740千円 ○研究開発の拠点化・実証支援 ・研究開発プロジェクト支援事業 (補助金) 43,000千円 ・衛星データ利活用実証事業 (補助金) 20,000千円 ○成長関連企業誘致の促進 ・首都圏での学術研究都市フォーラム開催 (補助金) 5,000千円 ○人材育成・企業競争力向上 ①半導体産業の振興 ・ひびきの半導体アカデミーの開催 等 (補助金) 29,200千円 ②EV産業の拠点化への支援 ・EV化参入支援窓口の設置 等 (補助金) 6,974千円 ③宇宙産業の振興 ・啓発セミナーの開催、人工衛星製造拠点化に向けた調査 等 (委託費) 25,000千円 		 <p>北九州学術研究都市</p> <p>次世代産業 半導体 (グリーンデバイス) EV 宇宙</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①市内新規雇用者数 (成長産業企業) (+487人) ②企業誘致件数 (学研都市内) (+16件) ③研究開発プロジェクト件数 (学研都市内) (+23件)	関連URL	調整中	

事業概要【ロボット・DX推進センターを拠点とした、企業変革促進伴走支援事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	430,372千円 (118,172千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	ロボット・DX推進センターを核として、DX・グリーン成長に向けた企業変革を支援することで、脱炭素に資する新たなサービスの創出や新たな市場に参入する企業を増やし、市内企業の競争力を向上させる。 また、雇用創出、生産性向上・競争力強化による地域経済活性化に取り組み、地方創生の「成功モデル都市」を目指す。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○企業変革 (DX・グリーン成長) に向けた機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット・DX推進センターの強化 (委託費) 64,000千円 ・企業変革啓発活動 (補助金) 8,484千円 ○企業変革準備支援 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣、横展開促進事業 (補助金) 21,188千円 ・人材育成事業 (補助金) 8,000千円 ○企業変革実践支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業変革促進補助事業 (補助金) 11,500千円 ・データ計測用IoT機器の導入 (補助金) 5,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DX・グリーン成長に向けた計画実践企業数 (+ 210社) ②DX・グリーン成長を目指す企業を伴走支援した企業数 (+ 430社) ③ロボット・DX推進センターの取組みを紹介した企業数 (+ 300社)	関連URL	調整中	

事業概要【「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	348,142千円 (119,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内大学の知を活用したリスキリングスクールを開設し、企業変革に向けて経営者のマインドセットを行う ・現場リーダー等社内人材を対象としたスクールにより中小製造業の労働生産性の向上を図る ・市内人材および外国人材のインターンシップを実施して市内企業を知ってもらうことで、地域企業への定着を図る ・ロボット導入やDXの推進により中小製造業の労働生産性の向上を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内大学の知を活用したリスキリングスクールの開校 (補助金) 20,000千円 ・現場リーダー向け生産性向上スクール (補助金) 1,000千円 ・市内大学生を対象としたインターンシップ事業運営 (負担金) 6,600千円 ・就職を前提とした高度外国人材のインターンシップ事業 (委託費等) 7,000千円 ・九州工業大学の知的資源を活用した地域連携 (委託費) 15,000千円 ・DX推進人材、設備投資補助事業 (補助金) 40,000千円 ・ロボット導入支援補助事業 (補助金) 30,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①市内中小製造業の労働生産性 (+ 39千円/人) ②売上高または利益額で2倍増を計画する成長企業数 (+ 4社) ③リスキリング教育受講者数 (+ 440人) ④ロボット・DXの実践件数 (ロボット・DX補助金等実践支援数) (+ 210件) 	関連URL	調整中

事業概要【アフターコロナを見据えたクールジャパンによるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	653,843千円 (135,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	北九州市に集積するクールジャパンコンテンツ関連施設や人材等の資源を活かし、世界的にも若者を中心に人気を持つクールジャパンコンテンツを活用した事業を推進することで、「関係・交流人口」の創出・拡大や関連産業の育成・活性化を図り、北九州市の社会動態をプラスにすべく地域社会の好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○北九州国際映画祭の開催 (映画祭での上映、ゲスト招聘イベント、作品の翻訳等の企画・運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画祭運営費 (負担金) 10,000千円 ○映画・ドラマコンテンツを活用したフィルム・コミッション事業 ・撮影誘致に向けたプロモート (委託費) 2,800千円 ○eスポーツの振興に資する調査・分析等 (委託費) 2,000千円 ○松永文庫での企画展・デジタルアーカイブ実施 (委託費) 9,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①クールジャパン関連事業実施による経済波及効果 (+110,373万円)</p> <p>②クールジャパン関連イベント参加者数 (+101,000人)</p> <p>③クールジャパン関連施設入場者数 (+48,017人)</p> <p>④クリエイター人材育成事業参加者数 (+1,200人)</p>	関連URL	調整中

事業概要【地域資源を活用した持続可能な八女市ブランド構築事業】

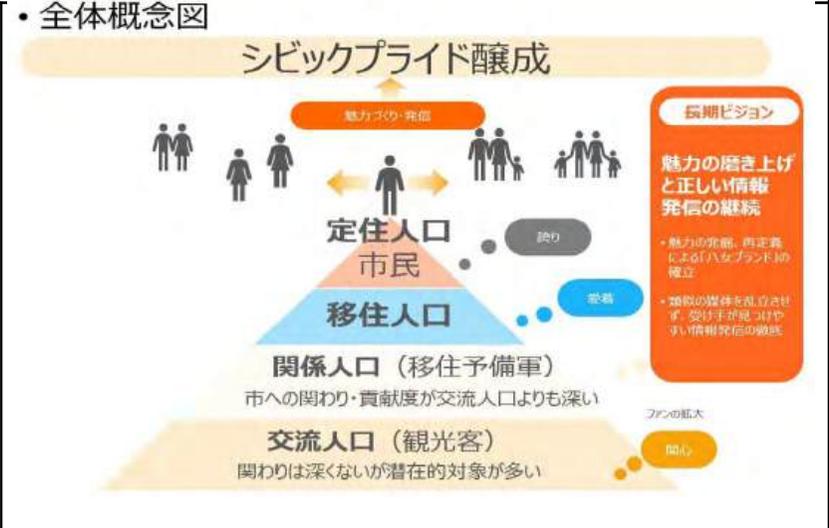
推進当初

申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,053千円 (26,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野

目的（効果）
八女市ブランドの構築・共有が出来ていない、情報発信における地域住民の参画がなされていない、若年層への訴求が不足しているという課題を解決するため、戦略を立てたうえで、分野横断的な情報発信を行っていく。

事業概要・
主な経費
※経費内訳はR6年度事業費

- シティプロモーション戦略に基づく、都市圏での八女市PRイベント（委託費）13,440千円
- 住民参加型シティプロモーション事業
 - ・住民参加型魅力発信事業の実施（委託費・需用費）730千円
- 若年層に向けた八女市ブランドのプロモーション
 - ・電子雑誌・動画の制作・発信（委託費）9,130千円
 - ・シティプロモーション戦略に基づく八女市広報媒体の改善に係る支援（委託費）3,520千円



KPI

- ①八女市の観光入込客数（+730千人）
- ②八女市の全国魅力度ランキング（▲125位）
- ③八女市の20代・30代の転入者数（+190人）
- ④魅力発信隊員（市民ライター等）による記事発信件数（+185件）

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

関連URL

<https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chihousei/1500000249735.html>

事業概要【ネットとリアルの融合で実現する地方創生！WEB版「大川の駅」を基軸とする、
【人の流れ】【まちの元気】【稼ぐ力】創出プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県大川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	347,299千円 (139,961千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	令和9年度に開業予定の「道の駅」の経済効果を高めるため、以下の効果を創出する ・観光資源の磨き上げ・インバウンド誘客 (人の流れの創出) ・大川家具発祥地のまちなみ再生・賑わいづくり (まちの元気の創出) ・デジタル市場開拓・6次産品開発 (稼ぐ力の創出)		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リバーサイド観光活性化事業として、体験型観光の開発や新たなイベント実施等を行う(委託料：10,000千円) ○大川家具発祥地へインバウンドを誘客する事業として、旅行商品の造成等を行う(委託料：10,500千円) ○町屋・古民家活用事業(委託料：9,250千円) ○観光インバウンド拠点施設の整備 (1) 工事監理業務(4,840千円) (2) 保存修理工事費(63,871千円) ○デジタル市場の開拓による運営組織の自立化支援を行う(委託料：12,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大川市公式オンラインショッピングサイト販売額 (+75,000千円) ②観光入込客数 (+39万人) ③木工発祥地文化財来訪者数 (+4500人) ④OKAWAブランド認定商品数 (+50商品)	関連URL	https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html

事業概要【芦屋版DMOを核とした観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	福岡県芦屋町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	168,600千円 (81,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる政策目標 I 「芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる」の実現に向け、前身事業の課題であった町内滞在時間 (回遊性) を高めるとともに、本町における観光地域づくりの舵取り役となる芦屋版DMOを設立し、地域関係団体と連携した観光振興やマーケティング経営を発展的に実践することで、自らが稼ぐ仕組みを構築し、地域経済の拡大といった好循環に繋げ、持続可能な地域をつくる。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部人材招聘によるDMO事業支援 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋版DMO法人事業立案 ・町内事業者とのネットワーク化、地域経済循環や経済効果創出のための仕組みづくり ・町民の機運醸成、DMO事業の人材育成 ○Web3基盤構築 34,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットプラットフォーム構築 ・メタバース構築 ○マーケティング調査、計画策定 37,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・サウンディング型市場調査 ・事業整備基本計画及び基本設計策定 	<p>芦屋港活性化基本計画・第1回変更計画に伴う鳥瞰イメージパース</p> 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①メタバースユーザー数 (+1,000人) ②芦屋版DMOの管理運営者数 (+6人) ③観光消費額 (+125,000千円) ④DMOによる自主事業件数 (+5回) 	関連URL	調整中

事業概要【SAGAの未来を支える担い手確保プロジェクト】

推進当初

申請者	佐賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	304,851千円 (116,904千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏から、人の呼び込みを図る ・佐賀の産業を支える担い手の確保を図る ・地域づくり、地域活性化への支援を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○佐賀県における暮らしや仕事の情報に一元的に触れられる移住フェアの開催 (委託料) 12,363千円</p> <p>○佐賀県から若者の人材流出が多い都市圏において、佐賀の仕事、暮らしの素晴らしさを伝える相談会を開催 (負担金) 15,538千円</p> <p>○地域における新規就農者の支援体制の構築を図りつつ、幅広い就農ルートから数多くの新規就農者の確保、定着を支援 (補助金 (協議会等組織)) 5,634千円 等</p> <p>○農業への企業・法人等参入への理解醸成、参入候補となる農地情報の整理、企業・法人への情報発信 (委託料) 3,060千円 等</p> <p>○労働力確保支援のための体制整備、農福連携の定着・推進や外国人材活用の推進など多様な人材の活用促進 (補助金、委託料) 1,000千円</p> <p>○県内工業系高校生などを対象に、建設業の出前講座や体験会、魅力発信の実施 (報償費、費用弁償、需用費等) 667千円、(負担金) 5,948千円 等</p> <p>○経営の高齢化などの課題がある県内中小企業等の円滑な事業承継を実現するためのシンポジウムや情報発信の実施 (委託料) 2,000千円 等</p> <p>○中山間地域の集落や産地等が主体的に行う「農業・農地を守る取組」、「農業所得を向上させる取組」「地域の活性化に向けた取組」に対して支援 (補助金 (市町)) 738千円 等</p> <p>○精力的に地域づくり活動を実践している人材 (ローカリスト) や地域づくりに興味のある人材 (ネクストローカリスト) との交流会の開催等により地域づくり活動のきっかけを創出 (委託料等) 8,387千円</p>		
KPI	<p>①県の支援策を活用した県外からの移住者数 (+95人)</p> <p>②しごと相談室を通じたUJIターン就業数 (+16人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) 調整中</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html</p>

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【未来創造型のチャレンジ研究を主軸とした大学連携推進事業】

推進当初

申請者	佐賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	235,206千円 (75,402千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>大学との連携を早急に強化することにより、佐賀県の施策を効率的に進める上で県が抱える課題やニーズに合った技術研究として、県民の安全・安心な地域づくりや産業の振興などにつながるだけでなく、そこで培われた新たなシーズが民間企業との共同研究や事業の実装に発展して新たな産業を生み出す。</p> <p>また、これらの地域貢献や地域課題の解決に資する取組を県内外へ幅広く発信していくことで、進学希望の高校生などにとっての高等教育機関の魅力向上、県内高等教育機関をハブとした若年層の活躍の場の拡大、キャリア向上を志す若者の佐賀への定住促進などに繋がり、県内高等学校から自県大学への進学率の向上にも寄与していくことを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1 佐賀大学等との連携事業の取組</p> <p>①R5年度からの継続事業 (委託料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県提案型 7件程度 19,250千円 ・学内公募 5件程度 15,000千円 <p>②R6年度からの新規事業 (委託料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県提案型 7件程度 9,250千円 ・学内公募 5件程度 15,000千円 <p>2 コンベンションの開催 (委託料)</p> <p>コンベンション開催経費 16,902千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県内高等教育機関との連携事業数 (延べ新規取組) (+39件)</p> <p>②本申請事業を通じた研究テーマの本格的な社会実装や事業化、若しくは産学官連携等に着手した件数 (+2件)</p> <p>③県内高等学校から自県大学への進学率の向上 (+2.3%)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html</p>

申請者	長崎県ほか2自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	33,068千円 (12,106千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地元市町と県立学校が地域課題を共有するとともに、確かな連携関係を構築し、県立学校が持続的な地方創生の核としての機能を有する意識を持ちつつ、所在する地域ならではの県立学校として魅力化を図り、人口減少が加速度的に進む離島半島部の子どもたちが地元の県立学校を志願する割合を向上させる。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>①魅力化本部支援事業（先進県事例提供） 先進県の成功事例をもとに、魅力化本部業務の支援を行う。コンソーシアム形成や学校の実態に応じた魅力化についてアドバイスを行う。 ・アドバイザー謝金、アドバイザー旅費 803千円</p> <p>②コンソーシアムの運営支援 市町と関係者で構築したコンソーシアムが取り組む高校の魅力化に係る経費及び運営に係る経費の補助を行う ・コンソーシアム運営補助 9,058千円</p> <p>③学校魅力化に向けた地域と協働した取組支援 ・外部講師謝金、消耗品費、通信費 他 2,245千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①事業を実施する市町の中学卒業生が当該市町に設置している県立高等学校へ進学する割合（+12.0%）</p> <p>②本事業に参加した県立学校における参加生徒の割合（+42.0%）</p> <p>③本事業に参加した離島半島地区の数（+5地域）</p>	関連URL	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

事業概要【海業による漁村地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,482千円 (24,682千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・『水産県ながさき』の魅力である優れた水産資源や観光資源を最大限に活用した『海業』へのチャレンジを推進 ・西九州新幹線開業により増加した観光客へ向けた『海業』を活用した新たな観光コンテンツを創出 ・『海業』を通じた地域内での利益循環と雇用の創出を促進し、持続的で活気ある漁村地域の実現を目指す 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①『海業』への意識醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施者へ海業関連情報を提供 ・海業先進地からキーパーソンを招聘 (報酬) 392千円 (旅費) 445千円 (需用費) 35千円 (役務費) 21千円 (使用料) 35千円 ②コンテンツの作り込みと磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・海業の観光コンテンツ作り込み、ビジネスプランへの取りまとめ支援 (補助金) 3,154千円 ・「売れる商品」へブラッシュアップするためのモニターツアー (委託) 4,400千円 (補助金) 1,200千円 ③立ち上がり支援 <ul style="list-style-type: none"> ・海業の立ちあがりに必要な機器・施設等整備 (補助金)15,000千円 		 <p>クルージング</p>  <p>模擬セリ体験</p>  <p>観光定置網</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①事業を活用して海業を開始・拡大した件数 (+12件) ②新たに海業の着手に向けてアドバイスを実施した件数 (+21件) 		関連URL https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

事業概要【長崎のさかな魅力発信プロジェクト事業】

推進当初

申請者	長崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	118,966千円 (37,399千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県水産物の県内外での魚食普及の拡大及び認知度向上 ・「儲かる長崎県水産業」実現 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①水産インフルエンサーによる魅力発信 県内イベントを中心としたPR、県外での知事トップセールスを絡めた県産水産物の魅力発信 (委託料・・・1,776千円) ②将来の長崎さかな応援団の育成 こどもへの魅力発信に注力した地産地消推進店舗でのキャンペーンや地産地消イベントの開催 (補助 (1/2)・・・21,184千円) 転勤族で長崎赴任となっている方に対する魅力発信・PR (委託料・・・1,238千円) ③長崎の魚魅力発信 (県外業界・消費者への魅力発信) 大消費地の大型展示会や首都圏ホテルでの県産魚フェア・PR (補助 (1/2)・・・8,000千円、報償費、旅費、委託費、使用料等・・・3,201千円) 「さかなの日」に連動した関西以北での鮮魚流通の拡大と魅力PR (委託料・・・2,000千円) 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内における魚食普及者数 (+10万人) ②新たな長崎の魚フェア、商談会での販売・取引実績 (+94,000千円) ③地産地消イベントの実施回数 (+91回) 		関連URL https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/	

事業概要【長崎独自資源の磨き上げによる交流人口拡大・周遊促進プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県長崎市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	89,664千円 (9,264千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>他にはない独自に培われた歴史や文化、地域資源等を後世に伝えながら守りつつ、現在行われている西九州新幹線や交流拠点施設の開業など100年に一度と言われるまちの変革期（交流基盤の変化）に合わせて、これらの資源等をブラッシュアップして価値を高め、域内外に発信していくことで、まちの魅力を向上し、さらなる人の交流の拡大を消費の拡大につなげるとともに、市内周辺部を中心に点在している魅力的な資源や場所への周遊性を高めることで、ひいては民間事業者の雇用の創出・所得の向上など、経済のさらなる活性化を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>1. 独自文化のコンテンツを生かした情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遠藤周作及び遠藤文学魅力発信事業 6,912千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展の開催 ・資料検索システム関連経費 ・各種イベントの実施 ○シーボルトと北部九州3県の交流及び魅力発信事業 2,152千円 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催 ・展覧会の実施 ・HPやデジタルスタンプラリー等による情報発信 <p>2. インフォメーションセンターの広報・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○構成資産周遊促進事業 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルスタンプラリーによる情報発信 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本市への訪問客数 (+471万人) ②本市における旅行消費額 (+988億円) ③グラバー園の利用者数 (+80万人) 	関連URL	https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/730000/731000/p028263.html

事業概要【デジタル人材育成事業】

推進当初

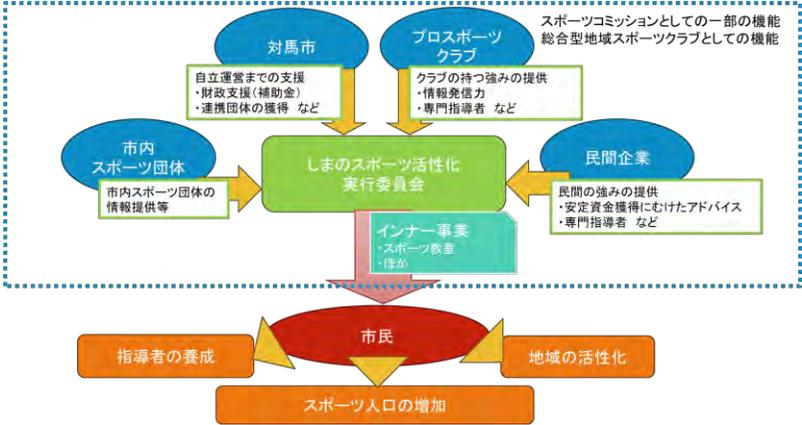
申請者	長崎県佐世保市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,071千円 (3,449千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	市内企業の持続的な成長・新事業展開を図るには、DXの取組みが不可欠。しかしながら、デジタル社会の急速な進展に伴い、全国的にデジタル人材が不足しており、特に本県では、若年層をはじめ生産年齢人口の域外流出が顕著である事情も相まって、人材不足がより深刻な状況にある。こうした状況を受け、官民連携で、地域におけるDX推進の担い手となるデジタル人材の育成・確保を図り、デジタル需要の「地産地消モデル」につなげるもの。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○IT分野へ関心のある市民向けに、基礎的なプログラミング技術を学べる講座を実施する。また、育成したデジタル人材について、市内企業との就職マッチング支援を行い、人材の市内定着を図る。</p> <p>・プログラミング講座等の開催に係る事業運営費（委託料）3,449千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①受講者の市内企業への就職者数 (+21人) ②講座の受講者数 (+90人) ③受講者の満足度 (+240%) ④賛同企業の創出数 (+30社) 	関連URL	<p>(交付金の具体的用途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.sasebo.lg.jp/kikaku/eisak/sougoukeikaku2023.html</p>

申請者	長崎県佐世保市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	33,829千円 (11,155千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船の寄港数と来訪乗客数の受入れ拡大を図る ・国内外クルーズ旅客の誘客拡大を図る ・バスや飛行機などの団体・個人客を含めた旅行客の誘客拡大を図る ・佐世保市周辺都市と連携した周遊観光の推進を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○佐世保港への理解度・認知度向上のための積極的なセールス <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のトップセールス (旅費) 3,062千円 ・トップセールスに伴うサンプル品 (報償費) 72千円 ○クルーズ客船受入岸壁周辺の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なクルーズ船寄港受け入れ準備 (消耗品費) 1,000千円 ○新ターミナルの供用開始を契機とした機運の醸成等 <ul style="list-style-type: none"> ・シートレードクルーズグローバル等での誘致 (消耗品費) 200千円 ・中国における情報発信等 (委託料) 4,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①クルーズ船による乗降人員数 (+1,686,500人) ②クルーズ船の寄港数 (+201回) ③クルーズ船岸壁周辺への一般来訪者数 (+20,000人) ④佐世保発着クルーズ数 (+10回) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.city.sasebo.lg.jp/kikaku/seisak/documents/20231128siryou4-3.pdf</p>

事業概要【あそびパークの魅力再整備による交流人口拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県対馬市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,048千円 (51,687千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・学びと自然のテーマパークとして活用し、対馬ファンの獲得による交流人口の拡大を図る。 ・対馬の価値を高め持続可能な観光振興を促進する。 ・人流によるにぎわいを創出しシビックプライドの醸成を図る。 ・アウトドアツーリズム及びスタディツーリズムの推進による国内外からの誘客促進を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○アウトドアブランドと連携したブランディング戦略の展開及びプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアイベント開催 (委託料) 4,000千円 ・ブランディング戦略推進 (委託料) 3,000千円 ○多目的広場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事費 44,687千円 		多目的広場の再整備 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光客実数 (+55,000人) ②利用者数 (キャンプ施設) (+720人) ③商品開発数 (+8個) ④利用者数 (キャンプ施設以外) (+1,000人) 		関連URL	調整中

申請者	長崎県対馬市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,072千円 (6,424千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がスポーツの持つ魅力を感じ、生活の中でスポーツに親しむことができる環境づくり (「する」「見る」「支える」などの様々なスポーツとの関わり方の普及) ・様々な関係機関が連携し、多様なスポーツ活動の場を創出する (島のスポーツ活動を支えるネットワークの構築) 		
事業概要・ 主な経費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>○専門的なスポーツ指導者招聘による対馬島内3高校の魅力化モデル構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上のための小中学校での普及啓発活動 (委託料) 924千円  <p style="text-align: center;">小学校出前授業の様子</p> <p>○地域スポーツのマネジメント組織 (しまのスポーツ活性化実行委員会) の設立と様々なスポーツイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント組織運営費 (補助金) 960千円 ・イベント開催等経費 (補助金) 4,540千円  <p style="text-align: center;">スポーツ体験イベントの様子</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>○地域スポーツのマネジメント組織 (しまのスポーツ活性化実行委員会) の事業イメージ</p>  </div> </div>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①社会体育施設利用者数の増加率 (+30%) ②社会体育施設利用件数の増加率 (+30%) ③島内中学校卒業生の島内高校への進学率 (+11%) 		
※経費内訳はR6年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			
関連URL	調整中		

事業概要【壱岐市エンゲージメント型共創推進事業】

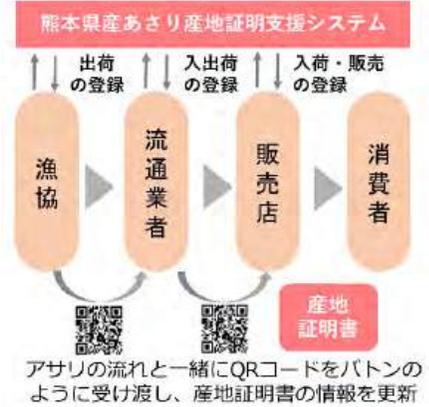
推進当初

申請者	長崎県壱岐市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,000千円 (15,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民エンゲージメント指標の開発と測定分析による政策効果の測定 ・壱岐なみらい研究所における大学・企業等と連携したエンゲージメントに着目した地域創生人材の育成。 ・および地域創生プロジェクトの研究開発・実装による地域課題解決。 ・上記過程におけるエンゲージメントパートナー制度連携企業等の巻き込みによる共創人口の創出。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>【1】エンゲージメント型まちづくり人材育成 地域やまちづくりに対する市民エンゲージメントを測定・分析し、政策や地域活動等のまちづくりの成果の把握。最適化した政策や市民活動を促進するためのアドバイザー業務及び、実行に必要な人材育成に取り組む。</p> <p>①エンゲージメント測定分析等業務<委託料> 5,500千円</p> <p>【2】社会イノベーター人材の育成による地域創生プロジェクトの開発と実装 慶應義塾大学SFC研究所との連携による「壱岐なみらい研究所」を中心に、社会イノベーター人材の育成を図るとともに、地域創生プロジェクトを開発し様々なステークホルダーとの共創によりプロジェクトの社会実装を推進する。</p> <p>①地域創生プロジェクトの研究開発支援業務<委託料> 5,000千円 ②壱岐なみらい研究所運営支援業務<委託料> 3,500千円 ③地域創生プロジェクトの実証業務<委託料> 1,000千円</p>	<p>エンゲージメントに着目した「対話」と「共創」のまちづくり推進</p> <p>市役所の挑戦と能動的なサポート</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①共創人口創出数 (+46人)</p> <p>②地域創生プロジェクト数 (+12件)</p> <p>③市民エンゲージメント上昇率 (+1.5%)</p>	関連URL	https://www.city.iki.nagasaki.jp/index.html

事業概要【森林の恩恵を活かした林業振興プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県西海市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,300千円 (19,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	本市の貴重な地域資源である森林資源（特にヒノキ）を、ドローンレーザー計測など最新技術を導入することで、限られた人員で生産性を高める。また、生産された市内産ヒノキを使用した「タイニーハウス」のデザインコンテストを行い、地材地消による産業活性化のみでなく、移住者の増加や交流人口の拡大など諸課題の一体的な解決を図る。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>①前年度に導入したICTプラットフォームの機能拡充（委託料）1,000千円</p> <p>②最先端技術のドローンによるレーザー計測を活用した森林資源調査及びデータ解析 森林資源量調査データ編集解析（委託料）6,128千円</p> <p>③タイニーハウスを活用した林業・木材産業の活性化 販路拡大マーケティング戦略（委託料）2,872千円 タイニーハウスの建築・整備（工事費他）9,800千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①市内産木材の販売額増加（+3,000千円）</p> <p>②市内観光客の増加（タイニーハウス利用者）（+300人）</p> <p>③タイニーハウスの建築数（+5棟）</p> <p>④森林所有者の森林資源量調査時間の減少（10ha当たり） （▲34.5人日）</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	496,853千円 (124,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うまもと」の実現と地域活性化を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○フードバリューチェーン構築支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選果場等における作業効率化のための人材育成、機能強化につながる機器の再配置・機材導入経費（補助金等）8,000千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の確立や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・運用（負担金）14,292千円 ○輸出における販路拡大 ・事業者への中長期的な伴走型支援（委託料）4,000千円 		 <p>熊本県産あさり産地証明支援システム</p> <p>出荷の登録 → 流通業者 → 販売店 → 消費者</p> <p>↑ 出荷の登録 ↓ ↑ 入荷の登録 ↓ ↑ 入荷・販売の登録 ↓</p> <p>漁協 流通業者 販売店 消費者</p> <p>産地証明書</p> <p>アサリの流れと一緒にQRコードをバトンのように受け渡し、産地証明書の情報を更新</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①事業の実施により、フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合 (+86.1%) ②熊本県産あさり販売協力店舗数 (+1,745店舗) ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数 (+37件) ④プリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設 (+4件) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html</p>

事業概要【地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,758千円 (55,418千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<p>コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等が丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC (台湾) の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。</p>			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源のリブランディング <ul style="list-style-type: none"> ・不知火海の魅力発信 (委託料) 19,000千円 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・受入検討会、学校意識調査、マッチング対応等 (委託料) 8,500千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング、情報発信、現地旅行会社セールス等 (委託料) 15,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①熊本県の外国人延べ宿泊者数 (+ 342,000人) ②熊本県の教育旅行宿泊者数 (+ 43,500人) ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数 (+ 120事業) ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数 (+ 200,000回) 		関連 URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html	

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	479,449千円 (129,530千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○県立高校の半導体関連人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等）32,376千円 <p>○公共交通利用促進に係る取組み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進に取り組む企業等への支援（補助金）2,000千円 <p>○国際的な教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターナショナルスクールの整備促進（補助金）85,359千円 		 <p>半導体関連人材育成</p>  <p>インターナショナルスクール</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数 (+21,100人) ②インターナショナルスクールの児童生徒数 (+65人) ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数 (1日あたり/年平均) (+950人) ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数 (+1者) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html</p>

事業概要【花とみどりの魅力ある「森の都」再生プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	317,400千円 (73,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>緑を感じる都市空間の形成や更なる賑わい創出、市民一人ひとりの緑化活動の向上等を図り、魅力ある「森の都くまもと」ブランドの再生を実現することで、花や緑を通じた中心市街地の活性化と回遊性の向上による交流人口の拡大や、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進し、ひいては将来的な移住・定住の促進に繋げる。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>※実行委員会方式による実施のため全て委託料</p> <p>○都市空間緑化創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 花や緑を活用し、潤いと癒し、緑の豊かさを創出し魅力ある「森の都」を演出する。また、併せて、緑化の取組の紹介など広報活動も積極的に行い、市民の緑化意識を継続的に維持・高揚させていく。41,400千円 <p>○花や緑の体験に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある花や緑を知って学び、遊んで親しむ体験を通して、自然（資源）のあり方や利活用を考え、身近にある自然との新たな向き合い方を発見する事業を実施する。18,000千円 <p>○ステークホルダー育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民（ボランティア等）協働の修景花壇設置や、緑に関する講習会等の参加機会を提供することで、緑の大切さや緑化に関する知識の普及、既存ステークホルダーの意欲向上や、森の都を築く新たな担い手の育成を図る。14,000千円 		
KPI	<p>①中心市街地における1日当り本イベント最大参加総人数/休日（ボランティア・市民団体キャスト含む）（+44,765人）</p> <p>②花と緑に関連する熊本市全体のボランティア団体数や市民団体数（+25団体）</p> <p>③中心市街地における緑視率の割合（+7.15%）</p> <p>④スポンサー花壇における協賛企業数（+10社）</p>	<p>中心市街地の活性化 回遊性の向上による交流 人口の拡大</p> <p>地域の魅力や特性を 生かした まちづくりの推進</p> <p>将来的な移住・定住の促進</p>	<p>関連 URL</p> <p>熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkij/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969</p>

事業概要【民間活力を活用した健康づくり（介護予防）事業】

推進当初

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	95,000千円 (29,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>・誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができるまちの実現のためには、早期の健康づくりや介護予防の取組の推進による健康寿命の延伸が急務であり、健康志向の低い市民にも訴求し健康リテラシーの向上を図る。</p> <p>・誰でも気軽に、自主的に健康づくりや介護予防に取り組むことができる持続可能な環境を構築することで、誰もが生きがいを持って自分らしく健やかに暮らすことができるまちの実現を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○民間活力を活用した市主催の介護予防教室の実施</p> <p>○プログラム終了後の活動継続の支援</p> <p>○データの活用</p> <p>委託料総額29,000千円</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施費用（運営費、広報費、システム使用料、管理費）26,000千円 ・成果連動型支払額3,000千円 		 
KPI	<p>①厚生労働大臣が定める「基本チェックリスト」の改善（運動機能に関する質問項目5項目のうち、3項目以上の該当者が、2項目以下となる）（70%の改善率）（+75%）</p> <p>②運動習慣がない者のうち、運動習慣を持つようになった者の割合（+65%）</p> <p>③プログラム参加者の参加率（+75%）</p>		<p>関連URL</p> <p>熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&typ_e=top&id=24969</p>

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【八代の儲かるアサリ漁業のV字回復に向けた産学官連携プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和5年度第2回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,037千円 (15,290千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心とした世代が、暮らし、働き、子育てできる地域を創出する。 ・スマート技術を活用した水産業の推進とブランド確立を図る。 ・漁業就業者の収益の安定化と後継者不足の解消を図る。 ・定住人口や関係人口の拡大に貢献する地域社会の構築を図る。 			
事業概要・ 主な経費	<p>○漁業収益の確保プロジェクト実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂下式育成の実証試験及び適地診断に向けた環境データ収集 (委託料) 5,564千円 ・産地別アサリの特性の明確化 (委託料) 2,153千円 ・八代産アサリのプロモーション (委託料) 3,300千円 ・ブランド化に向けた試験販売 (委託料) 1,375千円 <p>○漁獲量の拡大プロジェクト実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲作業の省力化実証 (委託料) 1,482千円 <p>○協議会等の運営・支援委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議4回 (委託料) 849千円 ・協議録作成・報告 (委託料) 567千円 		<p>垂下式育成の実証</p>	
KPI	<p>①アサリ関連の売上額 (+9,340千円)</p> <p>②アサリの平均単価 (+500円/kg)</p> <p>③アサリの漁獲量 (+5,900kg)</p>		<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	
	関連URL	https://www.city.yatsushiro.lg.jp/		

事業概要【サーキュラーアイランドプロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県上天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,503千円 (8,102千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産品の生産、消費・販売、食品残渣の肥料化と循環の仕組みを構築し、受入環境整備の充実を図る ・受入環境整備を充実させることにより、観光振興による関係人口の創出及び移住促進を図る ・加工品の開発、販売拡大に取り組むことで収益拡大につながり、一次産業の振興を図る ・市民のまちづくりへの参画意識を醸成し、郷土愛が醸成されることにより定住促進を図る 			
事業概要・ 主な経費	<p>○上天草市SDGs未来都市計画に沿って、全島的な取組であるブルーカーボン事業を絡めて、小さな拠点として整備し、湯島島内で循環する特有の仕組みについて構築するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状調査に係る経費 220千円 ・ワークショップ等を通じた啓発事業 1,650千円 ・廃材や端材活用の取組 1,087千円 ・島と農水産品のブランド化 990千円 ・アマモ場造成体験機会の創出 440千円 ・令和7年度に横展開する地域の選定 339千円 ・営業管理費 483千円 <p>○ブルーカーボンオフセットに関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業 (委託料) 2,100千円 ・市内団体への支援事業 (補助金) 600千円 ・生命の海プロジェクトバス借上げ料 193千円 		<p>上天草サーキュラーアイランドプロジェクト3か年計画ロードマップ</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①上天草高校生の就職者のうち地元就職者数 (+30人) ②市内で排出される家庭ごみ (可燃ごみ) の一人当たりの削減量 (+14.85g) ③Jブルークレジットへの申請プロジェクトの件数 (+6件) 		関連URL	令和6年6月公開予定

事業概要【天草市デジタルアートの島創造事業】

推進当初

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,645千円 (21,991千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	若者の流出抑制対策として、若者に人気で、雇用人数も見込める成長産業のゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ産業の創出に取り組み、同産業が地場産業として根付くことによる人材の定着と、外貨を稼ぐことで地域経済循環率の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ制作会社の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの制作、フォームマーケティング及びWEB面談、SNS広告の実施によるPR活動 (委託料) 1,891千円 <p>○ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の啓蒙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成講座の実施、普及啓発に係るイベントの実施 (委託料) 5,000千円 <p>○デジタルコンテンツ産業人材獲得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイター誘致用パンフ、特設WEBサイトの制作、CGワールド等での広告、SNS広告、コンテンツ東京への出展PR活動 (委託料) 3,000千円 <p>○事業推進組織としてCG・デザイン制作会社を官民共同により設立、運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人デジタルアート天草の運営費 (委託料) 12,100千円 		 <p>私が帰る、 天草を変える。</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①コンテンツ産業の市内の雇用者数 (+15人)</p> <p>②コンテンツ産業の進出企業数 (+4社)</p> <p>③クリエイター育成講座への参加者数 (+90人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html</p>

事業概要【林業 6 次産業化推進事業】

推進当初

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	92,222千円 (26,137千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	森林資源の利活用に伴う他産業（農水産業）との連携波及を目指し、林業を中心とした次の取り組みを行い、本市の総合戦略で掲げている“天草を支える産業の発展と安定した雇用の創出”と“市民が誇りを持ち、安心して暮らせるまちづくり”を実現し未来に残すことで市内の人口増加・維持を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域商社設立準備業務 ・地域商社の機能、構築要件の整理、地域商社の設立調査準備（委託料）9,490千円 ○市有林の活用方法検討 ・市有林を使い林業従事希望者向けの教育プログラムや木育プログラム等の試験運用等（委託料）6,000千円 ○農・水産業との連携検討 ・関係者へのヒアリングによる実態把握調査（委託料）1,000千円 ○森林信託実現可能性調査 ・市有林の信託化とJ-クレジット発行の実現可能性を調査（委託料）6,000千円 ○林業 6 次産業化検討委員会運營業務 ・林業 6 次産業化事業の進捗管理、事業の方向性の検討（委託料）900千円 ○各教育プログラムを行うアウトドアパーク整備計画の作成 ・アウトドアパークの整備に向けて、場所の選定や設計（委託料）2,747千円 	 <p>内装の木質化による木材需要の拡大</p>  <p>市有林の開放による 担い手育成支援</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①本交付金事業実施に伴う新規の施業対象山林面積（+180ha） ②地域の森林資源を利用した教育・木育プログラムへの参加人数（+40人） ③本交付金事業実施に伴う新規林業就業者数（副業含む）（+6人） ④本交付金事業実施に伴う市産材の搬出量（+700m³） 	関連 URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html

事業概要【コンパクトSDGsスタディプログラムプロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県錦町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,204千円 (16,302千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	観光拠点施設である錦町立人吉海軍航空基地資料館を核に、SDGsをテーマに町内の周辺企業と連携を図り、学習プログラムを策定し、教育旅行商品として販売する。教育旅行や社会科見学を受け入れることで、観光入込客数の増加、町全体への回遊、観光消費額を増加させ、地域における新たな「しごと」を創出し、人口減少を抑制する「まち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> SDGsを核とした新たな教育旅行プログラム開発 ・学習プログラムロードマップの策定、有識者による監修、動画シナリオの制作 5,192千円 選ばれる教育旅行コンテンツ事業 ・旅行事業者及び教育関係者への営業、意見交換、交渉 2,574千円 高付加価値ガイド強化事業 ・ガイドテキスト制作、ガイド育成講習会の開催 1,738千円 DXを用いたエリアマーケティングによる認知促進事業 ・SNS広告及び効果検証 6,798千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 修学旅行及び社会科見学の催行数 (+72校) ② 学習プログラム数 (+4個) ③ 町内観光消費額 (+3,078千円) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp/</p>

事業概要【大分県農業構造改革・成長産業化事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,474千円 (161,299千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織等の収益構造の改革や大規模経営体による連携統合を支援して、持続可能な中山間地農業の確立を図る ・産地と食品企業が連携する取組を支援して、加工業務用産地の拡大を図る ・販売戦略の再構築とブランディングを伴う販売促進を支援して、大分県の推進する園芸品目の消費拡大を図る ・おおいた和牛の流通拡大や認知度向上を推進し、おおいた和牛の消費拡大を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○中山間地営農における人材確保や園芸品目等への転換、組織間の連携・統合などを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント人材及びオペレーターの確保 (補助金) 30,639千円 ・園芸品目導入のリスク軽減 (補助金) 12,000千円 ・条件不利農地の粗放的管理実証 (補助金) 500千円 ・機械・施設整備 (補助金) 54,000千円 <p>○農業における外国人材の受入れ・定着に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業環境整備・初期費用支援 (補助金) 4,500千円 <p>○企業のニーズに対する産地の品目導入や栽培面積拡大を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術研鑽に向けた研修会開催 (報償費、旅費) 107千円 ・トライアル試験ほ設置支援 (報償費、旅費等) 1,353千円 ・新たな栽培及び機械化体系実証支援 (補助金) 11,000千円 ・機械等導入支援 (補助金) 12,000千円 <p>○大分県の推進する園芸品目の戦略的な販売促進活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売促進対策支援 (補助金) 25,000千円 <p>○おおいた和牛キャンペーンの実施等によるPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン実施等経費 (委託料) 10,200千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>産地の合理化</p> <p>地域の農業維持・経営安定対策</p> <p>外国人材受入強化対策</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>収益構造改革</p> <p>加工・業務用産地拡大対策</p> </div> </div> <p>ブランディングによる県内農畜産物の付加価値向上</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>園芸品目の販売促進対策</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>おおいた和牛の流通拡大・認知度向上対策</p> </div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①経営多角化した法人数 (+12組織) ②加工業務用農産物栽培面積 (+72ha) ③おおいた和牛取扱い店舗数 (+45店舗) 	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【「え？」が「お！」につながるDX推進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	436,845千円 (75,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者がDXによる生産性向上や付加価値向上を図るための支援や環境整備を行う。 ・中小企業のデータ活用を伴走支援し経営の高度化を後押しするとともに支援者の育成を行う。 ・自治体の持つ防災や文化財などのデータを活用したユースケース創出を図る。 ・次世代人材やデジタルデバイド対策のための支援員の育成などDXに必要な人材育成を行う。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○県内中小企業のデータ経営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走指導による支援者育成 (委託料) 13,332千円 ・企業向け交流会等の開催や事例集作成 (委託料) 6,130千円 ・モデル事例等の情報発信 (委託料) 3,453千円 <p>○DXを支えるデータ利活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財のデータ化及び展示会等の開催 (委託料) 31,998千円 ・防災データ等を活用したユースケース創出 (委託料) 9,960千円 ・オープンデータの普及啓発等 (委託料等) 2,990千円 <p>○DXを支える人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生などの次世代人材の育成 (委託料) 5,014千円 ・支援員の育成によるデジタルデバイド対策等 (委託料等) 2,575千円 	<p>大分県DX推進戦略 (R4年3月策定) に基づき実施 (以下は大分県のDX体系図)</p> 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ① 県内事業者へ横展開したDXモデル事例数 (+30件) ② DXに取り組むことを宣言する県内事業者数 (+60件) ③ データ利活用により創出されたサービス件数 (+6件) 	関連URL	<p>(大分県のDX推進戦略)</p> <p>https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html</p>

事業概要【働くに着目した大分県移住定住促進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	284,269千円 (107,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏からの移住者を確保するため、仕事や収入の面でのニーズに応えられる環境を整備する ・「転職なき移住」の推進のため、企業との連携およびその従業員との交流促進を行う ・若年女性等の流出に対して、どのようなキャリアを実現できるのかといった、給与だけではない価値を提供する ・移住前のフォロー体制の整備を行うことで、移住に向けての疑問や不安を解消し、移住実現を後押しする 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1. 企業との連携による転職なき移住の推進 モニターツアー等を通じた企業との接点作り(委託料等10,140千円) 転職なき移住の実現に向けた情報発信(委託料等17,399千円) 移住前のフォロー体制の整備(委託料等54,649千円)</p> <p>2. 若年女性の移住転職支援 (1)短編動画、LP作成による広告実施経費(委託料3,250千円) (2)キャリアアドバイザーによる伴走型支援経費(委託料等10,941千円) (3)転職イベントへの出展等イベント開催にかかる経費(委託料3,805千円)</p> <p>3. 中小企業の情報発信力の強化 (1)セミナー開催、フォローアップ及び情報発信経費(委託料7,696千円)</p>		<p>企業との連携による 転職なき移住の推進</p> <p>若年女性の移住転職支援</p> <p>モニターツアーの実施</p> <p>情報発信の強化</p> <p>フォロー体制の整備</p> <p>転職なき移住 の推進</p> <p>若年者雇用 の創出</p> <p>～県外からの移住促進～</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業を通じたおおいた暮らし倶楽部への登録者数 (+80人) ②県外向け情報発信ウェブサイト閲覧数 (+1,800,000pv) ③転職なき移住が可能な企業の相談件数 (+29件) ④キャリアアドバイザーへの相談件数 (+170件) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html</p>

事業概要【リスキングによるおおいものづくり産業デジタル人材創出支援事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,670千円 (108,699千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業へのリスキングによる技術人材の育成と、多様な人材確保および人材配置の最適化を図る SaaSツール導入支援などデジタル人材の育成と、デジタルツールの活用による事業者の課題解決を図る AIに関する知識の取得からAIプロジェクト創出までの一貫支援と、AIに携わるプレイヤー育成を図る 高い専門知識と経験に基づく副業人材 (外部人材) との共創による、官民共同事業の設計を図る 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①人材育成した事業者数 (+560社) ②県内外、異分野企業との連携・提携件数 (+60件) ③先端技術新規プロジェクト創出件数 (+30件) 		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10111/

事業概要【若手起業家育成事業】

推進当初

申請者	大分県大分市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,493千円 (69,407千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	若者 (おおそ29歳以下) をターゲットに、本市での創業支援をワンストップで行うとともに、近隣にある大学等と連携し、戦略的に事業展開をすることで、起業を通じて稼ぐ力を養い、市外への人口流出を抑えると同時に、新たな雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○29歳以下の若者を対象とした、起業に必要な知識の習得や起業を身近に感じてもらうためのセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営・運営費：1,568千円 ・講師報酬及び招聘旅費：935千円 <p>○大分都市広域圏に居住または通学する学生を対象としたビジネスプランコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査員報酬・交通費：594千円 ・会場設営・運営費：407千円 ・ブラッシュアップ講座開催費：501千円 <p>○起業を志す若者が同世代での情報交換や、経営者や投資家とのマッチングができる場として『若手起業家育成施設』を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物件賃貸初期費用：4,941千円 ・物件家賃：11,220千円 ・カフェ運営費：11,770千円 ・講師・専門家派遣費：792千円 ・自主事業費 (ピッチイベント等)：2,640千円 ・設計・デザイン・内装工事費：25,520千円 <p>○専門的アドバイザーの事業コーディネート業務委託：286千円</p> <p>○その他 (広告宣伝費等)：8,233千円</p>	 <p>起業セミナー ビジネスプランコンテスト 若手起業家育成施設</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①市内創業支援機関等の支援による若年層の創業割合 (+0.9%)</p> <p>②若年層の創業相談件数 (+30件)</p> <p>③若手起業家育成施設の利用者数 (+3,700人)</p>	関連URL	https://www.city.oita.oita.jp/o011/shi-sejoho/kekakuzaise/gyokaku20231129.html

事業概要【別府の食～給食×農業×観光～高付加価値化推進事業】

推進当初

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,923千円 (17,190千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくために重要な要素である食の大切さや食の作り手への感謝の心を育み、子どもたちの心身の健全な発達を推進する 別府の子どもたちへ安全で安心な日本一おいしい給食を提供するため、新鮮で四季折々の変化や色彩、匂などが感じられる別府産の身近な食材を活用した地産地消や有機化を推進し、学校給食に本市独自の価値を付加し、他地域にない子どもを育む環境を整備する 学校給食の高付加価値化への取組が、確実な農業生産に対する需要と高単価の有機野菜の導入により、生産者へ安定した収益の確保を生み、農業振興につなげるとともに、観光産業・飲食業への高付加価値食材の提供により、別府の食のブランドを確立し、別府観光に新たな地域資源を創造する 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○農業高付加価値推進事業 別府産の食材を活用した新商品の販路開拓に向け、発信するため試食・マッチングイベントの開催経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚田地域振興協議会負担金 5,890千円 <p>○有機農業推進事業 農産物の高付加価値化のため、有機野菜などの環境にやさしい農業の研究に取り組む農業者に対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい農業研究支援事業補助金 5,000千円 <p>○別府の農産物を活用した学校給食による地産地消推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食協力農家謝礼金 5,000千円 ・地元野菜利用推進事業補助金 1,300千円 		<pre> graph TD A[農家] --> B[高付加価値食材の提供] B --> C[学校給食] A --> D[「食×観光」プラットフォーム商品取引の場だけでなく、情報交換や議論の場としても活用。双方の持つモノやアイデアを持ち寄り、新商品開発に結び付け] D --> E[宿泊・飲食事業者] D --> F[■新商品開発 (例)・地元産品を活用した新メニュー ・地元産品の新しいお土産・加工品 ・新しい農業体験型宿泊プラン など] F --> C F --> G[■新商品お披露目イベント実施 ・新メニューお披露目会など ・新体験プラン(収穫体験等)を絡めたイベントなど] </pre>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業の担い手の確保数 (+5人) ②学校給食児童生徒1人あたりの1日の残菜量 (▲20.0g/1日・人) ③観光消費額 (+8,656百万円) ④農林水産物の特産品化数 (+3件) 		関連URL	https://www.city.beppu.oita.jp/

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	264,253千円 (112,837千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>・温泉効果に対する検証で得たデータを科学的根拠として活用し、観光客・市民に対して、「医療・美容・健康」に特化した新たな価値を付加し、特別なことが別府でできるという「コト」を主眼とした「古く新しい観光のかたち (新湯治・ウェルネスツーリズム)」を推進していく</p> <p>・働き方改革の進展による休暇の多様化や回復が見込まれるインバウンドのニーズに応えることにより、新たな観光客 (ウェルネストラバラー) の取り込みや長期滞在旅行の促進、リピーターの獲得を図っていく</p> <p>・従来型の別府観光に新たな価値を付加して、市内事業者への経済波及効果を生み出す新たな「エコシステム」を構築し、稼ぐ力の向上やブランド力の創造により、市民の幸福 (Well-being) を追求する</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>[1] 「医療・美容・健康」プログラム事業 59,107千円 (1) 健幸のまちべっぷ事業 48,728千円</p> <p>①民間企業とのコラボレーション企画として健康データを取得・分析し、結果を見える化した健康プログラム組成・実施</p> <p>②健康プログラムに沿って市内全域で健康教室・体操など地域通いの場の提供</p> <p>(2) リゾート産後ケア事業 10,379千円 産後うつ防止や育児不安や疲労の解消のため、温泉×リゾートによる高級志向の産後ケアを提案し、誘客を図る。</p> <p>[2] 新湯治・ウェルネス別府発信事業 15,000千円 (1) ウェルネスプロモーション・情報発信事業 15,000千円 公民連携によるウェルネスツーリズムのプロモーション、関連イベント企画費など</p>		<p>研究・実践拠点をコアとして、市内事業者のポテンシャルを活かした連携により別府全体で取り組む「新たな価値の創造」</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光消費額 (+5,194百万円)</p> <p>②平均宿泊者数 (+0.04日1人)</p> <p>③別府市観光ウェブサイトアクセス数 (+264,716PV)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/kakusyukeikaku/chiikisais ei.html</p>

事業概要【中津市人材リテンションプログラム】

推進当初

申請者	大分県中津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,876千円 (9,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	市内企業・産業の人手不足の解消、若者の地元就職の促進 ・低年齢層からの市内産業・企業の魅力発信事業 ・魅力発信事業や若者目線を踏まえた就職イベント等の実施・PR ・デジタル技術を活用した都市部、遠隔地へのアプローチ		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○低年齢層（及び保護者）に向けた市内産業・企業の魅力発信事業 ・小学生ものづくり体験授業（消耗品費、印刷製本費） 1,000千円 ・子どもたちの地域の職人技術体験（負担金） 1,000千円 ・サイエンスフェスタ（講師報償費、消耗品費） 87千円 ○企業合同就職説明会 ・広報チラシ等作成費 735千円 ・会場送迎バス借上料及び運転委託料 772千円 ・ブース設営委託料 1,635千円 ○人材マッチング事業 ・中津市人材バンク事業（委託料） 3,322千円 ・「中津市企業情報提供サイト」などを活用した企業魅力の発信（委託料） 473千円		 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①市の取組みによる市内企業への新規就職者数（+27人） ②企業PR動画再生数（動画投稿サイト等累計）及び企業情報提供サイト閲覧件数（+32,000回）	関連URL	(効果検証) https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

申請者	大分県竹田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,918千円 (10,222千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	1) 地域の情報発信を支援 (地域情報デジタル化支援) 2) 地域コミュニティの基盤強化を図る 3) 企業の求人情報の明確化、マッチングによる人材の確保を図る 4) インターンシップをする中で、地域・企業・行政の連携を図る 5) 三位一体 (行政・地域・企業) による移住施策の展開を図る		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1) <委託料> 2,248千円 ■ 地域コミュニティホームページ制作ツール導入 他 2) <補助金> 600千円 <委託料>3,166千円 ■ 移住受入地域の環境整備 ■ 地域コミュニティのデジタル化・デジタル人材育成及び地域運営組織形成支援他 3) <委託料>3,328千円 ■ 企業情報の掲載 4) <委託料>2,008千円 ■ 社会人インターンシップの実施他 5) <委託料> 880千円 ■ 新たな求人サイトに本市の特設サイトを開設		 <p>たけたでつくる、暮らしの根っこ。 build a life</p> <p><small>はじめまして、「+build. (プラスビルド)」は、大分県竹田市への移住を考えている方に向けたWEBメディアです。buildにはコソコソと盛り上げていくというニュアンスが含まれています。移住は一日にしてならず。あなたの移住のカギを私たちがコソコソサポートします。</small></p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①竹田市の施策による移住した世帯 (+134世帯) ②社会人インターンシップに参加し移住した世帯数 (+20世帯) ③「ふるさと求人マッチングサイト」に登録した民間事業者数 (+26件) ④地域コミュニティ基盤強化取組件数 (+14件)	関連URL	https://www.city.taketa.oita.jp/so-shiki/kikakujuhoka/chihouseusei/4410.html https://taketa-iju.com/

事業概要【「地域ぐるみ」で効果的な認知症予防推進事業】

推進当初

申請者	大分県豊後高田市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,585千円 (3,781千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、認知症予防を効果的に持続的に実施する。 ・閉じこもり・孤立を防ぎ、平時から見守りあう支援体制を構築する。 ・地域資源の活性化、地域コミュニティの活性化を図る。 ・壮年期からの認知症予防、生活習慣病予防に寄与。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○脳もからだも生き生き元気事業 認知機能低下の該当が多い地区においてデジタルツールを活用した認知症予防教室を開催 (8回シリーズ) <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールの使用料等806千円 ・運動推進員、管理栄養士等の謝礼、委託料 293千円 ○運動推進員の養成・派遣事業 運動推進員の養成講座、運動推進員の地域への派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士等の謝礼、運動推進員の派遣料 2,430千円 ○脳のはたらきチェック&相談会 働き世代の特定健診、がん検診受診者へ、デジタルツールを活用した脳のはたらきチェック&相談会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツール使用料等252千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①脳もからだも生き生き元気事業参加者数 (+50人) ②MCI (軽度認知障害) を知っている方の割合 (+15%) ③教室参加者のうち、MPIスコア50.2以上の方の割合 (+17%) 		関連URL https://www.city.bungotakada.oit.jp/soshiki/4/2189.html	

事業概要【地域商社で生み出す地産都消によるウェルビーイング】

推進当初

申請者	大分県宇佐市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,554千円 (27,949千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社の設立による地域資源の逸品化による「地産都消」を目標に稼げる地域の創出を図る。 ・1次産業事業者の所得の向上とU I Jターンを含めた担い手の確保し、「持続可能で強い産業」の実現。 ・地域に足を運ばないと味わえない逸品も開発し、観光や製造業等他産業との連携による「外貨の獲得」。 ・「地域経済の好循環化」により、雇用の確保と人口減少に歯止めをかけ誰もがウェルビーイングのまちを目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域商社が行う販路開拓、販売拠点の運営・獲得、オリジナル商品の販売、ふるさと納税関係の出品やスキル構築 (委託料) 19,015千円</p> <p>○ブランド認証品へチャレンジするスタートアップ支援や生産性の拡充や売上実績向上者への支援 (補助金) 2,000千円</p> <p>○ブランド認証事業者のPRや販路拡大に係る支援 (委託料) 2,630千円</p> <p>○世界農業遺産を活用した地域資源、観光開発などのソフト事業の取組支援 (補助金) 600千円 etc</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①ふるさと納税の寄付額 (+30億円) ②地域商社が関わったふるさと納税の返礼品商品開発数 (+17品) ③地域商社設立後の市のブランド認証品の売上額 (+7,000万円) 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【宇宙ビジネスを活用した米ブランド化事業】

推進当初

申請者	大分県玖珠町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,788千円 (26,913千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星データを活用した農業を行うことで、米生産の効率化、省力化、米のブランド化（宇宙米（仮称））し、農業所得の向上を図る。 ・後継者や担い手の確保を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○宇宙に着目した米づくりを行うことで、他の生産地との差別化を図り、米の販売額の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙関連事業の伴走支援コンサル（委託料） 8,580千円 ・水稲の生育分析業務（委託料） 3,850千円 ・ブランド実態調査（委託料） 3,850千円 ・販路開拓PR費用（委託料） 4,000千円 ・宇宙米コンサルティング（委託料） 6,600千円 ・ブランド米検査費用 33千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①農業経営体数（+16経営体） ②基幹的農業従事者数（20～39歳）の人数（+13人） ③米価格（玄米30kg）（+30,800円/30kg） ④宇宙関連事業における新規起業者数（+4起業者） 	関連URL	https://www.town.kusu.oita.jp/c/hoseijoho/machinoseisaku/4/2/2298.html

事業概要【宮崎県産業人財育成プラットフォーム連携強化事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,750千円 (14,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	産業人財育成プラットフォームについて、従来の県及び事務局の宮崎大学が牽引する体制から、各構成機関が主体的に各プロジェクトへ参画する体制への転換を図るとともに、オールみやざきで、地域を支える産業人財の育成・確保・定着に取り組み、本県産業の発展による地方創生を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○産業人財育成・確保コーディネート事業 プラットフォーム構成機関の課題や役割を整理し、各種事業の連携強化を図るとともに、構成機関が行う研修を体系的に分類して、専用HPに一元化する。</p> <p>【主な経費】WEBサイト作成費、意見交換等に要する経費等 (補助金) 8,000千円</p> <p>○若者の県内進学・就職・定着プロジェクト 県内高校生・大学生等が、就職の前段階として県内企業と気軽に意見交換できる機会を設けて相互理解を図るとともに、県内企業に対して質の高いインターンシップの実施等を支援する。</p> <p>【主な経費】講師謝金、会場使用料等 (補助金) 6,000千円</p>		  <p>〈企業向けインターンシップ セミナーの様子〉</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県内高等教育機関卒業者の県内就職率 (+3.20%)</p> <p>②本事業参加学生の県内企業等就職者数 (+90人)</p> <p>③本事業を通してインターンシップを実施した企業等の数 (+75社)</p> <p>④県内企業・団体等と意見交換した延べ回数 (+300回)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html</p>

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	138,111千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>中山間地域への人材還流を目指し、現金収入化が進めやすく参入障壁が低い造林作業や特用林産業への就業に繋げるための短期・中期のインターンシップ事業等を推進するとともに、効率的な森林経営や企業経営を進めるために必要な森林資源情報のデジタル化や原木流通のデジタル化の推進に資する事業に取り組む。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>① 人材還流のきっかけとなる造林作業・特用林産業への短期・中期インターンシップ事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実施 (委託料) 19,000千円 <p>② 市町村や森林組合等、森林資源に関するステークホルダーが活用できる森林クラウドシステムの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計、データ移行等 (委託料) 15,000千円 <p>③ 原木流通情報のデジタル化及び情報ネットワークモデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム及びアプリ構築 (補助金) 6,000千円 <p>④ 森林産業のデジタル化を担う企業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成プログラムの作成・実証 (委託料) 10,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>① 新規林業就業者 (+450人)</p> <p>② 森林クラウドシステム等を使用する市町村の数 (+34市町村等)</p> <p>③ デジタル化に取り組む原木市場数 (+8箇所)</p>	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html

事業概要【持続可能な農漁村の実現に向けた資源・経済循環構造転換推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	383,199千円 (134,769千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	本県の基幹産業である農水産業において、「人材の確保」、「デジタル化による生産性の向上及び働き方改革」、「地域資源の循環」の取組を一体的に推進することにより、農水産業が、本県への移住者や女性・高齢者等多様な人材にとって、安心して働き・活躍することができる受け皿となるとともに、資源・経済循環構造への転換を図ることで、持続可能な農漁村の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○新規就農者確保の取組 ・施設整備、技術修得支援（補助金）17,134千円 ・H P の制作、事業承継支援等（委託料）15,000千円 ○農業における雇用人材確保の取組 ・デジタルマッチング導入や働きやすい環境づくり等支援（補助金）6,800千円 ○農業における外国人材確保の取組 ・外国人コンシェルジュ設置や受入体制整備等支援（補助金）4,090千円 ・外国人受入れに受けた研修会開催（報償費等）242千円 ○漁業における新規就業者確保の取組 ・漁業技術支援アプリの機能強化（委託費）11,000千円 ・産直EC開発費用等支援（補助金）6,648千円 ・産直 E C 研修会開催（報償費等）244千円 ○加工・業務用野菜、施設野菜の生産体制強化の取組 ・デジタルツール開発等の取組（委託費）51,994千円 ・デジタルツールを活用した受委託仕組みづくり支援（補助金）2,500千円 ○堆肥の利用拡大促進の取組 ・堆肥のマッチング体制構築等（委託費）3,200千円 ○地域資源の利活用促進の取組 ・地域資源を活用したモデル創出のための仕組みづくり（委託費）15,917千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①新規就業者数（+1,680人） ②農業法人における多様な雇用人材数（+2,705人） ③デジタル化により生産性向上に取り組む産地数（+6産地） ④地域資源の活用モデル数（+4事例）</p>	関連URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/sesaku/chiho/index.html

事業概要【「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	840,134千円 (145,492千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・「空飛ぶクルマ」を医師搬送または救急搬送などに活用し、既存の救急車やドクターカー、ドクターヘリなどの救急モビリティと連携し、最適な搬送経路により、迅速な医療措置につなげ、助かる命を増やすことを目指すとともに、防災分野においても、災害時の物資や人の輸送で活用するなど、防災対応力を強化する。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○「助かる命を増やす」ためのさらなる新技術実装によるQaaSシステム高度化事業 (56,314千円)</p> <p>○「空飛ぶクルマ」医療・防災利用促進事業 (40,447千円)</p> <p>○「空飛ぶクルマにおける」G I Sクラウドシステム活用事業 (48,731千円)</p>	<p>(写真はイメージになります)</p> 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①社会動態の減少数抑制 (+100人)</p> <p>②安心感が高まったと回答した市民の割合 (+80%)</p> <p>③救命救急時における医療体制への負荷軽減が改善した割合 (+100%)</p> <p>④救命救急医療現場の取組に共感し、研修を希望する研修医等・医学生の受け入れ人数 (+14人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html</p>

事業概要【市民の行動変容を促す新時代ヘルスケア推進事業】

推進当初

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	311,300千円 (129,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	デジタル技術などの活用などにより、健康無関心層・低関心層も巻き込んで、高齢化社会への積極的な予防策を構築する。社会参加や健康づくり活動の増加を通して地域コミュニティを活性化させ、地域内の消費活動の活発化による地域経済の活性化を実現させる。そして、市民の健康寿命の延伸や社会参加の促進など市民のウェルビーイングを高めることで、住み続けたいまちであると考えてもらうことで人口動態の減少の抑制をめざす。		
事業概要・ 主な経費	<p>○アプリの登録促進とイベントの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web広告等の展開 (委託料) 1,100千円 <p>○健康リスクの把握による行動変容の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの構築・データ連携の整理および疾病等のリスクの予測AIの開発 (委託料) 127,900千円 	 <p>のべおか健康マイレージアプリを通してイベント等を活性化</p> <p>PHRアプリを通して健康リスクを把握</p>	
KPI	<p>①人口動態 (住民基本台帳) における社会動態の減少数の抑制 (+60人)</p> <p>②イベントの参加者数および公民館等利用者数 (+8,004人)</p> <p>③のべおか健康マイレージアプリの付与ポイント数 (+900万ポイント)</p> <p>④要介護認定率 (年齢調整後) (▲0.90%)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html</p>

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「自然といのちを大切に作る地域づくり」による移住・交流人口増促進事業】

推進当初

申請者	宮崎県延岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	224,089千円 (85,886千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成事業「里山塾」を実施し、動植物の生態系と人間の営みとの調和を図る地域づくりを行う。 ・デジタル技術等を活用した、鳥獣捕獲の効率化や鳥獣を寄せ付けない取組みにより、作物被害の減少を図る。 ・「里山塾」の中で、狩猟講習会やワナ設置研修会等を実施し、狩猟者の育成、確保を図る。 ・ロボットを活用して、農業経験のない移住者でも、農業に取り組むことのできる環境を整備し、支援を行う。 			
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣害対策 ・ゾーニング調査及び罠設置、講演会指導等 (委託料) 11,000千円 ・機材の設置作業及び検証 (委託料) 25,674千円 ・鳥獣出没・捕獲マップ作成 (委託料) 1,639千円 ※ハード事業 対策機器開発及び整備、検証 11,471千円 ○「里山塾」の開催、生態系学習及び技術伝承 ・講習・体験・罠仕掛け実践 (講師謝金、旅費、需用費) 2,546千円 ・罠かけ名人技術の形式知化 (委託料) 5,500千円 ○ロボットを活用した稲作支援の実証、操作指導 ・研修会開催 (委託料) 23,400千円 ○移住促進のための魅力発信事業 ・相談会、PR事業 (需用費、役務費、委託料、使用料) 4,656千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①県外からの移住者数 (+45人) ②人材育成事業「里山塾」の参加者数 (+150人) ③農作物鳥獣被害額低下 (▲6,000千円) ④新規就農者数の増加 (+15人) 		関連URL (交付金の具体的用途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/1/30649.html	

申請者	宮崎県西都市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	112,272千円 (51,414千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	観光ターゲットを見定め、観光誘客と観光消費につながる環境整備や設計を行うとともに、地域資源の発掘や開発、磨き上げを行うことで付加価値を高め、外貨を稼ぐ仕組みを作り、地域の課題解決や地域経済の活性化につなげることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1.観光コンテンツ開発事業 委託料 19,602千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する体験メニューを中心とした観光コンテンツの発掘や磨き上げを行う。</p> <p>2.「日本版DMO登録制度」登録のための地域DMO立ち上げに向けた取組 委託料 2,640千円 観光により地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域全体として利益を生み、地域を活性化することを目的に「日本版DMO登録制度」への登録を目指す。</p> <p>3.地域商社事業 委託料 12,672千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する、西都市の豊かな農畜産物等を活用した地域産品となり得る地域資源の発掘や磨き上げを行う。</p> <p>4.観光情報一元化・発信強化事業 委託料 5,500千円 デジタル化に対応した効果的な情報発信を行うため、情報の一元化及び「見える化」による発信強化を図る。</p> <p>5.ブランディング事業 委託料 11,000千円 誘客、観光コンテンツ及び地域産品開発戦略に基づき、ブランディングを行う。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光客一人あたりの消費額 (+985円)</p> <p>②開発した観光コンテンツの売上額 (+1,500千円)</p> <p>③開発した地場産品の売上額 (+1,500千円)</p> <p>④「西都原ガイダンスセンターこのはな館」来館者数 (+1.7万人)</p>	関連URL	https://www.city.saito.lg.jp/shiseigyosei/keikau_hoshin/post_1423.html

申請者	宮崎県椎葉村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	69,419千円 (26,262千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	UIターンによる移住者の獲得、事業承継による雇用創出、関係人口の増加を促進し、第6次長期総合計画基本構想である「かえりたい「郷」で生きていく。」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1. 移住促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ア)プッシュ型情報発信 (使用料1,056千円) イ)オンラインイベント (負担金165千円) ウ)冊子による情報発信 (委託料1,100千円) エ)移住サポートセンタ運用 (報償費1,821千円、借上料360千円、使用料30千円) <p>2. 仕事創出の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> オ)事業承継webページでの発信 (委託料1,155千円) カ)ビジネス創出支援 (委託料4,851千円) キ)ワーケーション創出事業 (委託料6,078千円) ク)未来づくり人材・関係構築事業 (委託料3,444千円) <p>3. 教育環境充実の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ケ)自然教育体制づくり事業 (報償費920千円) コ)椎葉村学創出事業 (補助金1,200千円) 		 <p>○自然教育体制づくり事業での写真</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①支援事業を通じて取り組まれたローカルビジネスの実施件数 (+6件) ②事業を通しての移住者数 (+15人) ③20代・30代の人口社会増減数 (+6人) ④チャレンジ施設での事業実施件数 (+2件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整中 (効果検証) ・調整中

事業概要【アフターコロナを見据えたインバウンド誘客支援事業】

推進当初

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	307,541千円 (112,842千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>1 アフターコロナを見据えた観光回復を図る取組 112,842千円</p> <p>(1) 海外観光プロモーションの強化 (委託料) 86,019千円</p> <p>(2) 外国人観光客受入体制の整備 (委託料) 13,444千円</p> <p>(3) ベトナム誘客プロモーション事業 (委託料) 13,379千円</p>	<p>アフターコロナを見据えた観光回復を図る取組</p> <p>(1) 海外観光プロモーションの強化</p> <p>(2) 外国人観光客受入体制の整備</p> <p>(3) ベトナム誘客特別プロモーション事業</p>	<p>観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①インバウンド関連講習会参加者数 (+295人)</p> <p>②多言語ウェブサイトページ閲覧数 (+41万件)</p> <p>③世界自然遺産を周遊する旅行商品の造成数 (+11商品)</p> <p>④本県の外国人延べ宿泊者数 (県内のインバウンド観光客数) (+159.02万人泊)</p>	関連URL	<p>鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihouseisei/sougousenryaku.html</p>

事業概要【かごしまの将来を担う人材の確保・定着促進事業】

推進当初

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	141,160千円 (47,752千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	県内在住の若年層に対する県内定着及び外国人材の安定的な確保・定着等を促進することで、本県経済の発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1. 若年者等の県内定着の促進</p> <p>○受入側の人材確保・受入体制の構築 (委託料等) 17,921千円</p> <p>・企業の魅力発信・知名度向上に関するセミナー 等</p> <p>2 外国人材の安定的な確保・定着</p> <p>○ (委託料等) 26,151千円</p> <p>・インドネシア、フィリピン等の現地送り出し機関等の調査やマッチングの実施 等</p> <p>○ (補助金) 3,680千円</p> <p>・県内企業が行う外国人材の安定的な受入れ, 定着に向けた社内環境整備や地域交流の取組等に対し, 補助する。 等</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① 高校生の県内就職率 (+0.75%)</p> <p>② 大学生の県内就職率 (+0.75%)</p> <p>③ 障害者就職面接会を通じた就職件数 (+15件)</p> <p>④ 県内のインドネシア人及びフィリピン人労働者の合計数 (+580人)</p>	関連URL	<p>鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihouseusei/sougousenryaku.html</p>

事業概要【県産業の「稼ぐ力」強化支援事業】

推進当初

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	399,266千円 (136,085千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	「農林水産業の競争力強化」, 「イノベーションの創出と競争力のある産業の振興」に向けて, 本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ, 将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに, 販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで, 県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上, 県民所得の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1. 「稼ぐ力」のある産業の創出</p> <p>(1)既存産業の高付加価値化に向けた支援 (委託料, 補助金) 31,970千円</p> <p>(2)新たなビジネス創出への支援 (委託料, 補助金, 負担金) 27,332千円</p> <p>2. 企業の「稼ぐ力」強化に向けた支援</p> <p>(1)企業の販路ネットワークの強化に向けた支援 (委託料, 補助金等) 48,838千円</p> <p>(2)企業の経営基盤の強化に向けた支援 (委託料等) 27,945千円</p>	<p>1. 「稼ぐ力」のある産業の創出</p> <p>(1) 既存産業の高付加価値化に向けた支援</p> <p>(2) 新たなビジネス創出への支援</p> <p>2. 企業の「稼ぐ力」強化に向けた支援</p> <p>(1) 企業の販路ネットワークの強化に向けた支援</p> <p>(2) 企業の経営基盤の強化に向けた支援</p>	<p>本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ, 将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに, 販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで, 県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上, 県民所得の向上を目指す。</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県産品の新規販路開拓件数 (+270品)</p> <p>②実施対前年比付加価値額が増加した企業の割合 (+50%)</p> <p>③鹿児島県内の木材生産量 (+117千³m)</p> <p>④レストランフェア等における県産品の活用品数 (+36品目)</p>	関連URL	<p>鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihouseisei/sougousenryaku.html</p>

事業概要【スマート農業を活用した“稼ぐ力”向上プロジェクト】

推進当初

申請者	鹿児島県鹿児島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	79,015千円 (13,567千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の担い手の確保・育成を図る ・ICT等を活用したスマート農林水産業による生産性の向上 ・6次産業化や他産業との連携による本市農産物の魅力向上・発信 ・持続的に成長可能な稼げる農業の実現 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○海外研修支援による生産技術や経営能力に優れた担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費、現地研修費用等 (補助金) 2,000千円 ○省力化、高品質生産等により農業収益力向上を図るためのスマート農業技術の導入に向けた取組に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・環境制御施設の整備 (委託料) 3,540千円 ・実演用施設等を活用した研修会 (委託料) 200千円 ○大学と連携した栽培環境データ収集・分析・検証 <ul style="list-style-type: none"> ・研究委託費 (委託料) 1,239千円 ○商品開発用の機器導入や大学との情報・技術連携 <ul style="list-style-type: none"> ・加工機器導入費 (備品費) 294千円 ・大学等の連携した商品開発 (需用費・委託料) 170千円 ○6次産業化商品等の販売機会の創出による販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・花園マルシェを活用した販売促進支援 (備品費) 306千円 	<p>リモコン草刈機 (研修会)</p>  <p>ロボット草刈機 (研修会)</p>  <p>環境制御装置</p>  <p>環境モニタリング装置</p> 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①スマート農林水産業関連技術の導入件数 (+51件) ②6次産業化と農商工連携等によって作られた新商品数 (+30品目) ③認定農業者1経営体あたりの売上高 (+2,496千円) 	関連URL	6次産業化商品開発室 (通称:6次化ラボ) の使用 (市HP) https://www.city.kagoshima.lg.jp/tosinou/san-kyo/norin/shisetsu/center/rojukariyo.html 6次産業化セミナー (市HP) https://www.city.kagoshima.lg.jp/tosinou/eve-nt/6jikaseminar4.html

事業概要【合併5地域の魅力づくり・活力向上推進プロジェクト】

推進当初

申請者	鹿児島県鹿児島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	95,496千円 (24,962千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	交流・関係人口の増加や地域の特性を生かしたブランディングを進め、地域内産業の競争力強化による地域活力の底上げを図るとともに、新たな魅力の創出や住みやすいまちづくりの推進による住民の地域への愛着を醸成する。それにより、人口減少の影響の軽減と、地域の魅力を生かした持続可能な地域の形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○【吉田】二輪遊具や田畑を活用したイベント開催(委託料)3,732千円 ○【桜島】地域の飲食店等と連携したマルシェ開催、デジタルサイネージによる新たな魅力発信(委託料)2,050千円 ○【喜入】日本遺産の空き家を活用した案内所の運営支援(委託料)1,458千円 ○【松元】お茶や卓球を活用したイベント実施(負担金)4,992千円 ○【郡山】Eバイクを活用した体験型コンテンツの創出等(委託料・負担金)2,782千円 ○【全地域】Instagram等を活用したフォトコンテストの実施による5地域訪問の動機づけ、5地域共通の資源を生かした魅力の創出(委託料)2,420千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>吉田</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>桜島</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>喜入</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>松元</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>郡山</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>全地域</p>  </div> </div>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①本プロジェクトで整備した拠点施設利用者数及びコンテンツ利用者数 (+1,300人) ②地域内外の人がInstagramで「#ここかご」を付けて投稿した投稿数 (+2,900件) ③地域住民または地域事業者が主体となった取組への参画数 (+1,080人) 	関連URL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/machizukuri/kocho/tiikidukuri/kyousou.html

事業概要【指宿版DMOをプラットフォームとしたデジタルマーケティングによる観光振興「ALOHAなまち指宿」再生プロジェクト】

推進当初

申請者	鹿児島県指宿市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	190,879千円 (88,045千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングを通して、観光客のニーズや価値観に沿ったコンテンツや受入環境の整備・磨き上げを図る 地域資源の高付加価値化による観光客の満足度向上、リピーター獲得を図る (関係人口の拡大、指宿ファンの増加) 継続的なデータ収集・分析とともに、農漁業等の他産業との地域内連携を強化し、収益性の向上や雇用の促進を図る プロモーションの基軸「レトロピカル指宿」に基づき、ターゲット層への的確なアプローチ、イメージ戦略の強化を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>〇いぶすき観光デザインをコーディネーターとした統一的な取り組み 登録DMOへの登録を受け、専門的な研究を行っている大学や専門家と連携し、組織の機能強化の取り組みを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家等による指導 (9,436千円) 機能強化のための人材の配置 (8,454千円) <p>〇"食"と"体験"をフックとしたコンテンツの磨き上げと販売 (誘客) 促進 食や体験等、多様な地域資源の高付加価値化、周遊環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元食材を活用した食の磨き上げ及びテストマーケティング (5,000千円) ゲーグルビジネスプロフィール拡充による周遊環境整備 (4,500千円) 周遊促進に向けたコンテンツガイド及びマップの制作 (6,000千円) アウトドアコンテンツの高付加価値化・実装に向けたテストマーケティング (9,000千円) 持続可能な体験受入体制基盤の強化 (2,000千円) 指宿市観光・経済戦略会議運営負担金 (345千円) ロードバイク等の配備 (7,000千円/ハード事業) <p>〇国内外への情報発信の強化 CRM導入によるデジタルマーケティングの展開、ターゲット層に応じた情報発信やイメージ戦略の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> いぶすき観光デザインを核とした観光DXを実現するための基盤整備事業 (11,310千円) デジタルマップを活用した観光DXによる周遊環境整備 (4,800千円) ロゴ・動画を活用したイメージ戦略の強化 (6,200千円) 事業者に対するSNSプロモーション促進による情報発信の強化 (2,900千円) WEBやSNSを軸としたプロモーション (6,100千円) WiFi整備 (5,000千円/ハード事業) 		

KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①食と体験コンテンツの開発数 (+19件) ②食と体験コンテンツの販売事業者数 (+32件) ③新規作成動画年間視聴回数 (+700万回) ④観光消費額 (+120億円) 	関連URL	<p>「レトロピカル指宿」ランディングページ https://retropical-ibusuki.com/ CRM「いぶすきさんぽ」ホームページ https://www.ibusuki.or.jp/info/sanpo/</p>
-----	--	-------	--

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【肝付町「未来商社」プロジェクト】

推進当初

申請者	鹿児島県肝付町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,300千円 (34,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品の町外への販路拡大や新たな人の流れを作り出し、「域外からの外貨」を獲得する。 ・地域特産品の製造・販売者や町内の観光関連事業者等のIT化を支援し、稼ぐ力を向上させる。 ・専門人材等の登用による「宇宙資源」の活用を促進する。 ・担い手企業や支援者とともに上記事業の支援を行う、地元を中心とした組織体制（未来商社）の設立。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>「肝付町未来商社（仮称）」の設立に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「観光基本計画」及び「商社アクションプラン」の策定（R5事業） ○未来商社の設立可能性調査（R5事業） ●未来商社の設立 4,400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・設立準備室の設置（需用費・賃借料・備品購入費）1,100千円 ・町外企業との連携可能性調査 ・副業人材の活用可能性調査 ・法人登記等手続き ●アクションプランの実施（委託料）29,700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品の製造、販売者の販路拡大 ・観光関連事業者の事業拡大 ・IT導入による事業改善 <p style="text-align: right;">（委託料）3,300千円</p>		<p>みんなが儲かる 産業「地域」の理想像</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①販路拡大となった製品の製造・販売者数（+10事業者） ②事業拡大となった観光関連事業者数（+10事業者） ③IT導入による事業改善を行った事業者数（+10事業者） ④一人当たり旅行消費額（+5.5千円） 		<p>関連URL</p> <p>https://kimotsuki-town.jp/chosei/shisaku_keikaku/4209.html</p>

事業概要【沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業】

推進当初

申請者	沖縄県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	142,838千円 (45,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン学習塾の環境構築を支援し、離島・過疎地域における学力の向上ができる教育環境の整備を図る。 ・高齢者等の見まもり体制構築を支援し、誰もが安心して暮らせる環境の整備を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○移住定住促進プロモーション等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2地域居住者等の誘致を図るための情報発信、モニターツアーの開催等 (委託料) 20,000千円 ○オンライン学習塾の環境構築支援 ・オンライン学習塾に取り組む事業者に対する支援 (補助金) 7,952千円 ○高齢者等の見まもり体制構築支援 ・Wi-Fiセンシング技術を活用した高齢者等の見まもり体制の構築に取り組む事業者に対する支援 (補助金) 17,500千円 		<p>県</p> <p>委託</p> <p>補助 ①オンライン塾支援 ②高齢者見まもり支援</p> <p>連携</p> <p>移住定住プロモーション ・情報発信 ・2地域居住者向け モニターツアー など</p> <p>民間事業者</p> <p>市町村等</p> <p>住民</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①離島・過疎地域における2地域居住者数 (+30人) ②移住に係る相談件数 (+90件) ③オンライン学習塾及び見まもりサービス利用者数 (+300人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shinko/1017087/1017093.html (効果検証) https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/sHisaku/1014211/1014216/index.html</p>

事業概要【スタートアップ創業支援事業】

推進当初

申請者	沖縄県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	191,107千円 (38,717千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ力の向上と地域産業の競争力強化 ・地域における新たなビジネスの創出 ・スタートアップの創出促進 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○スタートアップ創業相談窓口の設置・運営 スタートアップの創業促進のため、法人設立及び事業開始時に必要な各種申請等を支援する相談窓口を設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 (委託料) 23,717千円 <p>○スタートアップの成長に向けたアクセラレーションプログラムの実施 創業支援を活用する等により創業したスタートアップに対し、成長支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセラレーションプログラムの実施 (委託料) 15,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①MVPの開発数 (+25件) ②相談窓口における相談対応件数 (+1,800件) ③アクセラレーションプログラム参加企業のうち投資家やベンチャーキャピタルとのマッチング件数 (+50件) ④スタートアップの創出数 (+50件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.startups.okinawa/</p>